

# 公演

1996年7月21日発行 第91号

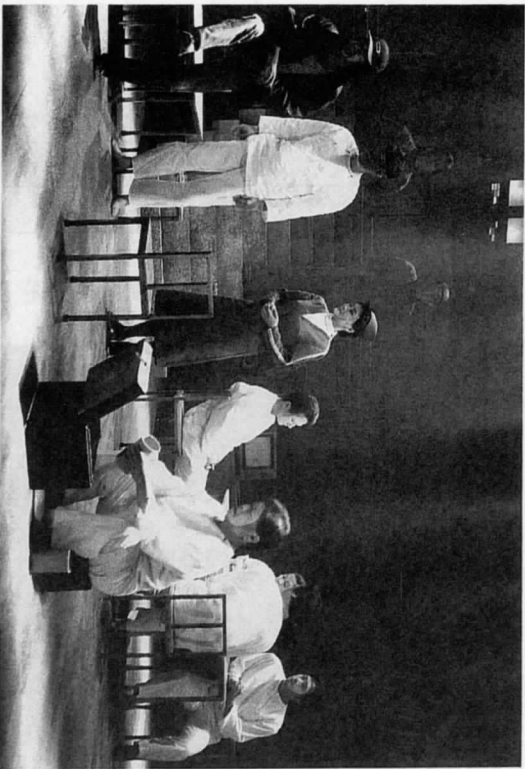
## 演劇会誌

### ■ もくじ

● グラビア (舞台) .....	1
● 今日のリアリズム シリーズ③ .....	9
芝居とリアリズムとの関係について 野村喬	
● 全リ演東会議第6回作家会議〈概要報告〉 栗木英章 .....	20
● ギョイストレーニンングの実際 ③ やまもとのりこ .....	25
● イギリスの俳優教育にふれて やまもとのりこ .....	28
● <ロシア演劇レポート 6> .....	30
第2回国際チェーホフ演劇祭と「黄金のマスク」賞 桜井郁子	
● ー わかもの事情 ー 生徒の変遷「今、大事なことは？」 堀口始 .....	38
● 北から南から (劇団通信) .....	40
● 中グラビア ー 顔 ー (小竹伊津子、岩井里子、三田直門) .....	58
● 萩坂桃彦さんを偲ぶ会<萩さんが逝ってもう...> こばやしひろし .....	64
● <地域の動き>桑名市文化スポーツ振興公社 .....	67
共同企画 ー 『歌行灯』の上演について 加藤武夫	
● <地域の動き> ー 名古屋市における ー .....	70
沖繩裁判市民劇レポート 栗木英章・前川達次郎	
● <地域の動き> 地方文化行政の動向 .....	74
ー 静岡レポート ー 伊藤幸夫	
● 戯曲『ヒロシマ・パノラマ写真』 ー 1945.10.7の幻想 大橋喜一 .....	83
● 劇評 .....	104
青年劇場「青春の砦」「鮮かな朝」由布木一平 (劇団埼玉)	
演劇街「家族のへその緒」武田隆良 (劇団月曜会)	
劇団四紀会「ここにいます ー 1995年神戸の街角で」小松徹	
● <投稿>有智山荘の一日 高田文利 .....	110
● <海外演劇交流> ー 韓国からのレポート ー .....	112
韓国の地方演劇の状況と今後の発展方案 李相龍	
● 事務局だより .....	114
● 全日本リアリズム演劇会議 劇団住所録 .....	117



◇演劇街『家族のへその緒』  
作／演出・広島友好



◇関西芸術座プロデュース／大阪新劇団協議会同  
公演『カッコーの巣の上を』  
原作・ケン・キージー 訳・小田島雄志／若子  
演出・広渡常敏

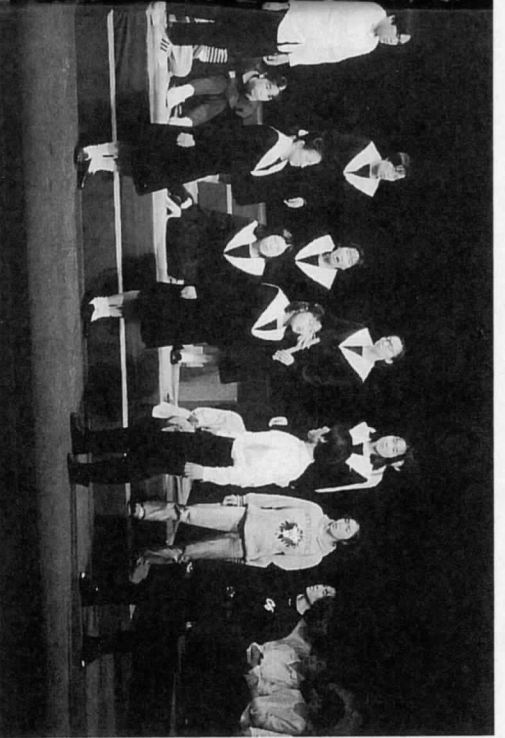
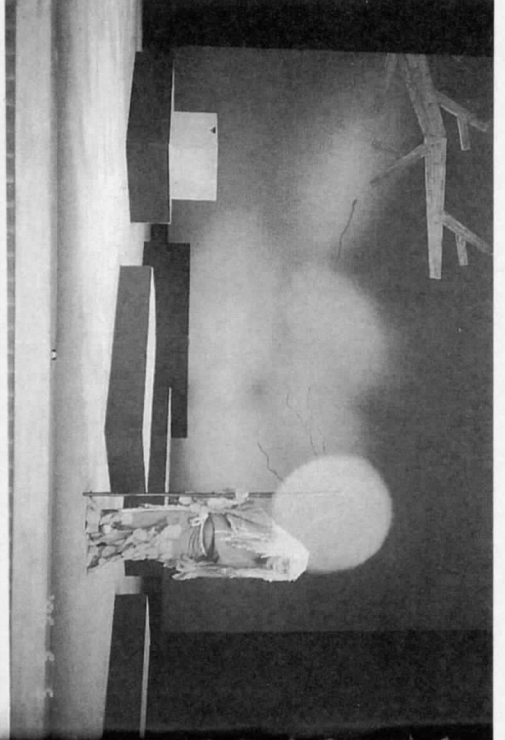


◇劇団だいいん座『わとり長者』  
作・須田輪太郎 演出・成田邦彰

# 舞台

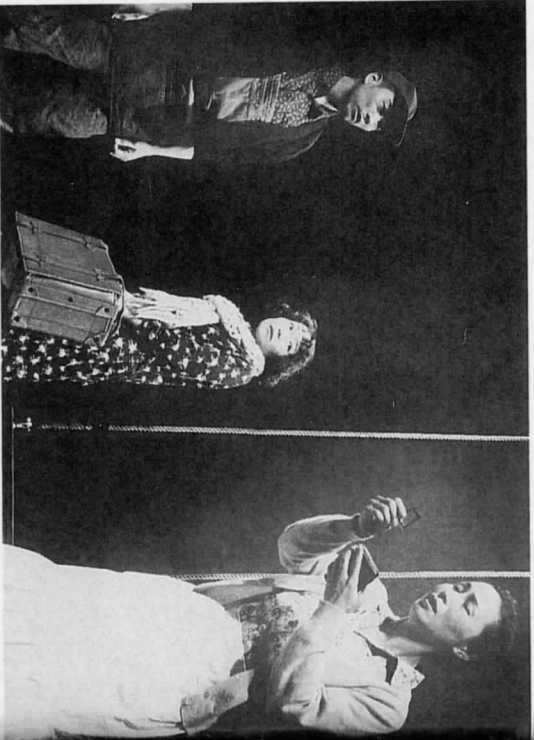
# 公演

◇劇団弘演『斎藤隆介・五つの物語』  
作・斎藤隆介 演出・秋本博子



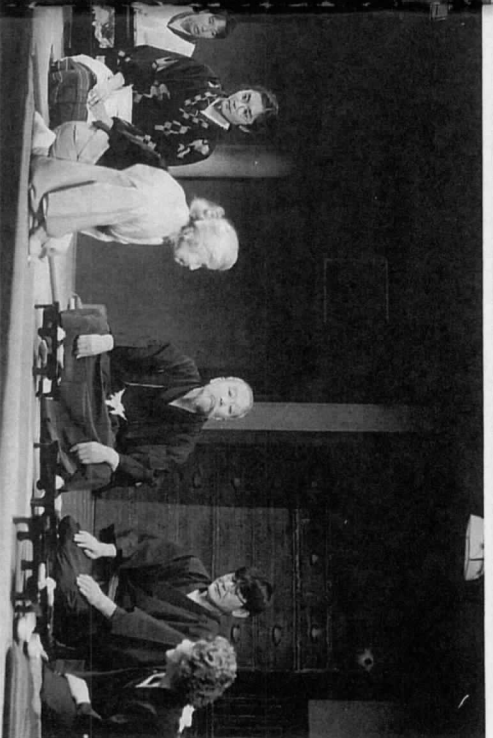
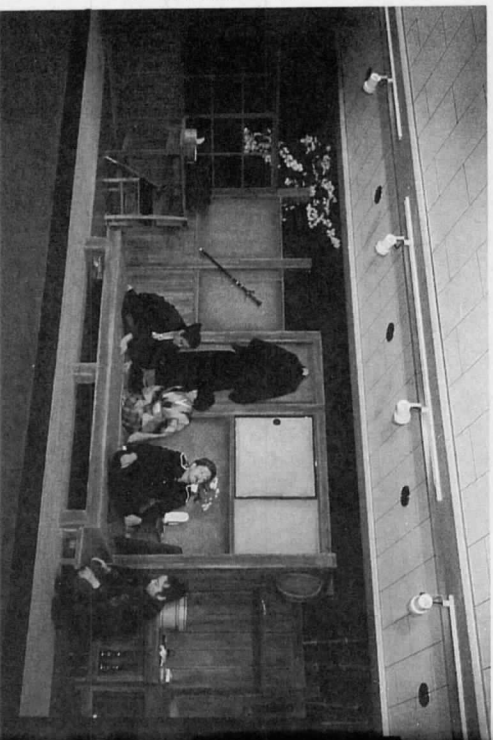
◇沖繩裁市市民劇『弥勒世や やがて』  
作・栗木英章 演出・木崎裕次 (演集 名古屋  
名芸らが参加/愛知県勤労会館/五月十日)

◇劇団はぐるま『ほくの鳥あげる』  
原作・佐野洋子 脚本・いずみ凜 演出・波田正子



◇劇団名芸『銀河鉄道の夜』  
原作・宮沢賢治 脚本/演出・近藤理亜美  
(名古屋針小劇場/四月十九日(二十一日))

◇三浦半島劇団『海』『真兇探し』  
作・山本有三 演出/構成・神田時枝  
九五年十一月十日公演



◇劇団演集(名古屋演劇集団)『悪女之目と壁』  
作・田中澄江 演出・浦はじめ  
(名古屋西文化小劇場)

# 舞台

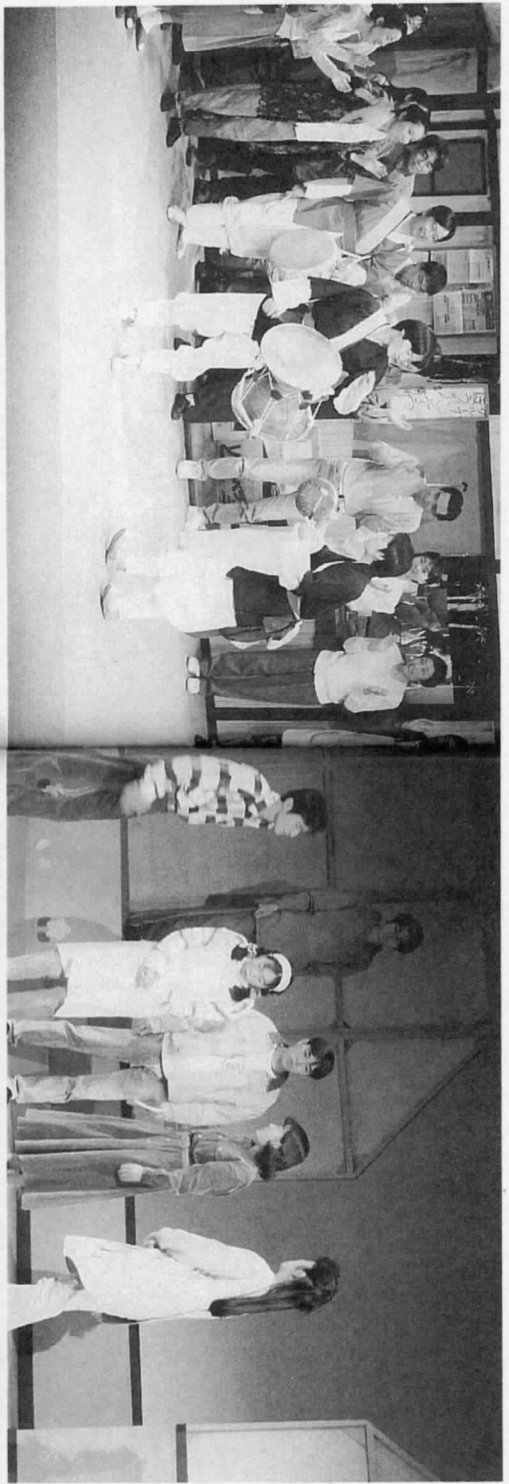
# 公演

# 舞台



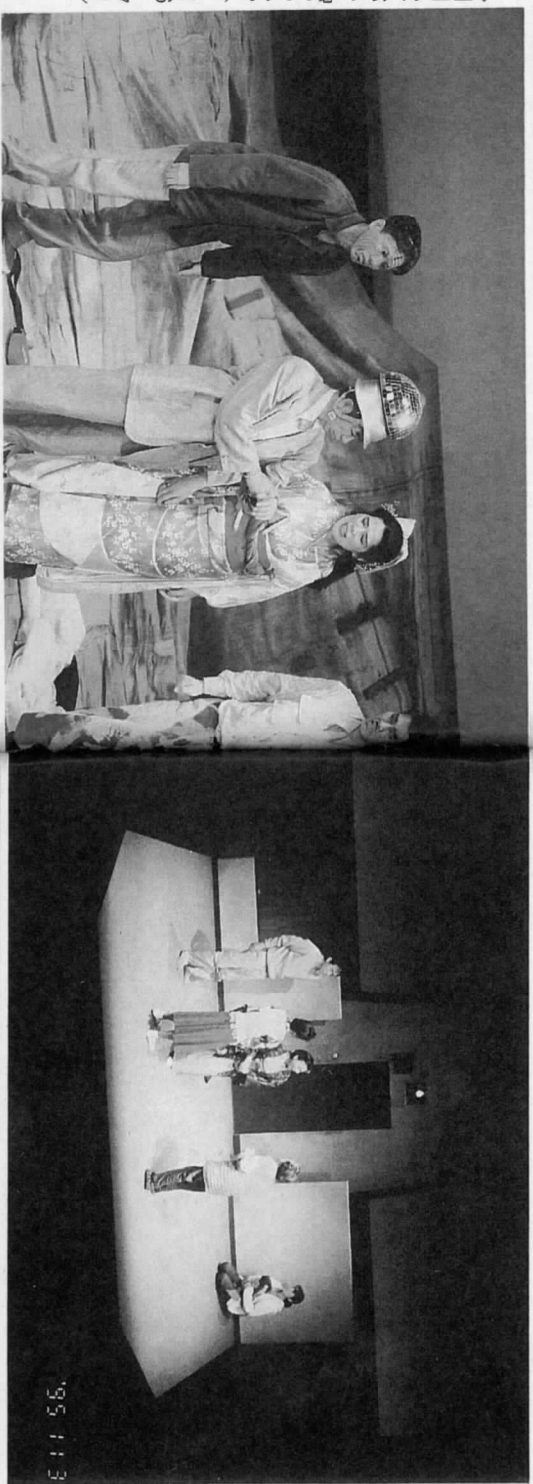
# 公演

◆劇団すがお『アロン・アゲイン』  
三月八〜九日・桑名市コミュニティプラザ

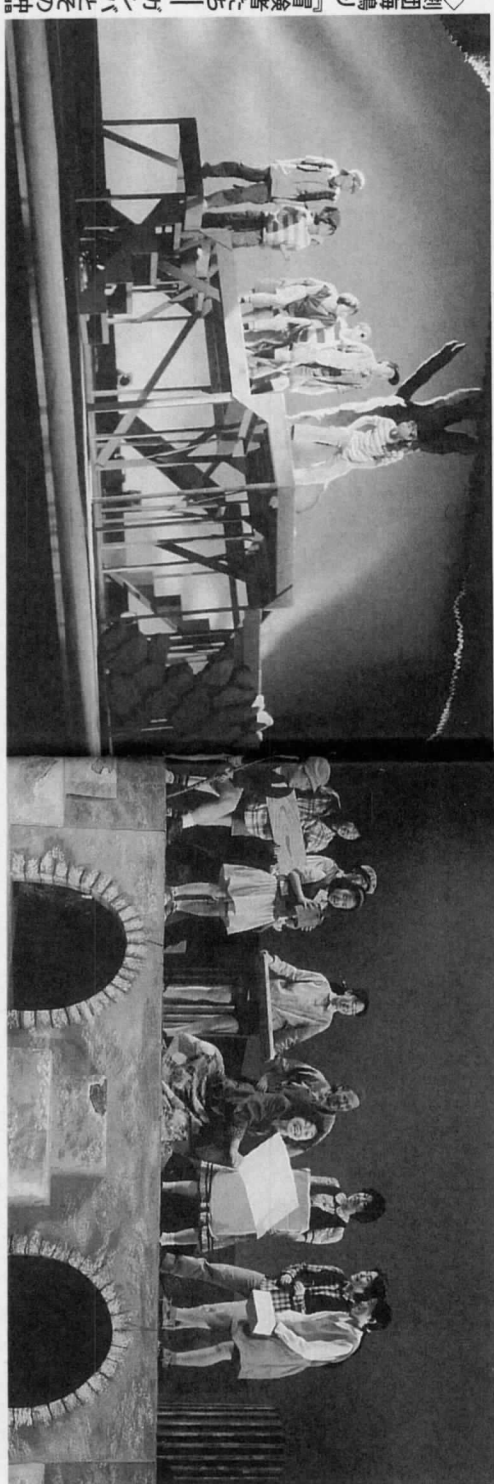


◆劇団四紀会『ここにいます』  
作・仲比呂志／桐生蘭／梶武史 演出・梶武史

◆劇団はにわ『ながらて、明日』  
作・栗木英章 演出・北原雅子  
名古屋市長芸術祭参加公演（95年11月29・30日）



◆劇団かすがい『ちらい』（4月26・27日）



◆京浜協同劇団・川崎演劇塾・行動座合同公演  
『王マコ』（第25回かわさき演劇まつり）  
脚本・栗木英章 演出・団のぼる

◆劇団海鳴り『冒険者たち―ガハハの仲間』  
作・小田健也 演出・神山昭

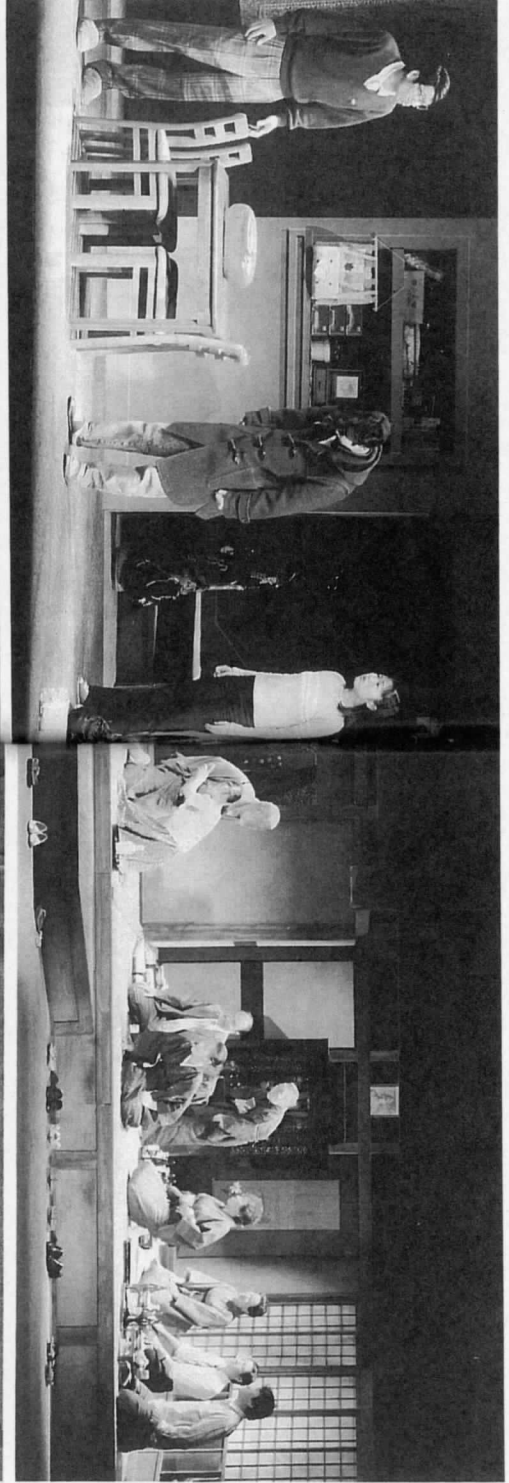
# 舞台

# 舞台

# 公演

(2月24・25日上演)

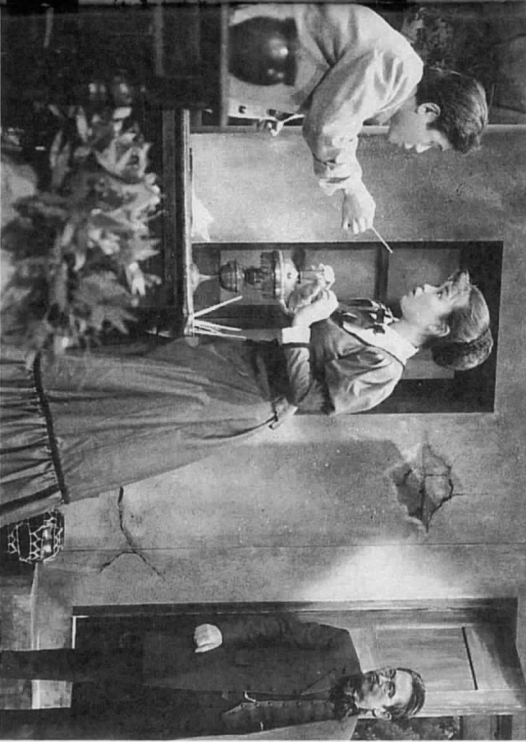
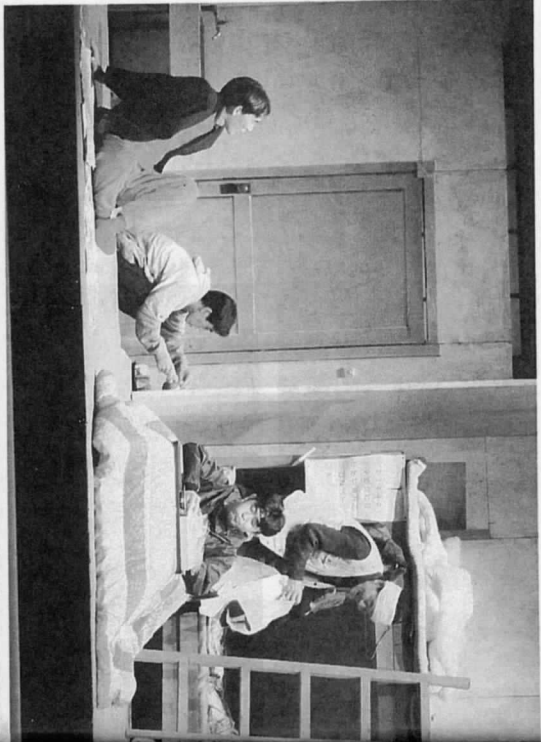
◇劇団名古屋『早春スケッチブック』  
作・山田太一 演出・久保田昭



◇人間座『霧の谷に』作／演出・田畑実

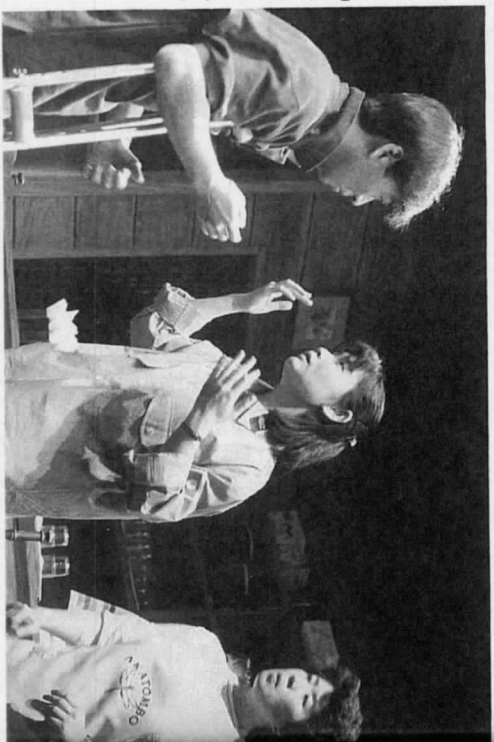


◇劇団静芸『手のひらの上の子猫』  
作・小島真木 演出・伊藤幸夫 装置・大石治孝  
(第一〇〇回記念公演)



◇東京芸術座『ラホー！ フー！ フー！ 先生』  
作・平石耕一 演出・杉本孝司  
(撮影・蔵原輝人)

◇青年劇場『愛が聞こえます』  
作・高橋正樹 演出・松波喬介  
(撮影・蔵原輝人)



◇劇団埼玉『今どき現代史講座1 フロクン・  
ミリ』(5月25・26日・浦和市市民会館)  
作・佐藤逸平 演出・川村武夫

# 舞台

# 公演

# 舞台

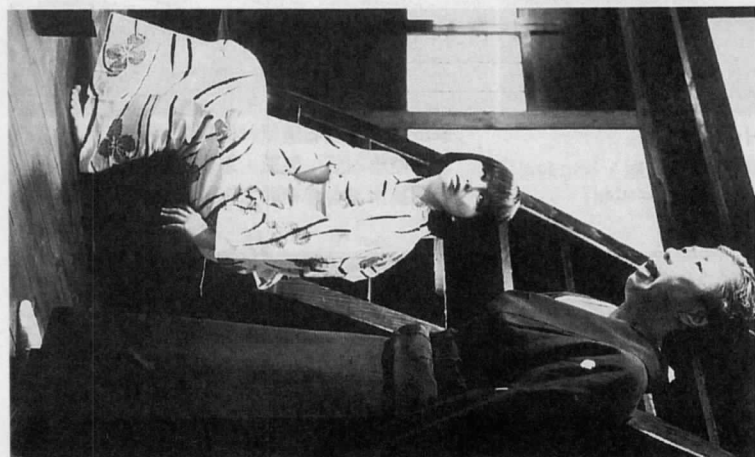




◆劇団支木・アトリエ公演『ほんち絵』  
作・高橋丈雄 演出・伊藤一郎



◆劇団銅鑼『東土の鶴よ』  
作・平石耕一 演出・早川昭二 (撮影・藏原輝人)



◆福岡現代劇場『精霊流し』  
作・岡部群大 演出・猿渡公一 (民家空間での公演)



◆劇団群馬中芸『カチカチ山の狸とん』  
作・中村欽一 演出・せらだ均 (撮影・新井忠)

今日のリアリズム シリーズ3  
芝居とリアリズムの関係について  
野村 喬

編集者へ——御依頼によって、この文章を綴りますが、わたしの頭の中には、三年前の『演劇会議』に掲載された大橋喜一「連邦解体と社会主義リアリズム」という文章を読んだ時の記憶が今なお残っていて（大橋さんには「とても誠実な文章で感心した」と、話したことがあります）、それに対するわたしの考え方を書いてみたいと思っていたので、そこにつながるように記します。

1

順番として、まず、リアリズムについてのおさらしをします。英語でリアリズムと呼ぶ言葉は、日本語に訳す時に、実際にさまざまなになります。写真主義、現実主義、実際主義（明治20年代には、この訳語が多かった）、実在論（哲学用語で使われます）など。ラテン語のリアリスが語源なのです。フランス語でリアリスムという言葉を使って、自分の主張をしたのは、画家のクールベでした。彼より先にイギリスの画家ターナーの自然描写に（たとえば荒々しい海などに）、もっと早い時期のイタリヤ・ルネサンス時代や、それ以後のゴッヤやレンブラントたちの画題ともか

た作風を知っていますが、クールベは、完全に王侯貴族の肖像画と縁を切り、「オルナンの埋葬」その他の傑作を描き、パリの万国博に對抗して、その近所にリアリズム館を作って自分の絵を陳列しました。彼の友人のファミエは写実的に諷刺を加えた画風、ミレーは田園労働を描くバルビゾン派で知られています。さて、クールの友人のジャン・ルリは、こうした美術のリアリズムを文学に応用することとを提唱しました。「ボヴァリー夫人」の作者フロベールは、この言葉を嫌いましたが、まさしく文学のリアリズムにふさわしいし、「人間喜劇」と総称される膨大な長編小説群の作者バルザックもまたリアリズムを名乗らなかつたのですが、十九世紀半ばのフランス社会を鮮やかに描いて立てる自然主義を標榜してルイ・ゴンソム「カール叢書の長編小説群をあらわしました。その後、美術では、印象主義があらわれ（わが国ではとりわけてセザンヌやルノワールやゴッホやゴッギャンの後に期印象派の人氣が高いことは周知の通り）、やがて立派派

や行動主義へと移行します。文学では、象徴主義や心理主義へと移行します。象徴主義では、詩人ボードレールや作家のイブセンやストリンダベリ、アーテラランクが日本でも良く知られています。その頃、ロシアでは、長編諷刺小説のゴイコリに続いて、ツルゲーネフやトルストイやドストイエフスキヤゴイキリキリが出現して、ロシアの家族制度の矛盾や絶対帝政と個人との亀裂を深刻に描きました。日本では、明治維新から二十年近くたった頃、条約改正論議に依りて、さまざまな改良問題が論じられました。坪内逍遙の「小説神髓」は、江戸時代後期から人気のあった滝沢馬琴の「里見八犬伝」のような作家が観念のお化けで作った人物でなく、ありのままの人情を、人物の性格と世態風俗の機微をうかがうことで描くことを主張しました。同じころ、一葉亭四迷はロシア文学を学んで「浮雲」を描きました。文芸評論家の内田魯庵は、リヤリスムという言葉を使って論じるようになります。それから十年余りたつて、小杉天外などの自然主義がゾラと同じく、遺伝と環境とが及ぼす影響を小説に見せます。が、それより早く、森鷗外の処女作「舞姫」は、ドイツから帰国した青年の一種の告白小説を世に送っていましたし、国木田独歩の「欺かざるの記」も告白小説と見ることが出来ます。魯庵が訳したドストイエフスキの「罪と罰」は、詩人北村透谷を感じ動かせましたが、その「罪と罰」に刺激を受けた島崎藤村

盟は最も大きな組織ですが、プロレタリアリズムを主張していましたが、階級性や党派性の名のもとに、他の組織を排撃する傾向が強かったのです。その影響は日本に及び、大正時代の終わりに雑誌『種詩く人』から芽生えた無産者文学運動の流れは、他方での新感覺派文学（横光利一や川端康成ら）やモダニズム文学と対立するのみならず、幾つもの運動組織に分かれて争っていました。当時は非合法の共産党が指導する日本プロレタリア作家同盟がもっとも勢力が強かったのですが、ロシア同様に唯物弁証法的創作方法をかかげて、前衛的眼とか党派性の主張を押し出し、良心的な知識人の作品を同伴者文学と見下していました。一九三三年四月、ソ連共産党中央委員会がおこなった文芸団体再編決議にもとずいて準備委員会がつくられ、その二年後に結成されたソ連作家同盟は、「ソヴイェト芸術文学および文学批評の基本的方法」と銘打った「社会主義的リアリスム」をかかげます。それは「現実をその革命的発展において、真実に、歴史的具体性をもつて描く」「勤労者を社会主義の精神において思想的に改造し教育する課題」と結びつくものとされたのです。ちょうど、その頃、マクス・ヒューゲルス全集の編集がすすめられる中で発見された、一八八八年四月と推定されるエンゲルスのハークネス女史あての手紙の二節に「バルザックの『人間喜劇』を賞賛して、『バルザック自身は世界観としては王党派に属し

は、日露戦争の後、「破戒」で主人公が自分が部落民であることを隠していたと告白する小説を書きました。こうした「告白」を作品モティフとする小説は、実はリアリスムより早く十八世紀の末からラングアンイェット夫人の「クレイヴの奥方」やゲーテの「若きヴェルテルの悩み」などの方法でした。

告白体の小説の成功は、田山花袋の「蒲団」に生かされましたが、それは花袋自身の体験を描写したものでした。そこから、ゾラの自然主義と全くもつた作者の実体験を内容とする日本型自然主義が誕生し、泉鏡花や永井荷風や夏目漱石や谷崎潤一郎の傍流文学をおさえて、日本文学の主流としての「私小説」となりました。

一九一四年に始まった第一次世界大戦が終わったのは四年後で、オーストリア帝国もドイツ帝国も崩壊しますが、その間の一九一七年にロシアで二度の革命が起きます。帝政が崩壊したばかりでなく、労働農民のソヴイェト共和国が誕生しました。レーニンが率いる共産党指導によるプロレタリア独裁国家です。戦後、どの国でもデモクラシーの風潮がさかんにになりましたが、特にロシアでは、新社会をめぐらす模案があふれだして、さまざまな主張と実践が文化各方面にあらわれられました。未来派、シュルレアリスム、ダダイスム、表現主義などがあります。ロシアプロレタリア作家同

ているにもかかわらず、典型的境遇のもとに典型的性格を描くというリアリスチックな態度によってブルジョアジーの勝利を描き出している」とあつたのを、「批判的リアリズム」と規定して、それを超える創作方法として規定したのが、社会主義リアリズムだったので。

この時期は、レーニン死後のソ連共産党の内部で、スターリンがトロツキヤンやハリーソフその他を追放したり粛清して独裁的な権力を獲得し、一国社会主義建設をめざし、第一次五ヶ年計画の達成に拍車をかけている時でしたから、さまざまな文学団体が争っている事態を收拾するに躍起となつていたのであります。

非合法下の日本共産党は一九三三年にソ連共産党指導のコミンテルンから示された三年テレーゼ（当面の日本革命の戦略目標は絶対主義天皇制とそれと結びつく地主・官僚の打倒によるブルジョア革命とする）に従うなかで、満州事変につきすすむ侵略戦争体制化にあつて多くの指導者が転向し、その影響でプロレタリア文学、文化運動の解体が進行してしまいました。そこで、ソ連でのリアリスムないし社会主義リアリズムの討論が紹介されることになりました。一面では、多くの転向文学と言われた作家たちの作品はリアリスムの名のもとに正直な自己告白の作品となつてあらわれ、三年テレーゼの具体化として日本の明治維新をとらえる歴史文学を生み出し、他面では、社会主義リアリズム



を日本に適用する議論となつて行きました。以上、書いて来たように、リアリズムとは、まず美術の一時期の主張として、次には文学上の態度として登場した後に、プロレタリア文学の創作方法のストロガンとなり、ソ連のスターリン政治の文学への応用になつた、と考えていいのです。

### 3

さて、今度は芝居あるいは演劇について考えます。そもそも、芝居は美術(絵)と共に人類の芸術活動としては最も古いものと考えられます。なぜなら、ギリシア語のミクシス(英語のマイアの語源でもある)は模倣とか真似とか訳していでしょうが、それは、日本語で言えば「習う」とか「学ぶ」とかに当たります。すべての人間は、誕生した後、大人に習つたり、学んで、生きる方法を獲得するのは、他の動物と同じです。そこから演技という術も出て来ます。人間は理性と感性だけでなく、まず習性から出発しています。演劇の起源について、昔から、祭り・労働・遊びの三つが考えられてきました。おのおのに、それなりの理由があります。一方で、芝居の最少要素を考えると、ひとりの俳優とひとりの観客があればいいのです。たとえば、父親が幼児に対して演技しても芝居になる。その際、劇場の装置だの衣裳だのが無くてもいい。それどころか、文字で書かれた台本も不要です。だから、神様を観るか、

客に擬して演技を捧げても芝居にならない。やはり人間の見物あつての芝居です。それがミメシスです。この模倣とは、そこに真似する対象があり、つまり、リアリテイが要求されるのです。それと共に、演技者が見物に伝えたいと思う「メッセージ」があるはず。こうした最少単位の芝居が最古の芝居となり、その後、紀元前五世紀にはギリシア演劇が成立して行きました。最古のギリシア劇では、スクーネ(英語のシーン、つまり舞台)上の俳優はたった一人、半円形のオルケストラ(オルケストラの語源)に入つた十二人のコロス(コラスの語源、合唱隊)で演じられました。ただ、劇詩人アスキュロスがあらわれる頃には対話を演ずるために俳優は一人となり、ソクレスの時期には三人が増えて、この人員がヨーロッパ中世末期のイタリヤのコメディア・デ・ラルテにまで続きました。そうして、俳優は仮面をつけて幾つもの役を演じわけたのです。もう一つ注意しておく、上演時間は常に昼間、太陽光線のものであつたし、俳優はすべて男性でした。あのアリストプネスの喜劇「女の平和」で女を演じたのは俳優だった、その後の十六〜十七世紀のシェイクスピアの時代も全く同じでした。ということは、男優は、セリフ(たぶん、叙事詩のテクニケーションから歌唱能力をも備えた)と身ぶりとで、役の内容を演ずるのみならず、女性の表現もこなしたことに

なります。ギリシア劇の脚本で今日に伝わっているのは、ほんの少しです。古代劇場は今日も見ることができまが、実際にどんなふうにな上演されたかは、ほとんどわかりません。ただ、今に残るエウリピデスを経てメソプロスに至る劇詩人の脚本によつて、歌唱・演技・歌唱を繰り返す形式だつたことも知られます。実はルネサンス時代のイタリヤでオペラが誕生したのは、ギリシア劇復興の試みに出発したためであり、最古の芝居から古代ギリシアになつても、その中心がテスピスという名の俳優第一号から始まる役者の仕事だつたことは確実です。ギリシアの哲学者アリストテレスは「詩学」において、詩の展開を叙事詩(エポス、過去の事件を叙述するもの)と抒情詩(リリック、現在の情緒を持つもの)と劇詩(ドラマ、過去の人物を現在進行中の行為に描くもの)に分類し、ドラマをエポスとリリックとを止揚した詩と定義し、その後のヨーロッパの芸術論の根底をつくりました。十七世紀半ばになると、女優も登場し、もはや俳優は仮面をつけずに、当然ながら、顔の表情も演技術の一つとして役者は磨きました。舞台には多くの俳優が出演しました。しかし、芝居の中心は一人ないし数人の主演クラスでしか、やがて劇場は電氣照明を用いて夜間上演となり、美術(装置や小道具や衣裳・化粧・照明など)と文学(つまり

戯曲)の助けを得て、よりいっそう写実的な表現を可能にして、主演俳優だけでなく、アンサンブルを充実した俳優と、上演舞台をつとめる演出家があらわれます。十九世紀の末頃からです。ドイツのマイニンゲン公、イギリスのクレーグ、スイスのアッピリアだのがあらわれる頃、ロシアで芸術座をつくつたスタニスラフスキーが登場しました。スタニスラフスキーは何よりも彼自身がすぐれた俳優でした。芸術座ではモスクヴァインとかカチャ・コロトとかクニツェルという名優が誕生しますが、彼らに俳優術を教えたのです。後にスタニスラフスキー・システムと呼ばれたのは、本来は俳優術でした。それは大変なもので、前の幕では血色のいい壮年の手の肌、次の幕では老いた皺だらけの皮膚の手を見せる術など、現在も写真によつて、示されています。ところが、このスタニスラフスキーを演出家としてのみ認め、同じ芸術座から出た演出家メイエルホルドなどと対立させ、念入りなミザン・シーンの特徴とする演出の超課題こそが、社会主義の思想に沿つたものとする理論を、スターリン支配下に広められました。すべて、演劇にもリアリズムを押しつけたいと考える芸術官僚の指導でした。

### 4

日本の場合、いわゆる新劇は、明治の末にはじまりますが、本格的には一九三三年六月の築地小劇場で開始された

と言っている。ドイツで新しい表現主義の演劇を学んでいた土方与志が、自由劇場をやっていた小山内薫を迎えて始めたものです。同じドイツで勉強していた村山知義も、表現主義の美術の立場でこの運動に協力します。五年後に小山内が急死し、築地小劇場は解散し、築地座と劇団築地小劇場と新築地劇団とに分かれて活動し、プロレタリア文化運動の一翼としてアジテーション(煽動)プロパガンダ(宣伝)の演劇を展開する中から生まれ、劇団左翼劇場の活発な活動もあったのですが、検閲と上演中止などの治安当局の干渉によって次第に弱体化する傾向になった頃、先に文学上の問題で述べたソ連の社会主義リアリズムの決議が舞い込んだのでした。一九三四年、ソ連作家同盟にならうように、村山知義の新劇団の大同団結の提唱は、左翼劇場を中核にした新協劇団の結成にこぎつめます。

文学におけるリアリズムが波及した演劇のリアリズム論争は、新協劇団内の村山知義の「発展的リアリズム」と、久保栄の「反資本主義リアリズム」とで争われました。前者には杉本良吉、後者には松本克平がついて、ただかわきれました。この論争を詳しく述べることは、決して難しいことではありませんが、要するに、それまでは唯物弁証法的創作方法を唱えていた文学陣営の人々が、ソ連の影響で、資本主義社会では資本主義的リアリズムと称する考えかたを主張したのに対して、久保は社会主義とまでは言えない

みました。第二次大戦末、青山杉作・東山千栄子・小沢栄太郎・東野英治郎と俳優座を結成、戦中の研究を『近代俳優術』として刊行します。これが、その後の新劇に及ぼした影響はきわめて大きなものがあります。俳優座で近代劇名作の上演をア카데미ック路線としたことと重ねると、いわゆるリアリズム演劇の最初の道筋だと言えます。

しかし、第二次大戦後、当時の民主主義改革の旗がふられた結果として、さまざまな文化運動は、またしても政党や労働組合や進歩的文化人らが、当面の革命目標が民主主義にある以上は、民主主義リアリズムだとして、迷論の山を築いたのです。当然、民主主義演劇がスローガンとなり、やがて米ソの冷戦が激化していく中で、勤労者演劇(労働組合所属の演劇サークル)がレッドパージその他の結果で衰退し、かわって地域演劇集団が、自立演劇運動の中心になり、学生演劇の方は、専門劇団のア카데미ズムやリアリズムに反発する傾向をたどります。新協劇団から民衆芸術劇場をいったん結成した宇野重吉は、職場作家の作品を舞台にかけたりしたのですが、劇団内の政治的対立にいや気をさして解散した後、改めて劇団民藝をこしらえ、菅原卓を招いてアメリカやイギリスの劇作家、たとえばアーサー・ミラーやテネシー・ウリアムズやジョン・オースティンや三好十郎、さらに大橋雪一や堀田清美や原源一の職場出身作家の戯曲を上演していく中で、リアリズム演劇志

にしても、科学的社会的社会主義の立場に立って反資本主義リアリズムと呼ぶ世界観芸術を主張し、村山はブルジョア・リアリズムを克服する発展的リアリズムをスローガンとすることを呼びかけたのです。つまり、リアリズム自体がどんなものであるか、ではなくて、世界観もしくは階級性の問題にすり替えられていた、と言っただけではありません。それは、二人とも、演劇という芸術分野の内面の構造を議論してないためです。たとえば久保栄は、後に『小山内薫』という本を書き下ろしていますが、小説作家として明らかに永井荷風らのいわゆる新浪漫主義的作風の持ち主である小山内がヨーロッパをまわって来た旅でモスクワ芸術座の舞台に感動して、それを日本で再現しようとしたことをリアリズムととらえたあげく、自由劇場で市川左團次と手を組んだことを誤りとし、なぜ尾上菊五郎と提携しなかつたかと考えたり、歌舞伎の時代物を、その背景になつている歴史に還元して歴史劇としてとらえる必要を力説したりするのは、まるで無知なのです。そのくせに、「火山灰地」では丸本歌舞伎のドラマツルギーを、まるごと応用しています。

5

それに対して、築地小劇場にいったん参加した後にドイツ留学した千田是也は、帰国後に新築地劇団の周囲にあつて、じっくりとスタニスラフスキー俳優術の研究に取り組

向を明らかにしました。

ところで、戦中から山本安英と劇研究会をしていた木下順二は、まったくリアリズム演劇には関心を示しません。彼は、まったくリアリズムでなく、ドラマこそ演劇の本質と考えていたのです。それが、「風浪」「夕鶴」「山脈」に良くあらわれています。

リアリズムか、ドラマか、そのちがいはなかなか多くの人には見えます。その上、昭和初年にドイツに行った千田是也は、かねてから感情移入をはかる演劇に対するゾレヒトの異化効果の芝居に強い刺激を受けていました。彼はヒューマンイズム演劇となえ、当時の青年たちが興味を持つアンチ・シアトルとか不条理演劇とかを排して、劇団内統一をはかりました。けれども、進歩的文化人に影響を持っていた共産党は、一九五〇年に起きた事実上の分裂から再結集した後、一九六〇年の安保反対運動のあけく、民族解放民主革命のスローガンをかけ、それにしたがう勢力は、民族解放民主演劇を目標としようとします。この動きに、専門劇団からアマチュア演劇や地域演劇まで、さまざまな対立抗争が生まれました。はつきり言って、いわゆる進歩的演劇の内側は、戦前の世界観芸術認識から一歩も出ていなかったのです。つまり、主題や題材ばかり、目を向けがもでした。いわゆるテーマ主義というものです。これを加速したのが、当時も日本に紹介されていたソ連の芸



術官僚や御用評論家たちの、いい加減なスタンスラフスキ  
一理論、特に超課題という名の誤った考えて、特に一九四  
六八年におこなわれたジスターフ報告は決定的な問題で  
した。その上、毛沢東の『文芸講話』というしるものが、  
内容は社会主義的、形式は民族的だのと、愚にもつかない  
迷妄をもたらしただのも悲しい事実です。  
ソ連邦が解体する一九九一年まで待たずとも、一九八〇  
年代には、やっと克服されましたが、その頃には、日本で  
は、もう全く忘れていきます。なにしろ、ジスターフが批判  
した作曲家シモスタコヴィッチの第八・第九交響曲は、  
その以前の一九三六年の「アソフスタス郡のマクベス夫人」  
と、干渉によって改作された「カテリナ・イスマイロフ  
」とを比較して、干渉のひどさが確認できるし、ジスター  
フの批判、その後の第十交響曲をめぐる批判を思い返す  
と、スターリン主義下での社会主義リアリズムの害悪は、  
明らかでしょう。ソ連主義の政治性にあやまりを如実に  
反映したものであるからです。  
もちろん、日本のすぐれた人々は、いかにげんなりリ  
ズム演劇論に与することはありません。たとえば、岩淵達  
治は、一貫していわゆるリアリズム演劇を「リクエスト・ジョ  
ン（幻想、あるいは本当らしく見せかける）演劇」とらえて  
来ました。しかし、悲しいことに、政治が優位性を誇って  
いる時期には、戦後になって、大正時代から三十余年を経

的仮構に仕上げた場合だらうと、非現実にかかないので  
す。何よりも、リアリズム論者が、戯曲を判断してリアリ  
ズムか反リアリズムかを論じるのは、甚だ不可解です。そ  
れは芝居を文学に置き換えることになってしまいます。  
ついでに言いますと、わたしは、政治目的や宗教目的の  
ための宣伝の芝居、例のアジ・プロ演劇があつてもいい  
と思つています。チラシやパンフレットを読んでもらうの  
と変わらないのですから。ゴマカシのソ連主義演劇より、  
はつきりしています。  
元来、芝居は役者と見物とによつて成立すると前述しま  
した。リアリズムは、役者の演技から出発するとも言いま  
した。それを強化するために、装置や小道具や衣裳や化粧  
も手伝つていきますし、音響・音楽が見物の感情を引き立て  
ています。イブセンの戯曲を読むとわずらわしい程に、ト  
シヤ以来、戯曲は、芝居にあつて、そのリアリズムを、伝  
けけれども、はるかな昔の出発点ではどうであらうと、ギリ  
シヤ以来、戯曲は、芝居にあつて、そのリアリズムを、伝  
でしよう。人間のモラルや思想をも、戯曲があらわしたこ  
とも確実です。けれども、そこに落とし穴があつたとも言  
えます。見物に強烈な刺激を与えるための題材（人物・事

件など）や仕組み・仕掛けを備えたのです。そこに、観客  
を惹きつけるような戯曲を上演しようとする心がける傾向が  
出すぎたのです。何にも事件らしいものがない、何にも特別  
な人間が登場しない、始めも終わりもない芝居だつて、い  
いではないか。最近、わたしの観た芝居で言えば、青年団  
の平田オリザ作・演出の「冒険王」（駒場・アモラ劇場）  
などは、一九八〇年代はじめ、東西世界の十字路であるト  
ルコのイスタンブールの安宿に来ては去る、十数人の日本  
人旅行者たちの群像を舞台に見せるだけで、ドタバタも無  
ければ、対立抗争もなく、静かな会話だけの戯曲でしたが、  
強く印象づけられました。演じた俳優たちは、はつきりと  
リアリズムを見せましたし、メッセジを送つていました。  
ドラマだからと、伏線を張つておいて、幕切れでの逆転や  
大落とがある必要はないのです。  
しばしば名作だと思われている三好十郎の「炎の人は、  
いわゆるドラマと言ふより、一種の抒情劇ですが、わたし  
の目から見ると、リアリズムの薄い戯曲です。たとえ、  
ベルギーの鉱山の町でゴッホが神父をしたから、絵を書い  
ている時、モデルの裸婦が腹が減つたと訴えるので、ゴッ  
ホがクロッキキをしつづ、鉛筆を消すために使つてい  
るの皮を与えろと、女は、皮ばかりをくれる、と不満を言  
います。冗談ではない、ベルギーのパンは皮がおいしいの  
で、真ん中にはまずいから、小学生はお昼の食事が終わると

て中国から来日した京劇団を率いる梅蘭芳でさえ、リアリ  
ズム万歳を言わせられていたのです。もちろん、東ドイツに  
帰国したブレヒトさえも、表面だつては、リアリズム否定  
を口にできなかったのですし、その死後もワイル夫人や  
娘婿のシャルに支配されていたヘルリーナ・アンサンブル  
の舞台は全くひどかつたと思います。不思議なことに、  
ルリンの壁がこわれて後にハイナ・ミョラーがその劇団  
の芸術監督になつて（今年一月に急死）、見事に復興した  
のですが……。だいたい面白ことに、旧東ドイツは政治  
的に崩壊したのですが、文化的には西ドイツを圧倒するい  
きおいに今やあつて、かつての東独時代に閑古鳥が鳴いて  
いた国立歌劇場（かつてはベルクハウスという芸術官僚が  
威張つていた）が大入満員になつているし、今の東ベルリ  
ンには失業者は皆無だと言われる状態になつています。  
わたしは、リアリズム演劇のフロアガンは、岩淵流を応  
用すれば、リクエスト・ジョンでしかないと思つています。  
若居は、美術や文学とちがうのです。かつて、音楽や舞  
踊にもリアリズムを持ち込もうとした人がいました。しか  
し、それは決して大きくならなかつたのです。当たり前で、  
現実には、和音やバ・ド・フは有りえないのですから。  
芝居で見物に見せるセリフや身振り、観客を意識した行  
動であつて、日常生活を写す場合だらうと、いわゆる典型

食べなかつたパンの中の部分を固めて、投げ合うくらいで、ベルギーのパンを知らない三好十郎は、作品のリテリ

テリをこわす場面を平気で描いていました。

こんなことは絶えずあります。いつそやの井上ひさしの

老居では、一九四〇年という設定で、食糧事情が悪化して、

配給された一個の卵を、どうやって食べるかと、みんな固

唾を吞んで見守る場面がありました。冗談じゃない。卵が

大量生産され、コロステロールを気にする今とちがって、

昔はたしかに卵はいくらか大事にされました。しかし、食

糧配給の対象にはならなかったし、食糧事情がほんどうに

悪化したのは戦争末期の一九四五年はじめてでした。な

にしろ、当時、わたしは中学生でしたが、中学の食堂では、

その前年までは普通に、うどん・そばを食えるのに事欠か

なかつたのです。

同様に、岡部耕大の「亜矢子」でしたが、一九五〇年前

後、商売に成功した若者が世界一の車ベンツを買ったと自

慢する風景が描かれていましたが、とんでもないこと。当

時の日本で世界一の車は、キャデラックとかビュイックと

いうアメリカ車でした。東京オリンピックの頃になると、

イギリスのロールス・ロイスが関心のまこととなり、メルセ

デス・ベンツが良いという評判になるのは、一九七〇年代

半ば過ぎです。

リアリティというものは、ちょっとしたことごとくこわれて

義・社会主義のいずれであっても、あるいは保守・革新の

いずれの組織であっても、今や官僚主義（ビュロクラ

シー）こそ世界の隅々までも支配的であり、さらにセクト

主義が平和をむしばむ癌であり、わたしたちの世界認識は

何処までも磨かれるべきです。

問題は、なんでもリアリズムに帰して来た従来考えか

たであり、リアリズムか反リアリズムか、一元対立を説い

て来たことにあります。むしろ、積極的に、リアリズム演

劇なんてものは、実は存在しない、と認識すべきなのです。

だいたい、テラマ主義を覆い隠すための隠れ蓑にリアリ

ズムという言葉をスローガンにした点こそ、問題の所在

があつたのです。

大橋喜一は、リアリズムの訳語の一つとして、現実主義

を使いしました。しかし、現実主義とは何でしょうか。「現

実と折れ合つて（つまり妥協して、ということ）生きる人

生に何の値打ちがある、あるべき理想をかかげて生きてこ

その人生だ」と、ミョージカル「ラ・マンチヤの男」の脚

本家テール・ワッサーマンは、主人公のセルバンテスに語

りますが、牢名主に法廷で自己弁護する予行演習をしろ、と

言われて、小地主ドン・キホーナが、中世の騎士ドン・キ

ホーテを名乗って武者修行に出る劇を牢内で演じて観客に

強い感銘をもたらします。現実には順応する生きかたの意味

の注意が肝要なのです。

さて、三年前の大橋喜一の『演劇会議』に掲載された「ソ

連邦解体と社会主義リアリズム」という文章は、筆者の人

柄をしのばせる誠実な文章でした。六年前にベルリンの壁

がこわされ、その翌年にソ連邦が解体しても、押し黙って

いる人が多い中で、自分の信仰告白（キリスト教的に言う

とを）するというのは、勇気のいることです。彼は、「リ

アリズムは、数ある芸術の方法のなかの、創作方法のひとつ

つ」「社会主義リアリズムは破産しました。但し、その破

産は大きく考えても半分ぐらいい「むずかしいイデオロギ

ーのお説教や強要でない」「リアリズムをその原点の精神

で学ばなければならぬ」と言います。その気持ちは、わ

たしには痛いくらいにわかりました。

一面で、正しいと思います。ソ連邦の解体、即ち、資本

主義の勝利で社会主義の敗北などというのは、全然ちが

います。ソ連や中国が社会主義の真のモデルだとは言えま

せんし、ましてやマルクス理論が誤謬のかたまりなんてこ

ともありません。資本が商品生産に注がれた結果として利

潤ができるという『資本論』の何処がおかしいのですか。

資本主義自体が修正されて来ているとしても、資本主義の

ために、芸術文化の商品化は、依然として問題なのです。

さらに現代が情報社会・管理社会だと認識すれば、資本主

義の現実主義が、戯曲の創作方法であつていいわけはあり

ません。

芝居には見物に訴える「セージ」が役者の行動から生み

出される必要があり、それを助ける脚本が求められますし、

演出は、はつきりとコンセプトを持った仕事をしなければ

ならない、という姿勢こそ忘れられてはいけません。

なるほど、今、誰もが問題視するエイズ発言だの、住専問

題だの、あるいは、リストラやじめの問題だの、カルト

集団に青年がなぜ参加するだの、注目のまとしてしょう。

しかし、それにかかわらずとも、現実をどうとらえるかに

ついて思い悩む前に、無理に「プロット」をつくる必要は実は

無く、筋がなくとも、解決がなくともいい、芝居に必要な

のは生きた人間である、という当たり前のことから出発す

べきではありませんか。

編集者へ——追記 御依頼を受けた問題について、頼ま

れた紙幅を大幅に超えて申し訳ありません。ずっと前の

「大橋喜一への手紙——リアリズム論争の亡霊（一九七七

・七・十一「テアトロ」）を、おひまがあったら、読み直

して下さい。わたしは、人間が鈍なものだから、劇評を四

十年以上してはいますが、少しも変わりばえのしない演劇観

の持主で、昔からの古い考えを述べた結果になつたことを

お許しください。



# 全演(東)第6回作家会議 報告概要

栗木英章  
劇団名芸

●昨年二月には、信州馬籠で東・西合同の作家会議を初めて開催したが、その席で討論した西の『安吾往来』(作/広島友好)がテアトロ新人戯曲賞に輝き、『天神町一番地』(作/橋本幸男)も、劇作家協会優秀新人戯曲賞の最終選考会に選ばれ、その戯曲集に掲載された。東も負けじと今回集まった面々と討議作品は次の通りである。

矢野喬(土の会)、境野修次(石るつ・演劇会議編集次長)、福山啓子(青年劇場)『あした天使になあれ』、林陽子(展望)、北野茨未来半島)『千年の丘』、小島真木(静芸、中村和光(RIN))『新選組異伝・幕末の修羅たち』、布施佑一郎(からっかぜ)、こはやしひろし(はぐるま)『新島の飛騨んじ』、『江島

細香と頼山陽』、藤本昭(はぐるま)『明治の光・森巻耳伝その2』、『鈴木弘文(夜明け)、丸子礼二(演集)、丸山千代子(豊明演劇同好会)『幸福の玉』、鈴木正彦(個人)『そして、神戸』、栗木英章(名芸)、以上十五名。西作家会議からは連帯のメッセージが届けられ、中村(群馬中芸)や大峰(銅鑼)からは、丁寧な手紙と共に、貴重な作品や資料を寄せていただいた。

東の先端を走っている平石、大峰、岡安らが各々の都合で参加できなかったのは残念だが、待望の北野茨が青森から駆けつけてくれたこと、新しい書き手の福山や丸山らが出席してくれたこと等の嬉しい雰囲気の中で話し合いをスタートした。

五月十一日(土)午後三時～翌十二日(日)正午  
於 1 東海浜松社員宿泊所(浜松市)  
尚、会場の予約から交流会の準備等、布施夫妻にすっかりお世話になった。この場を借りて、あらためて厚く御礼申し上げます。

●紙幅に限りがあるので、作品紹介や討論の詳細には触れられないが、印象に残ったことや共通する点などを中心に記したいと思う。

まず、『幸福の玉』は、私達の周辺によくあるできごと——高価な玉を買って(買わされて)幸せがしをする家で

族——の物語りであるが、着眼点の良さや喜劇性に貴重な才があるもの、そこからあぶり出されるであろう日常の空虚さや、女の(人間の)恐さなどに至っていないところが指摘された。矢野が言う「その先に何が」を描く必要に関わることだと思ふ。

●『そして、神戸』 作者の鈴木は名芸に所属しながら劇作に励んできたが、結局一年半前に退団した。上演へ向けての十分な配慮がなかったことに心痛むが、彼はそれにとどまることなく今回の作品を書きあげた。阪神大震災は全リ演の課題でもあり、カメラマンと新聞記者の眼からみた「神戸」を描いたこのシリーズ作は、今までの彼の地点を踏みこえた作品と言える。彼は三作目(完結編)を考えられているようだが、次の点に留意して是非来年に向けて新作を生み出してほしい。

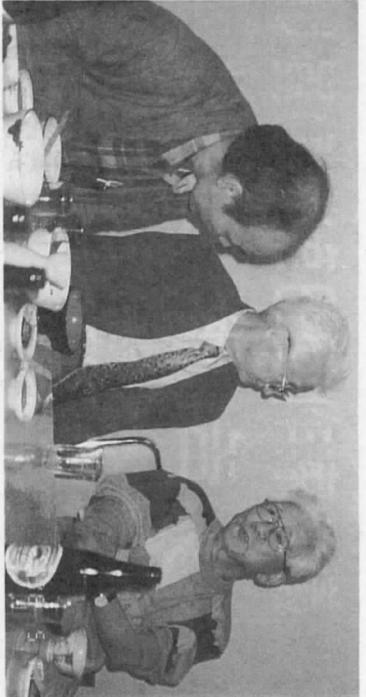
(1) 被災者の心の痛みと、乗り越えようとする人間の意志。(日本式復興一区画整理型で救えない悲喜劇)

(2) 構成の工夫とリアリィ。

それに付けても、大きな曲面に立った時の人間の有り様、描き方の難しさを考える。かつて研究教育の中で、子供への事故死を知らされた男(父親であり夫)が、一瞬「これで離婚ができる」と思った心の動きを話したことがあるが、



何人かかその話が一番残っているかと告げてくれた。どう描くか、極めて多様で奥深いのだが、すぐ「えっ？真つ青になる）——といった類の表現をしてしまっているか、立ち止まって見直す必要があると言えらるだろう。



●『あした天気になあれ』(婦名(名古屋)後新聞記事で、ミョーシカル集団「コーラス・シテ」公演、春のバラエティショー『MUSIC MOVIE』のミョーシカル泥棒のニュースを知ったが、これも同集団で上演され、アメリカにも持っていった作品である。「愛」を正面から描いた新鮮さを評価しつつ、みんなから色々注文が出された。結局、歌で救えるかどうかの類形だったと思う。現実の暗さ、重

ているとも言えるが、子供の眼が見えない——すぐ一緒に死ぬという件や「猫」のように親がこっそり会いにくるラストの描き方など、安易さを指摘された。矢野がよく言う「ツイスト」——ひとひねり、一ひねり——の努力を第三作にのぞみたい……といったところで初日の討論を終え、遅めの夕食と交流会に移った。かつてこういう場で、いつも毒舌を吐き、酒席にロサビの生彩を放った萩さん(元演劇会議編集長・演劇評論家)をいつ時限だ。故人の代役は誰も果たせないが、みんなを補い合っていていくより他にないところだ。

●翌日、その萩さんと違った角度——わかりやすい劇作手法の例示もふくめて、矢野が中間まとめと問題提起をしてくれた。

いわく、書き手が登場人物に言わせたい事をストレートに書いてしまつたらなき、段取り通りに人物にしゃべらす底の浅さ、前提状況や動機づけを煮つめること、選択肢の多いイメージの膨らむセリフの大切さ等々各々の提出作品にあてはまる部分も多くある。結局「社会にアンテナをはって、感性を研ぎすませる日々」のあり様が問われていると言われることなだらう。

●さて、いよいよ注目の『千年の丘』であるが、演劇鑑賞

さを出せという訳ではないが、わかり合った中でしか通用しない共感を感ずるの助言、そしてストーリーにもっとオリジナリティをもたせるようにという期待であったと思う。

●『新選組異伝 幕末の修羅たち』力をつけてきた中村の集団をあてこんだ新作である。彼の力量は認めつつ、異伝たる所似を問うたが、論議がかみ合ったとは言えない。

時代をどうとらえるのか、その中に轟く修羅がどういふ言葉を出して吐くのか——という点も、おそらく公演の成算をもつ彼には通じなかつたかも知れない。ただ、時代劇を書く場合、歴史に疎い私などは繰り返して山本周五郎、司馬遼太郎、海音寺潮五郎らの描いた世界(登場人物と作者のスタンス、そこから生まれるセリフ)を机上に置くか、中村は何を座標軸にしているのだろうか。少なくとも、例えば坂本龍馬を描く場合、「坂本龍馬を斬つた男」(今井喜章、新人物往来社)などを参考にして欲しい。その上での「楽しさ」がほんとうではないだろうか。話は変わるが、静芸を離れて若者を率いてきた彼の劇団RINが、全リ演へ加盟すると発言がされた。今後各々の地での特色ある舞台活動を共に競い合いたいと思う。

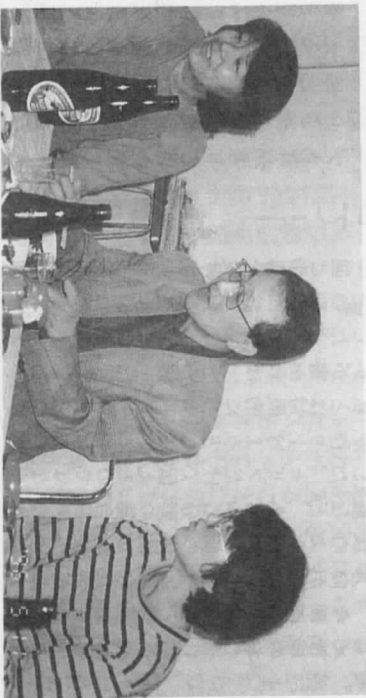
●その1に続いての『森巻耳伝』すでに学校で職員たちの出演で上演され、好評を得たものである。それで完結し

会例会に向けて取り組まれていただけに完成度の高い秀作と言える。

土偶のかけらを口にくわえるラストのシーンは、そこではじめて作品が地についたとみる側と異和感を感ずる人たちとの論がかなりさされた。

青春の地での公演では多分胸におちる受けとめ方をされるだらう。

作者の実家に村をとり、人間の営みを三丙丸山遺跡にかさねて描いたと聞き、私は三浦哲郎氏の「白夜を旅する人々」の深さを思い起した。



た。北野の推敲を重ねたであろうセリフの中で、「……口からいくらいつばい、何百何千つという言葉を吐き出して、言う傍から目が打ち消すのよ……」はいつまでにも心に遺る。ところで後日談とはなるが、名古屋で何人か



にこの作品を勧め、読んでもらったが、必ずしも評価は高くない、端的に言えば「そして何？」という受けとめ方だ。欲かも知れないが、社会の横へのひろがり求めたところか。読み手の状況や好み、ドラマ観の違ひもあろうが、作品の普遍性について何かしら重い課題を背負った気がする。

●同ような思いを抱いたのは、地方のソフトに込めるべく、先鞭をつけているこぼやしの一作だ。今でも新島で生き続けているという流人「飛騨んじい」の話など、こぼやし演出とは異なる量の力量から推しはかれは感動的な舞台となるのは間違いないことだろう。だが、出席者の何人かが感じている「安定したお芝居」の作品としての独立した魅力の薄さがかどうかみ合っているのか。地方劇団のその地方での貴重な仕事を、既製の物差しではかる必要などないのだが、しかしその地での好評でよとすべきものでもない。最近文学分野でも他のジャンルでも、批評の問題がかなりとりあげられているが、全リ演でも作品論や舞台評など、現状よりも一歩踏み込んだところでの斬り結びが求められていと思う。この点については今後もっと深めていきたい。

●いつもながら、より意欲的な作品をひっかけての、来年の再会を約し閉会とした。今回論議した作品かどう舞台化

## ヴォイストレーニングの実際③ 深い呼吸と自然な声 やまもとのりこ

強い大きな声を出そうとすると、どうしても体のどこかがこわばり、不自然な声（表現）になりやすいものです。キアリアのある人ほど、「自然さ」の点検が必要になるでしょう。

### ① 体を感じる

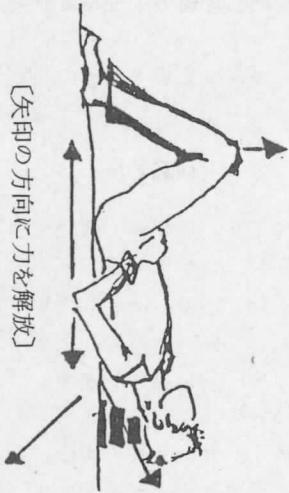
木床に寝て、背中の広がり確かめます。頭の下に必要な高さをおぎなうて（本などで）、首の後ろ側の柔らかさを感じて下さい。片方の膝をゆくりり立ちます。背中の広さはどう変わりますか。もう片方もゆくりりと、変化を感じながら両膝を立てます。足の裏の位置が速すぎたり、脚や膝がこわばっていると全身のリラックスに影響が出ます。この姿勢が苦しくないよう工夫して下さい。（図参照）

され、客席にどう受けとめられるのか、一つひとつ確かめたいところだが物理的に難しい。せめて『演劇会議』に反映して欲しいし、私たちもその努力をすべきだと思う。今、各地で創作が求められ、また生まれつつある。これをどう実らせるかは、ひとり書き手のみの問題でなく、各劇団の共通の課題であると言える。次回作家会議へのより幅広い参加を訴え、拙いまとめとさせていただきます。最後に初参加の丸山さんの感想を紹介させていただきます。様々な場での皆さんのバックアップありがとうございます。

**丸山 千代子**

劇団演集の丸子先生に週一回ご指導を受けている、豊明演劇同好会の代表をしています。その先生にお声をかけていただき、今回初めて参加させて頂きました。私の作品は、市民演劇フェスティバルに参加する為に「誰かが書かねば」との思いで、初めて書いたものです。そんな私とは対照的に、セリア一つひとつに思いを込めて、全体の流れを作り上げようとしている先輩方の意気込みには、新鮮な驚きでした。セリアだけで伝えるのではなく、演技や音響、衣裳や舞台装置など、あらゆる分野の総合芸術である事を改めて感じました。私のように見る側の体験しかなかった者にとっては、全く違った方向からの「演劇」に触れた気がします。この体験で学んだ事を、今後に生かせたいと思っております。最後に、栗木様、布施様はじめ皆様のお心遣いに厚くお礼申し上げます。

木片手を肋骨の下部（脇側。肩が上からないように注意）に当てて、そこまで動くように深く息を出し入れします。動きを感じられないときは、息の量が足りないか、体のどこかに力が入っているはずですから、こわばりをほぐすように「アー」と口から大きく息を出して下さい。そのまま自然に口から息が入ることが望ましいのですが、息をしようとするとう肩に力が入ってしまう人は、鼻から息が肺の底までストリートに入るイメージで。



胸が楽になった、胸の厚みが増したような感じがする、など伸び広がる感覚ならうまくいっています。どこかが固まったり、狭い感じがあるときは、姿勢の楽さ、呼吸が不自然

になつていないかを点検して下さい。

## ② 深い呼吸からの声

木肋骨の下部または下腹部が広がるように深く息を入れ、肋骨の広がりが増くならぬように、S音を出します。

発声時の上半身の緊張の癖をとる(気づく)ことが大事なので、S音を強く出すことより、最後まで同じ強さでコントロールするようにやってみて下さい。

木『うららかな晴れた日』をイメージして、

「ア、いい天気だ」と声に出して下さい。

これは一例ですので『曇った寒い日』のイメージで

「何て天気だろう」(ことばはなんでもけっこうです)とか、自分のイメージをいくつかことばにしてみして下さい。

何か思いついた、とか、イライラしているとか、気分の変化も試して下さい。(ことばを思いつかなくなったら、同じことばで変化させてもいいのです)

…呼吸の入り方はどう変わるでしょうか。

息が入るときから、イメージは始まっているのです。

速さとか量は違うでしょうが、息の深さは同じはずで、できる人は、息の入りをおぼえと浅くして(胸の辺で止め

て)、同じイメージを声にしてみます。

その時の声はどう変わりますか。

らないと相手の表情が変わらないでしょう。相手に変化が生まれるまで、話し方を変えたりいろいろ試して下さい。…だんだん離れていきます。距離に応じた声が出て、相手

## 伝言版

九〇号、お送り頂き、ありがとうございます。

あの大震災以後について、引き続き誌面への反映心を

かけていられる様子がわかり、感謝・敬服しています。

本当にあの災害から立ち直るには、まだまだ時間がかかりそうです。こんな傷さえもが―と被災地に暮らして

いても、日々新しい発見があるほどに、人間の内部にくい込み、時と共に更に傷口が拡大し、深まっていくこと

もあるのです。先日と同じ西宮市内ですが、久しぶりに通った街並みに、サラ地が増えていたのに、愕然としま

した。二ヶ月前までは家が建っていたはずなのに。外見ではわからなかったのですが、人が住めない状態にな

っていたのが、放つたらしにされ、最近ようやくと壊しが終わったという訳です。こんなことは例外的な

ことでなく、街なかでも中層のビルが無人のまよとり壊されずに残っている所もまだあります。復興、復興とい

た皆さん残っています。

深い呼吸から出る声はどんな表現でも深い声になります。

呼吸が浅いと、表現がわざとらしくツクリ声になります。

イメージがあつて呼吸が深く、それがスムーズに出ていく

(止まらない)なら、表現は豊かになるでしょう。

## ③ 人を動かす

どんな時でも、声は人に向かうもの、ことばは人を動かすために使うものです。

相手がしつかり意識できると、余分な力が抜けたり、必要な力が入ったりしやすくなりますが、ここでは相手を感

じることを試してみましょ。

木二人で手を取ります。互いの肩やひじに緊張がないか、相手の手を一人が握することを繰り返します。

一人の手が一本の鎖のように感じられたら、そのまま相手に話しかけます。

緊張を感じたら、手から相手にエネルギーを流すつもり

で、

…手を通して自然に話すのが目的なので、余り沢山の内容を言わず、相手に伝わったかどうかをチェックして下さい。

い。

木相手の目を見て話しかけます。聞こえてはいても、伝わ

にきちんと伝わったかどうか、手を取っていたときと同

じように、相手を感して自然な声になつているか、聞く

側が敏感になる必要があります。

人々の心の問題になると、本当にもう時間と共に複雑

化―進行していつている側面があることを見逃す訳に

はいきません。私自身、透折生活、やかつて十年目に入り

ます。衰えが進行するわが身から口惜しいかぎりですが、それだけ、胸掻きむしられる思いですが、震災をバネに

して強く立ち上がろうとしている人たちが、喘いでいる人

たちの胸許に飛び込んで、泥まみれになつてい

る人たちが、弱音ばかりを吐いてもいられません。

四国会、どの諸君も、随分、ふんばつていい仕事を

して下さり、勇気づけられています。

願わくば、神戸以外の人たちが、話を聞くだけでなく、

直接、現地へ入つて、自分の目で耳で、頭で、震災がも

たらしたものを、日々増幅されている問題について、自分

の問題として考えていかれることを期待しています。そ

れを誌面に反映して下さい。原爆災害も、物理的な破壊

にとどまらなかつたように、地震災害も物理的な破壊だ

けに目が止まつていては何もならないのです。

更なる御健闘を念じています。

一九九六年四月二十五日

小松 徹



# イギリスの俳優教育に於て

## やまめとのり

今年の二月末から一ヶ月間、ロンドンの王立演劇学校(RADA)で行われた「日本人プロフェッショナルのための西洋演劇のコース」に参加してまいりました。以前から、イギリス演劇の『自然さが基盤にある演技』が好きでしたし、昨年T・P・Tのデビット・ルヴォーの『クック』で体験した、体・声・人との関わりを一体化するウォーミングアップの方法に、とても興味を覚えています。イギリスの俳優教育にふれてみたいと思っただけです。参加者は劇団昂やシェイクスピアシアターなどの俳優演出家、それにヴォイストレーナーの私で、一クラス八名でした。初日に、校長のニコラス・バスター氏からこう説明がありました。「RADAはプロフェッショナルの俳優によって創立され、プロフェッショナルの俳優のために機能している。本来は三年間で、体の動き・呼吸・声などが、演技においてどんな風に関係していくかを学ぶ。体の動きも、アレクザンダー・テクニクを基本にム

RADAのアーガメント(動き)の主任講師であり、アレクザンダー・テクニクの教師資格も持っている、ソ・レイチェル氏によると、「人間や動物は何かに深く集中しているとき、瞬間に体のあらゆる感覚を動員し、めざまさせて刺激を積極的に取り入れようとする。その時、体は固まらずに広がっていくのだ。緊張しやすい言の後ろから背骨が、いつも柔らかく伸び広がっているように感じていけば、全身を整え、集中を自分の中心でとらえることになり、同時に自分の外に起こっていることに関連ができていく。」といいます。それが実際の授業の中で、どう応用されているかという点、たとえば、スティーヴン・アイト(擬闘)の授業は、まず首から背中を、柔らかく優しくマットにつけて前転をす(受け身にならぬ)……ところから始まりました。背中が固いと腰を打ったり、力のコントロールができません。結果的に相手役を傷つける危険があるというのです。互いの安全を最優先して、観客にリアルに見えるように、とは他のレッスンでも、繰り返し注意されました。フェンシングやクラシックダンス(今回はチェロホフ時代のワルツ)でも、柔らかく背中を伸ばし、首が固まらないように注意して基本姿勢をとります。

もちろん、この考え方はヴォイストレーニングにとって

も大事です。「声を出すとき、体のどこも固めてはいけない」「声を出すとき、体全体が外へ伸び広がっていく」ということでしよう。

今回のカリキュラムはシーズンタデイが週9時間二人の演出家の共同レッスン。チェロホフの『かもめ』『三人姉妹』の一部を使って、リズムの変化、周囲との関係、行動の欲求などをエクササイズからシーンに結びつける)ヴォイストレーニング週6時間(二人のトレーナーによる基本訓練と実際のせりふに結びつけていく2クラス)、アーガメント週6時間、即興週3時間、歌、フェンシング、クラシックダンス、スティーヴン・アイト週1回1時間半。

現在、私の中に一番強く残っているのは、「俳優の仕事は最終的に周囲との共同作業である。どう演じるかではなく、相手役やその場の状況や環境をどう感じるか、が一番重要なだ。」ということです。

これは彼の晩年の意見であると聞きました。ヨーロップでもスタニスラフスキの再評価がされ、ここからは彼の訓練も、自分の内を外にどう現わすかよりも、外から受けた刺激がどう現われていくかを目的として、考

えられているように思いました。

フェメントやスティーヴン・アイト、ダンスなどがすべて関連して『舞台』に集約されるように教えられる。(定員は約三十名。一年次は動き・呼吸・声など基本のみ。上演は一、三年次で二班に分かれて六本ずつ。クラスによって、さらに小人数で授業が行われる。)

今回のコースは、三年次のカリキュラムを凝縮したものである。今まで経験したことや捨てたことを、何も知らないとどこから出発して、新しい脈を発見してほしい。

アレクザンダー・テクニクというのは、今世紀の前半、オーストラリアの俳優F・マシアス・アレクザンダーが声帯に異常を生じたのをきっかけに、首の緊張が体を縮ませ、ゆがませていくのに気づき、「無理のない経済的な動き」を求めて始めたといえます。ヨーロップ、アメリカでは健康法として、一般の人にもひろがっているようです。イギリスではアレクザンダー本人が俳優の指導をしたうえで、RADA以外の演劇学校でも利用されていますが、(RADAの講師は他の養成機関でも活躍している人が多くい)、RADAでは一対一で調整をする整体に似た基本的なエクササイズを始め、時間をかけて徹底させています。

# 第二回国際チェーホフ演劇祭と「黄金のマスク」賞 桜井郁子

一月下旬、モスクワから電話がかかってきた。「三月十九日から『白痴』の三夜連続公演がある。いらしゃい。かねて見た第一部を含め、三部連続を待っていたから、嬉しいニエース。でも四月出発を考えていたので一瞬ためらった。その私を突き動かしたのは「黄金のマスク」賞コンクールが三月十五日から十日間行われるという新聞記事だった。それに『白痴』四月公演日は確定していないし、いつ変更があるかわからないのも、あの国の劇場の常。更に、出発の数日前に嬉しいニエースを新聞に見つけた。第二回国際チェーホフ演劇祭が三月中旬から七月初めにかけて催される事になり、記者発表がニエース大使館であったという。何故ニエースで？ まあそれはいい。それよりプログラム内容が期待を持たせる。この前、一月帰国の頃は開催も危ぶむ噂があったというのだ。

チェーホフ演劇祭、外国からの参加はベーター・シュタイン演出の『クレーン』(イタリヤ、ドイツ)、『エ・ネグロ』(ロシア)、『三人姉妹』(リトワ)、エストニア、ブルガリア、アルメニア、ベラルーシ、モルドバ、ラトヴィア、セルビア、タジキスタン、トルクメニスタン。旧ソ連邦諸国からの参加も多く、ロシアもモスクワから極東のウラジストークまで、演劇祭の演目は四十になる。登場する作家はチェーホフの他、エウリピデス、シェイクスピア、ドストエフスキーから、現代のイヨネスコ、ベケットまでと広い。

ここで寄り道をして、四年前の一九九二年十月に実施された第一回チェーホフ演劇祭について書いておこう。この時も直前まで開催が危ぶまれ、不意に実現したのを後で知った。第一回の内容はあまり充実したものとは言え兼ねたが、外来の三劇団が『桜の園』を競演し、この面ではアカデミックな興味深いものだった。三つの『桜の園』は世界的にも著名なチェーホフ演出家、チェコのO・クレイチヤ、ドイツのP・シュタイン、日本でも演出をしたA・シェンペンによるもの。中でもジャウビエーネ劇団(ベルリン)を率いたP・シュタインは、緻密な演出の舞台を作らば、前回モスクワ訪問時(一九八九年)の『三人姉妹』以上の評価を受け、各誌が競ってシュタイン特集を組んだ程度である。

一方旧ソ連邦諸国の劇場はシュタインの代表作を見せたものの、チェーホフ劇は発表できなかったし、予定されたラジワ、リトワからは国際関係緊迫化のため来演できなかった。

つた。代りに、モスクワを初めとするロシア各地の諸小劇場が反乱を起こすかのようになり、俄かに実験的なサ・フェスティバル「チェーホフを演じよう」を組織し、数々の話題作を発表した。この試みが、今もあるチェーホフ・グループの火種となった事は間違いない。

あれから三年半、連邦崩壊後の政治的・経済的混乱は続いているが、ロシア諸劇場がチェーホフ劇を見せるまでに状況が成熟したのか。といっても、自由を得た代りに公的保護を失った穴は大きく、ロシア演劇の今日・明日は決して楽観できるものではない。私の知る限りでも、大劇場もスポンサー探し、海外公演や国内旅公演で足らざる収入を補い、名のある演劇人たちはアメリカ・ヨーロッパへ出かけて研究・演出などの共同作業によって、新しい活動分野を獲得すると共に、経済的にも一息ついていようなのである。

こんな困難な時代のロシアに世界演劇の代表者たちが手をさしのべた(それだけとは断言できない。むしろ彼らの方が熱狂的なモスクワの観客の支持を当てにしたのかも知れない)。ともあれこれからは、モスクワ一都市で集中的に見る好機会を得たのであった。

モスクワに着いてから一週間は「黄金のマスク」賞の話に湧いていた。ここで「黄金のマスク」賞について少し述べよう。ことわっておくが、今回のこの賞のドラマ部



門候補作は五作品中四つまでチェーホフ演劇祭に組み入れられていた。

「黄金のマスク」賞は演劇人同盟（ペレストロイカ後結成された民間組織）の同盟員による同盟員への賞で、一年に一回同盟員の投票によって行くと発表されていた。前回には首都のドラマ劇場が対象だった。（受賞結果は前の「レポート4」に書いた。）

今回は改組がされて、対象を全ロシア演劇空間にひろげ、部門もドラマ劇場に限らず、オペラ、バレエ、人形劇までひろげ、国民的演劇賞を目ざしたという。然しモスクワやペテルブルグ以外の地方組織の反応はまだ鈍いとか、一つの審査委員会が音楽部門まで含めて審査するとか、問題点なしとしない事は言っておこう。ただ三月二十五日「劇場で開かれた授賞式は、スター始め多く演劇人を一堂に集め、喧伝されていた（ロシアのオスカー）の合言葉さながらのイベントを展開した。この録画が二時間番組としてテレビに放映されたから、劇場へ足を運ぶことの少ない人へのアピールになったかも知れない。

このイベントはともかく、本筋の候補作品は観客にこびる事のない芸術性の高い作品ぞろいだ。各地の「同僚たち」の厳しい眼もぐりぬけている。チェーホフ演劇祭と同等の様、失敗を恐れずこの際に賭けた新作もあるが、各地のフェスティバルで評価を受けたもの、実験劇も多い。私の

どんな『白痴』とも異なる。三夜連続、第一部『恥知らずな女』、第二部『哀れな騎士』、第三部『ロシア社会の三部構成 正味九時間の舞台。原作の主題、モチーフ、イデアをその容量の大ききまに、舞台にうつそうとした試みといえる。省略やテキストレジーを極力避けて、数多く多彩な登場人物の全てを等距離にあつたS・ジェンヴァチの演出は、ラストエスキートの迷路へ我々を導き入られるようでありながら、ムイスキを中心とするロシア社会、いや人間社会の複雑な錯綜したままの姿を舞台に浮かびあがらせる。観客にもだが、俳優たちには限りなく持続するエネルギーを強いる仕事である。

そのムイスキ役、ほとんど全幕出すばかりの役をさし象ではまるで光りを内から発するキリストみだいに演じて見せた俳優タラマラエフの力量はすごい。

演出家ジェンヴァチが「黄金のマスク」を得たのは当然として、タラマラエフにも俳優賞をあげて欲しい。

俳優賞はカンカ作『変身』の主人公サムサを演じたK・ライキンに与えられた。ある朝の目覚めから虫に変わっていく我が身の運命にとまどいつつ、家族を想いゆる心と、虫である身体との乖離の表現に演技力を傾けた。当然かも知れない。（モスクワ、サチココン劇場、メイエルホルド芸術センター。V・フョーキョフ演出。レポート5（参照））

演劇祭への関心もそこにある。愛するチェーホフの演出作

品は見逃したくない、それに何よりこの国の演劇の「今」をつかみたい、それを世界の演出家たちの間で見られるのだから、これ程のチャンスはないと言える。

かくて私は、ペテルブルグ滞在の三日間を含み、まるまる一か月滞在して毎夜観劇の日を過した。演劇字者シャフ

ニアジトロフが「演劇マラソン」を名付けた三か月余りの、その最初の一か月は私にとってこれまでにない充実した一

か月。さてどこだけお伝え

できるか、見

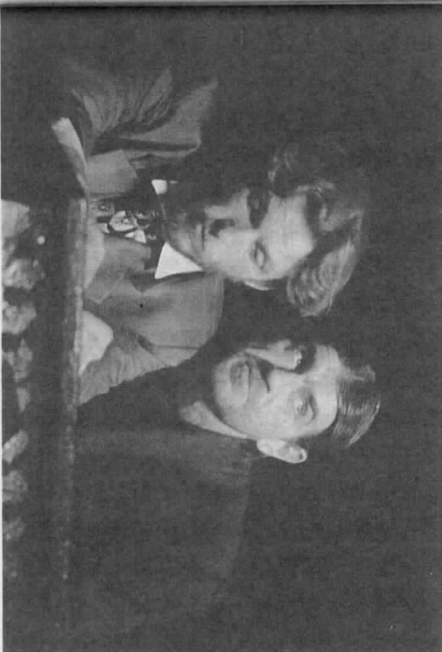
てきたいくつ

かの芝居につ

いて書いてみ

よう。

これまでの



『白痴』S・ジェノヴァチ演出

劇場）

ラストエフ

スキート作『白痴』（モスクワ、マリーヤ・ブロンナヤ

家カン・ギンカスのテーマだ。かつて同じラストエフスキ

ーにもどづく『地下室の手記』という印象的な舞台をつく

った。

K・Iとはカチリナー・イグリンヅナ、『罪と罰』の中

に登場する、酔漢マラムラトフの妻のこと。夫の死と生

活の窮乏にひき裂かれてしまった女のむき出しの魂が、思

い切り声をあげている。壊れたレコードのような繰返しや、

せつやかな激情が、通夜の客になぞらえた観客や、自分の

子どもにも向けられる。捨て身の演技でK・I役を演じた

O・ムイスキ。女優賞はこの若い人にあけて欲しかったが、

数々の賞を既に得ているO・ヤコヴレフがもらった。（演

出家ギンカスについてはレポート4（参照））

「黄金のマスク」作品賞をもらった『ソブレスト』（カ

ザン、青年劇場。B・ツェイトリン演出）については余り

言うことがない。装置や衣裳も工夫がなされた、四時間の

前衛劇。でも私には心あままり感じられず、退屈したと言

うのは酷たるうか。

チェーホフ劇に移ろう。

『フーニナ伯父さん』（イタリヤ、ドイツ。テアトロ

ディ・ロリーノ/テアトロ・スタビリ・ディ・バルマ）イタ

Режиссер —  
Эдуард Миколюк  
Александр  
Иванов и Владимир  
Косминков  
Художник  
Алла  
Директор  
Евгений  
Некрасов  
Сценограф  
Наталья Голубева  
Музыка  
Евгений  
Лавинский



『三人姉妹』 E・ネクロシユス演出

敬礼したり、軍用長靴をならべたり履いたり、煙草を喫ったり、煙を吹きあげたり... : どうやら姉妹の背後に立ちただかるのは、軍人だったとき父の影なのだ。ネクロシユスは他にもいろいろの表象を使う。登場人物の感情の高ぶりにあわせて回転させる白い丸椅子ととか、裸かのーシヤを夫の目から隠してやろうと二人の姉妹が彼女をぐるぐる

代の娘たちのように紙ヒコキを飛ばしてはしゃぎまわっている。「名の日」のお客の若い将校たちも丸太をかっで登場、スボーンまがいの運動と、口から水を吹き出すなどの手品を披露する。舞台中央には、積み上げた丸太による塔が立ち、時計や姉妹の父の肖像が吊り下げられている。この他にはさまざまな体操器具がいっぱい、平

あう三人姉妹は、これまで見たことがない。軍帽を冠って敬礼したり、軍用長靴をならべたり履いたり、煙草を喫ったり、煙を吹きあげたり... : どうやら姉妹の背後に立ちただかるのは、軍人だったとき父の影なのだ。ネクロシユスは他にもいろいろの表象を使う。登場人物の感情の高ぶりにあわせて回転させる白い丸椅子ととか、裸かのーシヤを夫の目から隠してやろうと二人の姉妹が彼女をぐるぐる

リテ語。  
三月末、休演日のモスクワ芸術座で白樺の木立を作っている人びとを見かけた。それがこの舞台の開幕直後、ペラソダの向うに陽光を浴びて白い葉を翻す林になったのを知った。演出のP・シチャインは幕毎にこの林を変えて使う。第二幕は三方とも壁の室内。ただ一つの窓の外に黄昏色から暮れて行く林を見せ、やがて夜の遠雷、驟雨。窓ガラスを風が叩き雨が流れる。第三幕。サンルムの外は秋の黄葉。その美しさとうらはらに、内では極めて人間臭い争いと悲しみが展開する。終幕、ワニヤの書斎・居室を設定された舞台は家具の山。ただ一箇所扉の外の、そのまた向



『幸せな日々』 ピーター・ブルック演出

の町では二人だけのインテリゲンチヤ」というせりふに見合う二人でない。  
数日前に見たロシア人俳優の「ワニヤ伯父さん」(他の劇場が俄かの休演だったので予定外の観劇)のあの舞台上に及ばぬ、この俳優たちの表現。イタリヤ人だからとは思いたくないし、期待が大きかっただけに私の胸の中に冷いものがひろがった。  
アニア語。  
『三人姉妹』(リトリ、フエステイブル・ライフ)リトリニア語。  
E・ネクロシユスのチェーホフ劇は意外性に充ちて、しばしば反発を感じながらも魅かれる舞台だった。彼の『三人姉妹』は上演四時間、遊びが多い。開幕、三人姉妹が十



る巻きにする大きな白いシヨールとか。

この演出の特徴の一つはオリガの形象だ。とてもやさし

く美しいオリガは孤独にもヴェルジニンを慕っている。

一幕ではマリーシャと彼のキスを盗み見しているが、不意に

眠りに落ち、いびきを発したりする。マリーシャの別れは

マリーシャよりずっと劇的だ。ヴェルジニンも彼女の心を

知っている。彼は白い薄紙を折りたたみ、口にくわえて破

片をいくつも吐き出し吐き出す。最後に紙を拵げると

美しいレース模様かできた。これをオリガの胸の上にひろ

げてやる。舞台上手袖での熱い長いキス。ところが実はマ

リシャが後方で一人を見ていた。マリーシャはヴェルジニ

ンと一瞬抱擁するだけで別れる。

美しい三姉妹に対して、演技はうまいがひげ面で禿頭の

トラーゼンバフなど、異和感の刺も交じる舞台だが、やは

り心に残る。

最新の新聞ニョースによると、チェコの新鋭二十八歳の

P・レナル演出による『かもめ』はまたまた新機軸らしい。

こういう作品に会えるのがフェスティバルなんだ。

私の滞在中には見られなかったが、ロシアにも意欲的な

演出がある筈だ。それにいつか見たいと思う創作もある。

フツリエフは著名な映画監督だが、彼の書いた『十六号

病室への訪問』は、レフ・トルスナイとアントン・チェーホ

フ、二人の作家の出会う物語。史実でもトルストイがヤル

タで入院中のチェーホフを見舞っている。一人が交す会話

は、人間の生活とは何か、創造とは何か、この世では何

の為に生き、また苦しむのかという事らしい。上演するのは

はリベックの劇場、演出はV・パホモフ。この劇場と演出

家は毎年チェーホフにとり組んでいて、チェーホフゆかり

の地でのフェスティバルハメリホヴオの春を主催して

いる。

エストニアの劇団は『ヤルタのチェーホフ』を上演する。

一九〇〇年モスクワ芸術座が『かもめ』と『マリーシャ伯父

さん』を持って、ヤルタのチェーホフの許へ引越公演をし

た。その結果、『三人姉妹』も『桜の園』も芸術座が初演

権を得たのだが、その年のヤルタにおけるチェーホフの別

荘を舞台にした話。チェホフの他に、妹マリーシャや妻で女優

のオリガ・クニツェル、それに作家ゴリキイとブリーニン、

芸術座の演出家スタニスラフスキイやニコロヴィケリダ

ンチェンコなども登場させるといふから、その大胆さに恐

れ入る。演出はP・タンメアル。この劇場は『桜の園』も

持つてくる。

うすい紗幕の向うに明りがつく、舞台はまん中にむき

出しの岩山。その小高い中央にうす物一枚の女ビニーが、

ほとんど胸まで土に埋って独り言、いや後ろの近くにやっ

ぱり身動きのとれないらしい夫がいて、彼女は夫相手のと

めどないおしゃべり……傍らの鞆から取り出す小物で、

歯を磨いたり、口紅をひいたり、爪にヤスリをかけた……

……とりとめのない話から洩れてくる彼女や家族の日常と

過去。鞆からは黒いピストルが出てきたら、彼女ががさず

のか、この極限状況の説明は一切なく。ともかくも今の一

時を「幸せな一日」が過ぎると微笑むビニー。

一幕、ビニーはもう言まで土の中で、振り向く事は勿論

仰ぐ事もうつむく事も叶わない状況、でも彼女はおしゃべ

りを続ける。最後にどこからか夫が四つ這いで這い出して

くる。シルクハットにえんび眼、白い手袋を手に、氣息え

んえんながら彼女の方へ手を伸ばす。彼女も「やっぱり幸

せな一日」と夫の方に微笑みをかえす。

こんな状況説明で不条理劇を伝えることはできないが、

これはベケット一九六一年作『幸せな日々』をP・ブル

クが演出した舞台である。ロシアの劇場にこれがかった

記憶はない。主演のナターシャ・パリがいざさかエレガン

トに過ぎるのではないかと思ひながら、恍惚の中にフラン

ス語のシャワリで聞いた一時間。エレガンはP・ブル

クの選択だったのだ。ニューヨークで見聞きした英語訳と

フランス語訳の台本を比べて、より音楽的でシンプルで織

細なフランス語訳を選んだと、彼は語っている。ロシア語

紙数が尽きた。ロシア演劇のいろいろは次号に、また

へ日本とロシアへの戦後編を次号から続けるつもりである。

傑作。

この不世出の踊り手ニジンスキイの日記の怨念、告白、宣

言のあらゆるニョアンスを伝えた。アヴィニヨン演劇祭の

たまよ、時々日記を繰る他は声の抑揚と顔の表情だけで、

きに終ったが、俳優R・ミトロヴィッツは机に腰を下ろし

スキイの日記』で浴びた。この夜は九時半開演、十一時過

もう一つフランス語のシャワリを、モノドラマ『ニジ

ンスキイの日記』で初演したのが持つて来られた。

ともあれ、モスクワのチェーホフ祭の二こま、ブルックが

訳は一九八九年の「シアトル」誌に載ったのを後で知った。



# 生徒の変遷

## 今、大事なこととは？

### 青年劇場 堀口 始

多くの劇団の皆さんが、後継者の育成に苦勞されていると聞く。私も劇団の付属養成所を担当することになって十数年になるが、状況は似たようなものではないかと思う。この間、応募者の質の変化を節目、節目で度々感じていた。毎年、応募者の数に多少の変化があるのは当然だが、ときに極端に減少する年もあるのだがそこにはどんな法則性が働いているのか？。ともあれ、応募者の量・質の変化は劇団の歴史、知名度と深く関わっている訳だがもう一見逃せないのは教育現場の変化と文化状況の変化にあるように思うのである。現在の養成所は昼間の週五日制という体制で臨んでいるが十年前は夜間制度であった。昼間制と夜間制の違いで応募してきた生徒の質が異なるのかと考えたりしたこともあるが、そうでもないようだ。養成所を夜間の体制から昼間に切り替えたのは、応募者の方でも専門的に学ぼうという者は働きながら学ぶから、学ぶために一定の金銭的な蓄えなど準備をして臨む者が増えてきたという変化もあり、又、必要な授業時間の確保もしなければならぬ。

ればならぬことなど、よくよく検討した上での昼間への切り替えであった。

七十年代後半から八十年代にかけての教育環境は最悪と言ってもよい状況だった。偏差値による輪切り振り分けという、差別・選別の教育は青少年の心を蝕み生徒は荒れに荒れていたが、そこには受験戦争などの状況に対する抵抗

のような、青年が悩みもがきながらも生きているという感

触があつたように思う。そんな青年が私たちのところにも入ってきた。既にTV時代のテレビっ子で育つたからか論

理には苦手でより感性を重視する傾向（今はその傾向が一層強くなっているように思う）はあつた。

九十年を挟む頃に応募者の質の変化も少々みられた。現

在に、進路が決まらず目的を探求思いで入つて来たもの

もいたが、今は、更なる変化が認められる。俳優になり

たいというはつきりした目的を持つてくるので、人一倍そ

の欲求は強いというか、そんな感じがするが大方はTV志

向であると言つてもよい。青年たちは理念を喪失したとも

いえる貧しい教育状況の中で、一方では自由で豊かな消費

生活を授与され、TVを中心とした情報の氾濫という、文

化的にも飽食の時代に育ち、評師の基準もそのTVに左右

されているのではないだろうか？。高校演劇はそうした文

化状況や演劇界の様々な動向を見逃さず、なにもかも一緒

くたに飲み込んでしまふ。そんな状況が定着してきた感があ

る。リアリズムが主流とはいえない今の状況を反映して

いるとも云える。我々はそんな青年たちと対面しているの

であり、それを先ず認識しておかなければならぬだろう。

さて、新人というか生徒の教育問題だが相手は生身の人

間だし、いろんな要望や思いを持っているわけだが、こち

らは演劇専門学校の先生ではない、これから一緒に芝居

をやろうという立場で接しているんだという、その関係を

しかし、それは容易な事ではない。TV文化にF「フリ」と

讀かつてきた人間との関係である。俳優の教育だからメン

トは考えられるが、それでは劇団が必要としている俳優

は育てられない。最近では紹介、推薦での応募者が多いのだ

が、それでも劇団の事はせいぜい一・二本舞台を見てくれ

ばいい方でそれだつてなにも分かつていないに等しいし、

やはりTV志向、マスコミ志向が強いのが現状である（TV

V志向を一概に否定するのもどうかかなと思ふが…）。その

人間の志向を変えて行くには相手の人格を認めつつも、そ

のTVの評師基準に、価値感に、人生観に徹底して対決、

迫るほかないと痛感している。それで去つて行く者が出て

きてそれもそれは仕方のない事、どこか住みここのよい場所

を選んではいんだ位の強い姿勢で臨むことが、優しさのな

かで育つた青年には必要らしい。

人間の欲望追及は社会の進歩、人類の進歩に貢献してき

たが、人間の願望を実現させるにはこの腐敗した現実社会

の変革なしには満たされないこと、そして文化の仕事に携

わつているからには、そのための演劇を創造することの意

味と価値と喜びを理解させる理念教育を考えなければなら

ない。講座も必要だが、具体的な作品の分析、評師を通じ

て、又、形象化の作業を通じて粘るほかない。

リアリズム演劇の継承と発展を真剣に考へている我々と

しては、後継者の問題は大きな課題である。後継者の育成

に演劇専門学校は当てにできない（演劇学校を否定して云

つていてるのではないが…？）。学校は演劇状況を反映した

運営になるし、そこで教育を受けた青年は私どもの劇団を

志望はしない。従つて腰据えてやるしかないのである。

あつた。四紀会公演の客席に、大阪や京都の劇団関係者の姿はま

ばらだった。大阪から三宮まで、電車で三十分もかからな

い。そこに想像力だけではつかみ得ない現実が存在し、動

いている人達がいるのに、である。

(88頁よりつづき)

# 北から南から

## 劇団通信

### 劇団支木

前作の打ち上げで、役者二人から「ぼんち絵」をやりたいという要望があって、その意欲が大事と、劇団員全員が。この作品は我劇団では、三度目である。作者・高橋丈雄氏の他の作品を参考に、本来、氏はどんな作品に仕上げたのか、また、氏が画家(フービズム)であったことがとんとん考慮され、しゃれた異色の作品に仕上がったと自負している。

闇の中をばち公(山村亮一)が空缶を踏みしめて登場する。幸福を確認し合った二人が、あくまでも下品に笑い転がる。ばち公の膝に伏したびり子(横山朝美)が、この男は信頼に足るかどうかじっと見上げる。軽快なプロデイエオンが鳴ります。映画「ボンタンの恋」の支木版短編コマエ1といつたところ。

今回の公演は、五月中旬から七月中旬頃まで例年、劇団は五月中旬から七月中旬頃まで、中学・高校の団体鑑賞のための巡演で多忙なシーズンである。だが最近では、かつてのような密度の濃い公演スケジュールが組めてはいない。先日大阪で催した、職業劇団による学校巡演の現状に関するセッションでは、かなり深刻な報告が寄せられていたようです。いずれ別の機会に、生徒の演劇団体鑑賞の現状を報告すべきと思いますが、職業劇団にとつては、劇団の存続に直結する問題だけに深刻です。現在劇団の公演及び予定は次の通りです。

5月31日(日) 7時  
6月1日(日) 2時30分 7時  
◎かわち小劇場  
6月14日(日) 7時  
15日(日) 7時  
16日(日) 2時30分  
21日(日) 7時  
22日(日) 2時30分 7時  
23日(日) 2時30分

578 大阪府東大阪市野中野二四一四  
TEL 〇七九一六四一四四一

### 関西芸術座

松本真三演出。六月二九〜三〇日 関芸スタジアム  
タゾオ

名芸は春の定期公演『銀河鉄道の夜』(脚本・演出/近藤重由美)を四月一九〜二日、平針小劇場で上演しました。若手演出を中心に、にぎやかな舞台を創り、五百人近い方々に観ていただくことができました。

そのすぐあとには、名古屋市民参加の裁判劇『弥助世や やがて』(作/栗木、演出/木崎裕次)にスタッフとして追いつき加わり、超満員(千八百人)の参加者ともども感動的な仕事かと思えます。

現在夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。

### 劇団息吹

030 書森市長島四二一三  
TEL 〇一七七一七四六七七

井上瀧寿夫氏の書きおろして久しぶりの創作劇です。今回は企業職士たちの人間模様を若手中心のキャストで取り組んでいます。この誌が皆様のお手元に届くころにはすでに公演も無事終了していることでしょう。この報告は次回に……。公演が終わると次は秋公演の準備に入ります。秋は、藤田傳、作の「へのへのもへです」。

今年二月の新年会で子育て中の主婦団員が、来年創立三十年になるのに、新年会にはこのようにして二人くらいは集まるのに、このまゝでは情けない。今、出来る形で創れないかと、出来れば、三月から月一回集まって十二回稽古で一作品を仕上げます。制作もスタッフもゼロみたいな中です。来年の新

### 劇団新雲

030 書森市長島四二一三  
TEL 〇一七七一七四六七七

今回の公演は、五月一八日(土)に鶴岡市中央公民館ホールにて、須田輪太郎・成田邦彰演出「にわとり長者」(一巻)を上演しました。いづれ別の機会に、生徒の演劇団体鑑賞の現状を報告すべきと思いますが、職業劇団にとつては、劇団の存続に直結する問題だけに深刻です。現在劇団の公演及び予定は次の通りです。

557 大阪市西成区岸里東二一〇一一  
TEL 〇六六六一二二二二  
FAX 〇六六六一二〇六〇

名芸は春の定期公演『銀河鉄道の夜』(脚本・演出/近藤重由美)を四月一九〜二日、平針小劇場で上演しました。若手演出を中心に、にぎやかな舞台を創り、五百人近い方々に観ていただくことができました。

そのすぐあとには、名古屋市民参加の裁判劇『弥助世や やがて』(作/栗木、演出/木崎裕次)にスタッフとして追いつき加わり、超満員(千八百人)の参加者ともども感動的な仕事かと思えます。

現在夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。

### 劇団新雲

030 書森市長島四二一三  
TEL 〇一七七一七四六七七

今年二月の新年会で子育て中の主婦団員が、来年創立三十年になるのに、新年会にはこのようにして二人くらいは集まるのに、このまゝでは情けない。今、出来る形で創れないかと、出来れば、三月から月一回集まって十二回稽古で一作品を仕上げます。制作もスタッフもゼロみたいな中です。来年の新

今回の公演は、五月一八日(土)に鶴岡市中央公民館ホールにて、須田輪太郎・成田邦彰演出「にわとり長者」(一巻)を上演しました。いづれ別の機会に、生徒の演劇団体鑑賞の現状を報告すべきと思いますが、職業劇団にとつては、劇団の存続に直結する問題だけに深刻です。現在劇団の公演及び予定は次の通りです。

### 劇団名芸

097 山形県鶴岡市青柳町四二一三二  
TEL 〇三五一二四一六八八

今回の公演は、五月一八日(土)に鶴岡市中央公民館ホールにて、須田輪太郎・成田邦彰演出「にわとり長者」(一巻)を上演しました。いづれ別の機会に、生徒の演劇団体鑑賞の現状を報告すべきと思いますが、職業劇団にとつては、劇団の存続に直結する問題だけに深刻です。現在劇団の公演及び予定は次の通りです。

557 大阪市西成区岸里東二一〇一一  
TEL 〇六六六一二二二二  
FAX 〇六六六一二〇六〇

名芸は春の定期公演『銀河鉄道の夜』(脚本・演出/近藤重由美)を四月一九〜二日、平針小劇場で上演しました。若手演出を中心に、にぎやかな舞台を創り、五百人近い方々に観ていただくことができました。

そのすぐあとには、名古屋市民参加の裁判劇『弥助世や やがて』(作/栗木、演出/木崎裕次)にスタッフとして追いつき加わり、超満員(千八百人)の参加者ともども感動的な仕事かと思えます。

現在夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。

### 劇団息吹

047 小樽市銭函町三二一三二一六二  
TEL 〇一四一六二一三五四

井上瀧寿夫氏の書きおろして久しぶりの創作劇です。今回は企業職士たちの人間模様を若手中心のキャストで取り組んでいます。この誌が皆様のお手元に届くころにはすでに公演も無事終了していることでしょう。この報告は次回に……。公演が終わると次は秋公演の準備に入ります。秋は、藤田傳、作の「へのへのもへです」。

今年二月の新年会で子育て中の主婦団員が、来年創立三十年になるのに、新年会にはこのようにして二人くらいは集まるのに、このまゝでは情けない。今、出来る形で創れないかと、出来れば、三月から月一回集まって十二回稽古で一作品を仕上げます。制作もスタッフもゼロみたいな中です。来年の新

### 劇団新雲

030 書森市長島四二一三  
TEL 〇一七七一七四六七七

今回の公演は、五月一八日(土)に鶴岡市中央公民館ホールにて、須田輪太郎・成田邦彰演出「にわとり長者」(一巻)を上演しました。いづれ別の機会に、生徒の演劇団体鑑賞の現状を報告すべきと思いますが、職業劇団にとつては、劇団の存続に直結する問題だけに深刻です。現在劇団の公演及び予定は次の通りです。

557 大阪市西成区岸里東二一〇一一  
TEL 〇六六六一二二二二  
FAX 〇六六六一二〇六〇

名芸は春の定期公演『銀河鉄道の夜』(脚本・演出/近藤重由美)を四月一九〜二日、平針小劇場で上演しました。若手演出を中心に、にぎやかな舞台を創り、五百人近い方々に観ていただくことができました。

そのすぐあとには、名古屋市民参加の裁判劇『弥助世や やがて』(作/栗木、演出/木崎裕次)にスタッフとして追いつき加わり、超満員(千八百人)の参加者ともども感動的な仕事かと思えます。

現在夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。

### 劇団支木

047 小樽市銭函町三二一三二一六二  
TEL 〇一四一六二一三五四

井上瀧寿夫氏の書きおろして久しぶりの創作劇です。今回は企業職士たちの人間模様を若手中心のキャストで取り組んでいます。この誌が皆様のお手元に届くころにはすでに公演も無事終了していることでしょう。この報告は次回に……。公演が終わると次は秋公演の準備に入ります。秋は、藤田傳、作の「へのへのもへです」。

今年二月の新年会で子育て中の主婦団員が、来年創立三十年になるのに、新年会にはこのようにして二人くらいは集まるのに、このまゝでは情けない。今、出来る形で創れないかと、出来れば、三月から月一回集まって十二回稽古で一作品を仕上げます。制作もスタッフもゼロみたいな中です。来年の新

### 劇団新雲

030 書森市長島四二一三  
TEL 〇一七七一七四六七七

今回の公演は、五月一八日(土)に鶴岡市中央公民館ホールにて、須田輪太郎・成田邦彰演出「にわとり長者」(一巻)を上演しました。いづれ別の機会に、生徒の演劇団体鑑賞の現状を報告すべきと思いますが、職業劇団にとつては、劇団の存続に直結する問題だけに深刻です。現在劇団の公演及び予定は次の通りです。

557 大阪市西成区岸里東二一〇一一  
TEL 〇六六六一二二二二  
FAX 〇六六六一二〇六〇

名芸は春の定期公演『銀河鉄道の夜』(脚本・演出/近藤重由美)を四月一九〜二日、平針小劇場で上演しました。若手演出を中心に、にぎやかな舞台を創り、五百人近い方々に観ていただくことができました。

そのすぐあとには、名古屋市民参加の裁判劇『弥助世や やがて』(作/栗木、演出/木崎裕次)にスタッフとして追いつき加わり、超満員(千八百人)の参加者ともども感動的な仕事かと思えます。

現在夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。子どもたちは夏恒例の子ども劇場に取り組んでいます。



李白 7月20~21日 平針小劇場  
南 9月14~15日 南文化小劇場

こうした活動の中で、若い新入団員も

えつあります。大切に育てていきたいと

ります。また八月末の反核舞台人の集いの準

備も始まり、オムニプログラムの一つに、栗

木の『淵川夢一夜』が取り上げられます。同

じ日と翌日には、中部プロダクションも

あり……と、まだまだ熱い夏になりそうです

が、秋にはそれらを集約した本公演を行おう

と話し合いを進めています。

名芸も来年は創立35年、近くに太白文化小

劇場もオープンします。様々な企画を考

えていきます、是非注目し、ご覧下さいませ。

TEL 〇五二一八〇三二二九九

457 名古屋南区汐田町118 栗木方

TEL 〇五二一八二二二六九九

劇団やませ

五月末なのに、八戸（青森県全境？）は三

月最後の創立25周年記念最終公演／成井豊

を見ているようです。

よう？という感じ。冷害かチラシ類

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

劇団あしぐえ

TEL 〇五二一五二四一五九七五

451 名古屋西区庄内通四一六一三

（北原雅子）

愛知芸術文化センター小ホール

十二月六日（日） 八日（日） 三日間

公演日

のが残念。

ある。九一号原稿へ切に演目を報告できない

のみならず、秋の公演も最終は入り込み中

から公演の準備を進めている。

公演に影響を出さなければいけません。

そんな名古屋の演劇状況の中で、自劇団の

準備に入っています。

そして次の合同公演企画もすでに打ち出さ

し、準備に入っています。

転」として沖繩裁判市民劇は、一般市民・

今、アガレットの群生が咲き乱れて、心う

ずれの公演も中部プロダクションの名古屋の仲

間劇団、劇団名古屋、劇団名芸、そして私共

劇団演集が大きな力をそいで公演を成功に

導いてきた。栗木氏等、作家として中心的に

働いて居られる。

沖繩」等々である。

栗木英章作『弥勒世や やがて』平和の島

から、赤毛のアナが笑いながら走って来そう

な雰囲気で。

な雰囲気です。

TEL 〇六〇一四一五二一四〇〇

TEL 〇八五一五二一四〇〇

TEL 〇八五一五二一四〇〇

TEL 〇八五一五二一四〇〇

作／加藤健太郎演出／アトリエ公演『銀河旋

律』の3ラネージが無事終了しました。狭い

稽古場に役者たちの汗が飛び散り、お客さん

の反応もなかなかのものでした。

さて、六月のアトリエ公演は、宮沢賢治生

誕百年にあなみ、二日（日）・二日（土）の二日

の間、椎谷伸夫構成／加藤健太郎演出で『劇

ラネコメテです。この二年程、重厚な作

品を公演してきたので、久しぶりのエモテ

ムな公演になりました。『春と修羅』を中心に十

四ヶの詩と『銀河鉄道之夜』『アトリエ」

の伝記』など物語を五ヶ。加藤演出は、単

なる朗読空間ではなく、「やませ」らしい劇

的空間を創造しようといろいろと練っている

ようで、いわゆる賢治の表面をなぞるので

はなく、賢治の本質にせまぐく猛稽古に励

んでおります。スナキな賢治の夜になります

よう？

八月一日（日）には、ろうきんファミリの

集いで子供劇場を依頼されています。会場が

久しぶりの公会堂という大ホール。これもま

津が企画され、矢つぎ早に上演されている。

TEL 〇五二一八〇三二二九九

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

演劇サークル妻の会

全り演の皆様、御奮闘の事と致します。

さて、私達は、三月に定期総会を終へ、五

月に秋の公演の脚本を決める臨時総会を開き、

10本の候補作品から小池倫代作「恋歌がきこ

える」を決めました。なかなか、いきの良

ラネコメテです。この二年程、重厚な作

品を公演してきたので、久しぶりのエモテ

ムな公演になりました。『春と修羅』を中心に十

四ヶの詩と『銀河鉄道之夜』『アトリエ」

の伝記』など物語を五ヶ。加藤演出は、単

なる朗読空間ではなく、「やませ」らしい劇

的空間を創造しようといろいろと練っている

ようで、いわゆる賢治の表面をなぞるので

はなく、賢治の本質にせまぐく猛稽古に励

んでおります。スナキな賢治の夜になります

よう？

八月一日（日）には、ろうきんファミリの

集いで子供劇場を依頼されています。会場が

久しぶりの公会堂という大ホール。これもま

津が企画され、矢つぎ早に上演されている。

TEL 〇五二一八〇三二二九九

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

TEL 〇一七八一三三二五〇〇

元リソフの冷蔵庫なのですが、客席の作り

方 照明の吊り方、音の反響などこれからの

課題たくさんです。良いアイデアの御伝授

を、

劇団通信を書くのは久しぶりです。20才頃

東リ演説をしてきた時以来です。(かれこれ

15年ぶり)事務局長に就任してカズバツ

です。今後ともよろしく。(作間しのぶ)

836 青森県弘前市品川町一丁目内

TEL 〇一七二一三五五四六七〇

### 福岡現代劇場

大宰府天満宮の背後に宝満山という山があ

ります。博多では、思いきった事をするとき

「宝満山から後ろ跳びする」と言いますが、

福岡市近郊で一番高い山です。鎌倉時代から

戦国まで、太宰少貳の居城だった智山城が

ありました。この登山口に「智山荘」があ

ります。江戸から明治にかけての民家、馬喰

宿と造り酒屋の部材を組み合わせて、新しく、

古い民家空間が生まれたのです。

四月二日、私たちは、この地の歴史と、

この民家空間を生かした実験劇場を計画しま

した。観客は百人。演目は、詳説(平家物語

・方丈記)石牟礼直子作「草文」岡部耕大作

「精霊流し」です。途中でテイクタイムをた

りまして、

810 福岡市中央区薬院二一六一五

TEL 〇九二一七五一一七九八二

### 劇団京雲

キャストを一新して五月より再出発した

「そんえごらくへゆく」(田島征彦原作

・つげくわえ演出)は息長くやがて四〇〇回

に近づきつつあります。

高松巡演中の「蠅の王」(フェルディナン

原作・藤沢薫演出)は秋田県の高校回観作品

に選ばれ六月に巡演、十二月には横須賀・大

和おやこ劇場でも上演します。

「白ライオン」(岡部耕大作・藤沢薫演

出)の移動公演も始まり、三作品が錯綜して

ムカムカ、でも劇団で食っているのでは

ないから、仕方がないか……。でも、一つの

集団の発表に向けての心がまは一体どうな

のかしら? 等、きつと、どちらのアマ劇団

「精霊流し」です。途中でテイクタイムをた

りまして、

810 福岡市中央区薬院二一六一五

TEL 〇九二一七五一一七九八二

### 劇団京雲

キャストを一新して五月より再出発した

「そんえごらくへゆく」(田島征彦原作

・つげくわえ演出)は息長くやがて四〇〇回

に近づきつつあります。

高松巡演中の「蠅の王」(フェルディナン

原作・藤沢薫演出)は秋田県の高校回観作品

に選ばれ六月に巡演、十二月には横須賀・大

和おやこ劇場でも上演します。

一人相撲になってはいないのか、いいえ、我

が劇団員は健全であります。悪いのは日本の

政治。文化を大事にして、声を大にして叫

びたい。人知れない苦勞を重ねて、コソ、コ

ソと建て物を造り上げるように一つの芝居を

作り上げるアマ劇団を、もっと大事にしな

さ。いや、それは無

理か……。大体、日本は文化国家とは遠い国

だし、芝居? 公演? へ、何たる道楽者

人、と思われろが関の山。皆、苦しい、苦し

んで芝居をやる、それで良いものが出来るの

かしら、何故? 何故? あ、もうやめよ

うか、誰も来ない稽古場で、涙が……。一時

終わって、早くも三カ月。やっと総括集か

き上がりました。一公演終わる度に作ってい

る総括集ですが、今回も、苦心、苦心、悩ん

だこと、今だから言える話がいっぱい

です。古くは、打上げ後、一週間くらいで発行さ

された一時間半足らず、出来る限り懸命に稽

古。時間と日の経つのは早い。私だってもう

七六才。一刻の時間も無駄には出来ない。頑

張らねば、弱音を私かはいとうなるの、苦

しい中、努力している皆をばけまして、公演

を成功させなければ。私は誰からも強制され

て劇団をやっているのではなく、自ら好んで

本を書き、演出をし、演じているのである。

誰を恨む事も泣き事もないじゃない

の、前へ、前へ進まなければ……。だけど、

なりませぬ。すでに稽古初日から一カ月上

と四十人の盗賊」です。十五年ぶりの再演に

今年の、夏のフミアリ劇場は「グリーンバ

ン」の再演を、いいかもしれません。

落ち着いて読めて、いいかもしれません。

稽古場の屋根のペンキ塗り、倉庫屋根のトタ

機能しはじめました。二回の日曜日を使っ

て、なかなか原稿が集まらず、結局いつも

二、三か所です。今は次回公演のレバの選作中

です。恥かしなから、最近運営委員会が久しく

機能しはじめました。二回の日曜日を使っ

て、なかなか原稿が集まらず、結局いつも

二、三か所です。今は次回公演のレバの選作中

です。恥かしなから、最近運営委員会が久しく

機能しはじめました。二回の日曜日を使っ

て、なかなか原稿が集まらず、結局いつも

二、三か所です。今は次回公演のレバの選作中

です。恥かしなから、最近運営委員会が久しく

機能しはじめました。二回の日曜日を使っ

て、なかなか原稿が集まらず、結局いつも

二、三か所です。今は次回公演のレバの選作中

です。恥かしなから、最近運営委員会が久しく

機能しはじめました。二回の日曜日を使っ

て、なかなか原稿が集まらず、結局いつも

出)九月十八日、二十三日、於京雲D

シタター。

●長年制作部長として劇団を支えてきた小沢

文也が去る四月十六日業半ばにして永眠しま

した。生前のご交情に感謝します。六十三才

でした。後任は東武司が当たりますのでよろ

しく願います。

612 京都市伏見区納所北城堀三一一八

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

TEL 〇七五一六三一六〇九

桑名市コミュニティプラザ

作品『未定』

桑名市文化スポーツ振興公社／共催事業

◎公演報告

一三五周年記念公演

二月十七日(日)『歌行灯』桑名市民会館

一三五名 桑名文化スポーツ振興公

社との共同企画として、出演者公募で

上演(別産報告の予定)

三月八日(日)『アロソソ・アゲ

イン』桑名市コミュニティプラザ

七五〇名 桑名市文化スポーツ振興公

社／共催事業として三〇万円の補助金

受領。

公演は、アンケートでは大変好評でしたし、

観客動員もまあまあでしたが、劇団では多く

の反省をしています。新人も、制作から創造

まで、まさしく文字通り連日連夜大いに頑張

りました。次の飛躍に向かいたいと思います。

511 三重県桑名市睦美ヶ丘一〇五八

TEL 〇五九四一三一一四二二〇

FAX 〇五九四一三一一四二二〇

人間座

全演の皆様、ご無沙汰致しております。

私、はじめ筆を取らせて頂きます。

177 東京都練馬区下石神井四一九一

TEL 〇三三九九七四三三二

FAX 〇三三九九〇四一〇一五二

演劇サークル「トラム」

皆さんこんにちは。サトルにとつて三・

四月は心臓の止まる思いのする月ですが(転

動、結婚も卒業しました)五月に新人が二

名(男、女)入会致しました。パソコンノ

さて、今年の公演予定は十二月の青少年劇

場「犬の瞳」を予定しています。じっくり芝

居を仕上げ、生の舞台を小・中学生に身近に

感じて欲しいと動いています。また秋に向け

て新人を交えて舞台を創らうと台本を探して

います。

では、八月三、二四、二五日、西リ演の

「総会、演劇講座1」山口で会います。

(753) 山口市大吉敷二〇二五

TEL 〇八三九二〇二八三五

劇団たけぶえ

五月十六日から十九日にかけて、カナダで

開催された『リヴァンアール国際演劇祭』に参

加致しました。

休暇を取るのが難しくして仲々体制が整わず

一部の皆様には、すでに存じ頂いておる

ものと存じますが、私達の劇団代表者であり、

創造の支柱でありました田畑実が、一昨年の

好評のうちを終演し、いよいよ学校巡演のた

め稽古に突入り、スタートに満を持してい

るところです。

「あわて暮やぶけ芝居」東京空襲三・一〇

一(大橋喜一・作／杉本孝司・演出)は五

月二四日スタートで、七月一六日帰京。青森

から山陽道までの縦断公演。六月一四日には

神戸で激励のボランティア公演。

もう一本は、「子供の時間」(リットン・

ルマン・作／小池美佐子・訳／印南真人・演

出)で、初日は一気北北海道のオホーツク海

に面した浜頓別で開け、順に下って七月一六

日の郡山で幕。

学校公演も週五日制や少産化の影響を受け

て年々厳しくなってきたおり、何らかの対応

策を立てる必要に迫られている。

ともあれ、下期もへつた全国巡演が待っ

ている。

来年は、劇団創立者村山知義の没後二〇周

年、三年後は劇団創立四〇周年にあたり、今

世紀の最後を飾る、この記念企画を成功させ

て、全リ演運動が大きく花開く、二十一世紀

を展望したいものです。

606

京都市左京区下鴨東高木町一

TEL 〇七五七二二一四七六三

発行 樹沙文社

東京都文京区本郷一・二六

TEL 〇三三八一五八四二二

915 福井県武生市四郎丸町二二

TEL 〇七七八一三三二〇四七

FAX 〇七七八一三三二〇九五

劇団海鳴り

今年五月頃まで雪が降ったり、桜の開

花が例年より二十日も遅れたり記録続きで

したが、ようやく初夏らしい季節になって参

りました。

さて、三月二、三日の第二十七回定期公演

「冒険者たち」ガンバとその仲間」は、紋

別市民演劇ネットワークを結成してスタッ

の「武生国際地域演劇祭」に招聘した劇団で、

私たちの演劇祭で芽生えた友情がカナダへ飛

び、それが今年の秋には韓国で彼らの主催す

る演劇祭につながっていくのは大変嬉しい事

です。

五月十六日から十九日にかけて、カナダで

開催された『リヴァンアール国際演劇祭』に参

加致しました。

休暇を取るのが難しくして仲々体制が整わず

に滞在した折の事を描いたものです。

の夏一九四五ヒロシマ・ナガサキに自生



上演する「紋別市民の会」に裏方で全協力、  
今、最後の追い込みです。

今、最後の追い込みです。  
094 紋別市潮見町一三三三 我孫子方  
TEL 〇一五八二一三三三三六

全国の皆さんお元気ですか。劇団通信には  
すっかりご無沙汰してしまいましたか何とか  
頑張って活動は続いております。私たちの活  
動拠点である人口七万弱の伊賀盆地は、目下  
緑が映えていよいよ夏を迎えようとしていま  
すが、最近では少しずつ白い山肌が眼につく  
ようになります、この辺りでも破綻が進み心が痛  
みます。

さて、今年は劇団創立四十五周年の年にな  
りますが、戦後間もなくから今日まで地域文  
化の担い手として演劇の灯をともし続けてき  
た足跡を改めて見つめ直して、さらに前進し  
たいと考えています。記念公演は井上ひさし  
作「ハートボの劇列車」(十月六日公演)  
です。宮沢賢治の生涯と想いに心をよせて、  
私たちの故郷が、理想のハートボに近づ  
けるような、楽しい舞台が創れるように取り  
組んでいる最中です。

クノボウトイワレ、ソウウサモノニワタシ  
アケモクテモソバノコトバノカリンデ  
組んでいる最中です。

中、今の稽古場は六名(内二名は退団者)の  
名義になっているが、今のままで名義人に  
何かあった時、相続の問題とかいろいろ出て  
くるので、相統の問題とかいろいろ出て

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年も一年、バタバタと忙しい年になりそ  
うです。  
追伸  
新住所・新電話です。代表樋口も震災に  
よる転居のため、西宮から伊丹に変わっ  
ています。

660 尼崎市昭和通一七七一  
石和久ヒル3 F  
TEL 〇六一四八九一八九四  
演劇集団あり

川崎市幸文化センターで行われ、わが劇団は  
川崎演劇塾、初参加の行動座とともに三劇団  
三月二十四日、山あい町、日野町での県民

におおいに笑いながら見せてもらった「自立の  
らい」を上演しました。昨年のリ演で、  
二七日、尼崎のビュコシアターで、あの「お  
そして、今年一回目の公演は、四月一六・  
二七、今年一回目の公演は、四月一六・  
におられる毎日。

にあって、今年一回目の公演は、四月一六・  
二七、今年一回目の公演は、四月一六・  
におられる毎日。

二ヶ月いっばいかかって、倉庫に借りていた  
ガレージから、新しい稽古場への引越しを済  
ませました。(あのガレージによくこれだけ  
のものが詰まっていたナラとひたすら感心)  
かろうじて空間を確保して、四月公演の稽古  
におられる毎日。

175 東京都板橋区成増五十一一  
米丸ヒル  
TEL 〇三一五九九七一九四六一

この公演は、今迄の「センボ・スギハラ」  
が装いも新に、新鮮にかつ力強く生まれ変わ  
ることを期待し、上演の運びとなりました。  
ご来場いただければ幸いです。なお来年は、  
創立二五周年を迎えます。只今記念公演に向  
け準備中です。私たち劇団員一同、気を引き  
しめて創造活動に取り組んでいきたいと思っ  
ています。

夏にするにはクイーンがない、年内にもう  
一本十二月公演を打つ計画で、すすめていま  
押し売りで間違われたいもしますが、町の  
協力により、各家庭に設置されている防災放  
送を利用した宣伝もあり、関心は高まりまし  
たが、数日後に大きなイベントの計画があっ  
たりで、思うようにはいきませんでした。

只今は、六月二日、米子市文化ホールに於  
いて現在検討。模案中です。近隣の劇団の皆  
様、見学させてほしいなどと依頼すること  
もあるかと思えます。その節はよろしくお願  
いします。

今年も一年、バタバタと忙しい年になりそ  
うです。  
追伸  
新住所・新電話です。代表樋口も震災に  
よる転居のため、西宮から伊丹に変わっ  
ています。

660 尼崎市昭和通一七七一  
石和久ヒル3 F  
TEL 〇六一四八九一八九四  
演劇集団あり

くろだちろからと、劇団の法人化を考えたが  
これがまた大変。簡単には法人化できないこ  
とが分かった。まあ、なるようにしかならな  
いか。

518 三重県上野市丸ノ内 共同ビル3 F  
TEL 〇五九五二一三二五二二

前号の「劇団通信」を抜かしてしましたの  
で、九六年の活動から報告します。3/1、  
2、3 関西芸術座プロデュース・新劇協合同  
講演「カクコノの集の上に」に二名参加。3  
/8、9、10の研究生卒業公演「深屋」を上  
演。6/7、8、9、13、14、15春の演劇祭  
に参加「思い出してよ」(作・窪田吉安)演出  
・斉藤誠)を各町劇場にて上演。10/6「楽  
園終着駅」の再演(大阪狹山市・SAYAKA  
ホール)。97年2月には劇団大阪プロデュ  
ース・新劇協合同「がめついやつ」を上演す  
る予定です。

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

今年三月から四月にかけて「凍土の鶴よ」を  
上演。地域公演も含め四千人のお客様に観て  
いただきました。上演後、皆様方から、色々  
とご意見ご感想等をいただきました、ほんとうにあ  
りがとうございました。これからの創造活動  
に生かしていきたいと思っております。又、只  
今巡演中の「センボ・スギハラ」は初演か  
ら今年五年目を迎え、一般、親子劇場、そし  
て学校公演と上演してきましたが、今年十月  
上旬、浜松高校合同公演をもって、ひとまず

合同公演として出演しました。栗木英壽脚本の「モモ」。観客は二千二百名。演出は川崎演劇塾の団のぼる氏。音楽はわが劇団の新人坂谷創一が三十数曲をつくりました。栗木ご夫妻もわざわざ見に来て下さいました。

六月下旬には、新しい稽古場を使っての公演。地元神奈川の劇作家、木庭久美子さんの作品「父が帰る家」を十日間で十回上演します。演出・室野定子、制作・瀬谷やほ子をはじめ、キャストは一人の男を除けば全員が女性という、わが劇団では珍しい公演です。

「権兵衛太鼓」と「腹話術のゴロちゃん」の二作品で、今年十月に二度目の海外公演をやることになりました。ロシアのオムスク市で行われる「ジヤン・フエスナイト」に池袋小劇場、らくりん座と共に参加することになったもので、舞台美術、演出の松下朗氏のプロデュースによるものです。

**場所 大須演芸場**

462 名古屋市東区矢田町三十九

アバンポリア矢田四〇一場にむけて準備、稽古が続けていますが、初高原方めでのオムスク形式の作品に苦勞しています。親と子のお客さんがどう観てくれるか、夢がもてるような舞台になるか、公演直前で

**劇団夜明け**

TEFL 〇五二七三二八一八五

一月に今井雅之作「サ・ウインズ・オラ・マワレ」の五ステージ公演を行いました。公演中の土曜日(観客の一番多い日)大雪にま

まわっての五〇〇名の観客数は成功だったと思います。舞台の評判も大変よく、心を強く

しました。四月に名古屋で、UPS(今井雅之所属の

初演集団)の「サ・ウインズ・オラ・マワレ」が上演されたので、ほとんどの劇団員で出か

けました。同じ脚本でもUPSの若者達の表現方法と

私達のリアリズム表現方法の違いを痛感しました。問題は観客に何をどう伝えたいのかという事と思いましたが、作品への思いのちがいが、大事にする部分と、そうでない部分のちがいとなると感じました。

作品と私達、そして中津川を中心とした地域の人達をどう結びつけて創っていくかが大

切な事だということでしょう。か。に、サークル員募集を新聞三紙に掲載してもらったところ、五人もの人が参加してくれることになったからです。

何となく、私ら風に、今年の十月二十六日(二十八日)の「神劇まわり舞台」をやりとけたいと動き出してあります。

650 神戸市中央区下山手通九一九一七

西藤ヒルゴ

TEFL 〇七八一三五一一六九六九

劇団四紀会

前号は、不覚にも通信を送り漏らしたよう

で、失礼致しました。決して冬眠をしていたわけではございませんので、溜っている活動報告を二分ほどとめて。(少し長いですが) 惠那文化センター 14日(日)午後1:30

中津川文化会館 23日(日)午後1:30

7月13日(日)午後6:30

508 中津川市北野丸山

TEFL 〇五七三二一六五二四九三七

神戸演劇連

昨年の十二月八日(十日)の「神劇まわり舞

い」を共有することができました。

やはり震災の影響で中断していた演劇教室も活動を再開、十月に卒業公演「ナツヤミ語辞典」を無事上演し、二名の入団者を迎え

ました。

「遺産ラヴダイ」か、ジエム三木作

「愛さずにはいられない」の再演かにより

となりました。実は、こうなれたのも、五月

演は、かつての劇団の財産で再開が待たれて

**211 神奈川県川崎市幸区古市場二**

1990 年。すっかりオバサンになって始めたのだが、もう、皆、孫かいていよいよ今年に達しました。でも夢はまだまだいっぱいです。

**劇団河童**

北見の劇団「河童」です。北見市開港百年

記念事業として市民参加劇が企画され、代表

す。特に、演集の北原さんには、もうほとんど

ボランテニアの精神で、十年以上も指導し

て下さっている、頭が下がります。

きて、今年のはにわの公演はといっています

今の世界、右も左もまっ暗闇じやありませんか、そんな歌の文句が昔、ありました

け。時代背景は違っても、いつの時代も思

は同じ、そんなこんなを、仲間の伊藤豊子が

芝居に書いてくれました。場所も、大須演芸

場と決まりました。十一月の公演に向け、そ

し、これからは、い芝居を作り続けたい

と願って、只今、稽古に入りました所です。

どうぞ皆様 御誘い合わせの上お越し下さ

います様、隅から隅まで、スマイルと、

お願い申し上げます。

公演予定は次の通りです。

木下順二作「蛙昇天」を自主公演の予定で

劇団40周年の年でもありますので、秋には

いながら、がんばっています。

少しでも分けてもらおうと、かけ声をかけ合

いながら、がんばっています。

早いもので、劇団はにわも、来年は二十周

年。しつかりオバサンになって始めたのだが、

もう、皆、孫かいていよいよ今年に達しま

した。でも夢はまだまだいっぱいです。

それにしても、これまでは、大勢の方の

御助力があったればこそ、続けて来られたので

す。特に、演集の北原さんには、もうほとんど

ボランテニアの精神で、十年以上も指導し

て下さっている、頭が下がります。

きて、今年のはにわの公演はといっています

今の世界、右も左もまっ暗闇じやありませんか、そんな歌の文句が昔、ありました

け。時代背景は違っても、いつの時代も思

は同じ、そんなこんなを、仲間の伊藤豊子が

いた家族劇場の復活とし、「大工と鬼」  
の姉を、二日間一つの地域で行いました。  
今年に入って、震災一周年に向け組ん  
できた市民がぐる朗読劇、「五十年目の  
戦場・神戸」（神戸をほんまの文化都市にす  
る会主催 九〇号参照）に参加、二回のスチ  
ュージョは、立見でも入りきれない程（千名を突  
破）の盛況で、お客さんには大変申し訳ない  
ことをしました。  
そしてこの四月、百二回公演も震災を扱  
た創作劇「ここにいます」に取り組み、総し  
て好評をいただくことができました。

走りましたが、ここ迄がこの間二分の活  
動内容です。以下、当面の公演予定のみ報告  
させていただきます。  
◇荒木昭夫/作 岸本敏朗/演出  
「大工と鬼」  
六月八日(日)新宮町 一・二回公演  
二十九日(日)青垣町立普田小学校  
一回公演

九月十三日(金)十五日(日)シリアルホール  
650 神戸市中央区元町通二一九一  
六一二 (里中)  
◇作・演出・演目検討中 百三回公演

六月八日(日)新宮町 一・二回公演  
二十九日(日)青垣町立普田小学校  
一回公演

TEL 〇五三四一四九一〇九三七  
劇団群馬中芸  
舞台での暑さが、身にこたえる季節になり  
ました。相変わらず少人数ですが、六月から  
七月にかけては、群馬県内を中心に東奔西走  
の日々になりそうです。

五月一日から五日までの五日間、新作「カ  
チカチ山の狸とん」(作・中村敏一・演出・  
せらだ均)のあかき・未来スタジオ公演を行  
いました。  
このフィラデルフィアの公演は、少しづ  
つ定着してきたようで、私達の普及力の弱さ  
にもかかわらず、千人を超える子供や大人が  
来場してくれました。  
この作品は、昔話の「カチカチ山」をひ  
くり返して狸の側から描いた作品で、そうし  
てみると、現代をそのまま写し出した世界が  
表われてきます。

劇団の若手を中心にした配役で、生き生き  
とした舞台を作り出しています。  
学校公演や地域一般公演は、この新作のは  
が、昨年からの「ちょつと昔の物語」などを  
上演しています。

夏には今年度の二目的作品「郵便屋のラ  
トルさんと宛名のない手紙」(95年初演)を  
上演していただきます。

劇場の若手を中心にした配役で、生き生き  
とした舞台を作り出しています。

TEL 〇七八一三九二二四二二 FAX 〇七八一三九二二四二二  
演劇集団土くれ

私たちが集団の拠点である港区民を対象  
に、二月から行っていた演劇教室も四月六日  
の発表会、四月十六日の卒業式をもちまして  
無事終了しました。当初十二人いた受講生も  
発表会の時には八人になりましたが、どのに  
か八人が最後まで頑張りました。この中の何  
人でも集団の新しい力になってくれるといい  
のですが。

さて今集団は、永年演出をしていた福田が  
今年は休みたいという意向を受け、外部から  
玉野井氏を演出に迎え、作品も平石耕一作  
「五色の花」に決定、秋公演の稽古に入った  
ところで、今まで取り組んだことのない作  
品でどうしように仕上がりますが、乞御期  
待といったところで。演劇会議が発行され  
る頃にはキャストも決定し稽古に熱が入って  
いる頃でしょう。

(安原)  
え、そこから芝居に興味をもち劇団に入団す  
る人達もでてきました。  
今回の作品の中でもダンスを披露できそ  
うです。

TEL 〇三二三五〇八一〇一〇四 FAX 〇三二三五〇八一〇一〇四  
105 東京都港区虎の門一二二一  
第一法規ビル3F 福田事務所内

TEL 〇二七二八二一七〇〇 大原六二六四九九  
031-01 群馬県勢多郡富土見村大字赤城山  
(秋山としひと)  
新たに手を加えて再演する予定です。

私達は「黒石劇研」は、四月十四日「創立50  
周年記念の集い」を開きました。  
その際には全演より、石垣氏(仙台小劇  
場)、また、県内の加盟劇団の仲間も大勢駆  
けつけて下さいました。その上、たくさんの方  
々よりお祝いメッセージも頂戴しました。  
この場をお借りして御礼申し上げます。

記念公演は、十月十三日に「創立50周年記  
念企画「第二弾」」として、地元黒石出身の  
口語歌人「鳴海要吉」の半生を描いた作品  
『北のうた』(きしだみつお/作、中辻鉄雄  
/演出)を上演する予定です。

転換やキャストが多く大変な芝居ですが、  
主な舞台となる「下北半島」への現地調査や  
勉強会を通して「人間、鳴海要吉に迫りたい  
と思っています。  
最後に「栗立馬」で名高い下北は、尻屋崎  
に建っている歌碑をご紹介します。

あきらめの旅ではあった

劇団からっかせ

木々の緑に目を奪われる今日このごろです  
が、皆さんお元気ですか。  
今年七月に親子劇場、さねとちあきら作  
「ベッコノおに」、十一月に本公演「構内  
謙介作「ジブジブ」」と決まりました。

今年七月二〇日(日)公演と山静プロクセシ  
ールのモデル上演を兼ねた「ベッコノおに」  
の稽古に励んでいます。新人を迎える稽古  
ですが、仕事など忙しい人達はかり役者が  
全員揃っての稽古ができません。せめ  
て、ワンシーンでも本役の稽古がきたらど  
当分悩みが続きます。

年間二作品を作るのは一昨年以来です。短  
い稽古期間で作品を創りあげていくのは、体  
力的にも精神的にも負担がかかりますが、観  
客の思いに応えていくためにぜひ、がんばり  
たいと思います。

団員の要望で始まったダンスも講師を招い  
て続けています。団外の参加者が少しづつ増  
え、そこから芝居に興味をもち劇団に入団す  
る人達もでてきました。

白い舞台に  
機先の  
日がさしていた

036-03 青森県黒石市乙郷兵衛町五  
加賀谷方  
TEL 〇二七二五二四〇九七

劇団阿修羅

今年、私達の劇団は五周年を迎えることに  
なりました。公演日程は九月四日(八日は東京  
六行会ホール、十四、五日は名古屋港小文化  
劇場を予定しております。この記念公演にあ  
たってかねてから「キーキートン」を考  
えておりましたがキャストラインナップがほぼ決  
まりました。今回は京浜協同劇団、劇団埼玉  
等の客演、衣裳借用の協力によって上演のメ  
モが大きく立ちました。十九世紀末、ロッソ  
の下層階級社会で生きた人間たちの「コマ」を  
描写するこの戯曲、百年を経た二〇世紀末の  
現在、人間・社会は果してどれほど変わった  
のか、私達はこういった本質に少しでも迫れ  
て明日を良くするためにの方途を探れる  
舞台成果を出すことができるとか……公  
演参加者一同お互い頑張りましょう。

167 世田谷区南島山二二三一五



TEL 〇三三三三〇九一八六三三

劇団静芸 第百回記念公演は、どうしても

座付作家の創作で、小島真木の「手のひら

の上の仔猫」(一九九三年初演)を第22回静

岡市民文化祭、六月一日(日)星夜二回公演で

終ったところで。

作家が初演台本を改訂し、一層問題を明確

にしたこともあり、好評のうちを幕をおろす

ことが出来た。

自動車工場の寮の部屋という狭い空間から、

現代社会のかかえる問題を鋭く描いたこの作

品は観客に共感をもって迎えられた公演とい

っていだらう。社会の底辺に生きる弱者に

響いかかる矛盾に苦しみつゝも、人間らしい

本公演ではやれないような作品をやってみ

た。観客が集められるのか？これが今一番の心

配事である。舞台に立たい、だけでなく、

101回公演を、11月17日18日、サトルナート

ホールにて、ニールサエモン作「思い出のフ

ライオン・ピチ」を上演するための準備に

しかし、アスキの暖い援護にも拘らず、

綺芸が今まで手がけた事のないスタイルの芝

居であり、軽快なテンポと緊張感の持続...

疲れ果てる稽古が続きました。

普及面に於ても、初の喜劇、又、「...現

代史講座」という一見堅苦しい題名とも相ま

つて、売りづらいついという雰囲気支配し、各

おのが危機感を感ずる毎日が続きました。

が、初日の幕が上がり、冬勢のお客様が御

来場下さり、「フッ」と笑いが来た時には、それ

までのモヤモヤした気持ちも、「サ」と薫風

一蹴される思いでした。

さて、次回公演は

「見沼の波留」長谷川美智子 原作

一柳俊邦 脚色

由布木一平 演出

九六年九月二十九日(日)

開演時間 未定

場所 埼玉芸術劇場(宇野市)

この作品は、平成八年度埼玉芸術文化祭の

メイン事業として、埼玉芸術賞入選作「見沼

の波留」の上演を埼玉県から委嘱されたもの

です。

由布木一平の二年振りの演出となります。

是非、御期待下さい。

TEL 〇五四二七三〇六〇四

劇団名古屋 第百回記念公演は、どうしても

座付作家の創作で、小島真木の「手のひら

の上の仔猫」(一九九三年初演)を第22回静

岡市民文化祭、六月一日(日)星夜二回公演で

終ったところで。

作家が初演台本を改訂し、一層問題を明確

にしたこともあり、好評のうちを幕をおろす

ことが出来た。

自動車工場の寮の部屋という狭い空間から、

現代社会のかかえる問題を鋭く描いたこの作

品は観客に共感をもって迎えられた公演とい

っていだらう。社会の底辺に生きる弱者に

響いかかる矛盾に苦しみつゝも、人間らしい

本公演ではやれないような作品をやってみ

た。観客が集められるのか？これが今一番の心

配事である。舞台に立たい、だけでなく、

101回公演を、11月17日18日、サトルナート

ホールにて、ニールサエモン作「思い出のフ

ライオン・ピチ」を上演するための準備に

しかし、アスキの暖い援護にも拘らず、

綺芸が今まで手がけた事のないスタイルの芝

居であり、軽快なテンポと緊張感の持続...

疲れ果てる稽古が続きました。

普及面に於ても、初の喜劇、又、「...現

代史講座」という一見堅苦しい題名とも相ま

つて、売りづらいついという雰囲気支配し、各

おのが危機感を感ずる毎日が続きました。

が、初日の幕が上がり、冬勢のお客様が御

来場下さり、「フッ」と笑いが来た時には、それ

までのモヤモヤした気持ちも、「サ」と薫風

一蹴される思いでした。

さて、次回公演は

「見沼の波留」長谷川美智子 原作

一柳俊邦 脚色

由布木一平 演出

九六年九月二十九日(日)

開演時間 未定

場所 埼玉芸術劇場(宇野市)

この作品は、平成八年度埼玉芸術文化祭の

メイン事業として、埼玉芸術賞入選作「見沼

の波留」の上演を埼玉県から委嘱されたもの

です。

由布木一平の二年振りの演出となります。

是非、御期待下さい。

TEL 〇五四二七三〇六〇四

劇団名古屋 第百回記念公演は、どうしても

座付作家の創作で、小島真木の「手のひら

の上の仔猫」(一九九三年初演)を第22回静

岡市民文化祭、六月一日(日)星夜二回公演で

終ったところで。

作家が初演台本を改訂し、一層問題を明確

にしたこともあり、好評のうちを幕をおろす

ことが出来た。

自動車工場の寮の部屋という狭い空間から、

現代社会のかかえる問題を鋭く描いたこの作

品は観客に共感をもって迎えられた公演とい

っていだらう。社会の底辺に生きる弱者に

響いかかる矛盾に苦しみつゝも、人間らしい

本公演ではやれないような作品をやってみ

た。観客が集められるのか？これが今一番の心

配事である。舞台に立たい、だけでなく、

101回公演を、11月17日18日、サトルナート

ホールにて、ニールサエモン作「思い出のフ

ライオン・ピチ」を上演するための準備に

しかし、アスキの暖い援護にも拘らず、

綺芸が今まで手がけた事のないスタイルの芝

居であり、軽快なテンポと緊張感の持続...

疲れ果てる稽古が続きました。

普及面に於ても、初の喜劇、又、「...現

代史講座」という一見堅苦しい題名とも相ま

つて、売りづらいついという雰囲気支配し、各

おのが危機感を感ずる毎日が続きました。

が、初日の幕が上がり、冬勢のお客様が御

来場下さり、「フッ」と笑いが来た時には、それ

までのモヤモヤした気持ちも、「サ」と薫風

一蹴される思いでした。

さて、次回公演は

「見沼の波留」長谷川美智子 原作

一柳俊邦 脚色

由布木一平 演出

九六年九月二十九日(日)

開演時間 未定

場所 埼玉芸術劇場(宇野市)

この作品は、平成八年度埼玉芸術文化祭の

メイン事業として、埼玉芸術賞入選作「見沼

の波留」の上演を埼玉県から委嘱されたもの

です。

由布木一平の二年振りの演出となります。

是非、御期待下さい。

えます」(高橋正岡 作・松波喬介 演出、

五ノ十七〜二十八)を無事成功させ、現在三

つの公演が全国を巡演中です。当初五月公

演には日IVの問題を扱った「BOOKU」を

予作していましたが、状況の進展が早いため

しばらく延期することし、急遽同じ作者の

「愛が聞こえます」に差し替えとなりました。

いつもより短い稽古時間でしたが、障害者同

志の恋愛・結婚をテーマに、手話も交えたこ

の舞台は約六千名のお客様に見ていただくこ

とができ、好評のうちに千秋楽を迎えること

ができました。

六・七月と全国をまわるのは「キッスだけ

でいっしょ」三作品です。これらは秋にも巡演が予

定されていますので、お近くに向った際には

ぜひごらん下さい。

青年劇場はこの夏、二年に一回の定期総会

を迎えます。劇団創立30周年を経て、各部署

での世代交代も進みつつありますが、劇団が

発展する中で様々な問題も出てきています。

さらなる前進のためにも大切な二日間となり

そうです。

九月定期公演は「喜劇キョリ夫人」の作

者、ジャンリノエル・フアンクイック氏(フ

・境野修次、七月二十日、十三日(三ステージ)

☆ ☆

◎十月十八日(金)・十九日(土) 三ステージ

◎一月十七日(金)・十八日(土) 三ステージ

『鍋屋の紐はなげない』(作・小松重男、

『夢幻乱歩庭』葛山耿介・作

二幕の怪奇幻想劇―

◎十月十八日(金)・十九日(土) 三ステージ

◎七月二十日、十三日(三ステージ)

☆ ☆

◎十月十八日(金)・十九日(土) 三ステージ

◎一月十七日(金)・十八日(土) 三ステージ

『鍋屋の紐はなげない』(作・小松重男、

『夢幻乱歩庭』葛山耿介・作

二幕の怪奇幻想劇―

◎十月十八日(金)・十九日(土) 三ステージ

◎七月二十日、十三日(三ステージ)

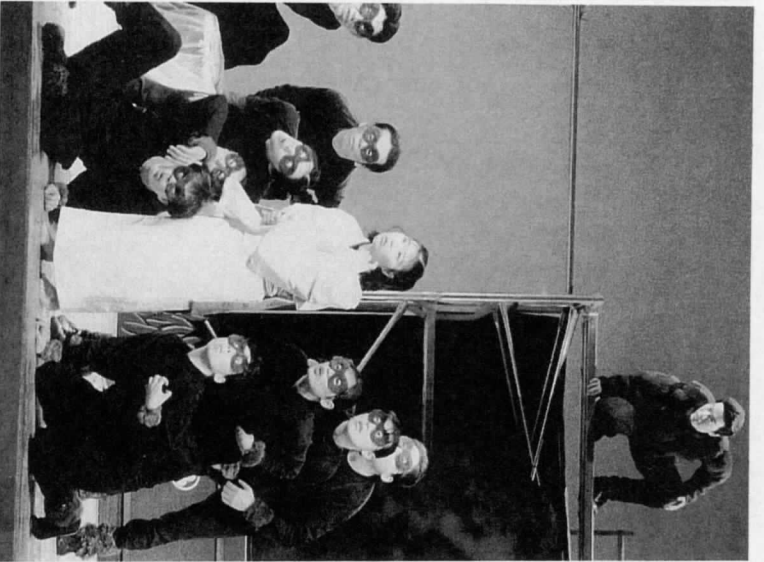
☆ ☆

◎十月十八日(金)・十九日(土) 三ステージ

◎一月十七日(金)・十八日(土) 三ステージ

『鍋屋の紐はなげない』(作・小松重男、

『夢幻乱歩庭』葛山耿介・作



テアトル・ハカタ『うたよみざる』  
作・川村光夫 演出・石山浩一郎  
4月19〜21日・大博多ホール

川崎演劇塾稽古風景



ランズ)の最新作「私より私」(松波喬

介 演出)を決定しています。製菓会社のさ

り込んだ研究公演です。

六月二十一日(二十三日)「名作小劇場」と

銘打ちまして「父帰る」、作・菊地真、演出

・野尻敏彦。に、劇団員の名取りによる「日

本舞踊」、振付・花柳美女月。『昔・東京の

町の売り声』作・安藤鶴夫、六ステージ(小

劇場夢工房)。本年度は、若手育成年間と致

しまして七〇人劇場での公演になります。

(芸芸演出部 岩坂 博)

812 福岡市博多区上川端十一十五

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

九〇二

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

弾きのゴジラ」(狼森と笹森、盗森)を監

演した研究公演です。

六月二十一日(二十三日)「名作小劇場」と

銘打ちまして「父帰る」、作・菊地真、演出

・野尻敏彦。に、劇団員の名取りによる「日

本舞踊」、振付・花柳美女月。『昔・東京の

町の売り声』作・安藤鶴夫、六ステージ(小

劇場夢工房)。本年度は、若手育成年間と致

しまして七〇人劇場での公演になります。

(芸芸演出部 岩坂 博)

812 福岡市博多区上川端十一十五

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

九〇二

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

弾きのゴジラ」(狼森と笹森、盗森)を監

演した研究公演です。

六月二十一日(二十三日)「名作小劇場」と

銘打ちまして「父帰る」、作・菊地真、演出

・野尻敏彦。に、劇団員の名取りによる「日

本舞踊」、振付・花柳美女月。『昔・東京の

町の売り声』作・安藤鶴夫、六ステージ(小

劇場夢工房)。本年度は、若手育成年間と致

しまして七〇人劇場での公演になります。

(芸芸演出部 岩坂 博)

812 福岡市博多区上川端十一十五

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

九〇二

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

TEL 〇九二二七一一五〇九〇

# 顔

## こたけいづこ 小竹伊津子

俳優  
小竹伊津子、青年劇場  
土井与志雄記念

1979年9月『クイヌ婆さんの敵』での中村たけ役



# 確かな舞台の存在感—下町っ子小竹さん

演劇集団土くれ代表 石塚幹雄

小竹さんの演ずる「兵藤武子」は、天皇Ⅱ国家、権力の權威のグロテスクな姿を痛快に見せてくれた。仮面を剥がされた兵藤武子は、なお虚勢にしがみついてひきつった異様な高笑いのなかで消える。現代にも通じる忘れ難い舞台だ。この幕切れの「高笑い」は台本になかったもの。後に飯沢さんがこれを採用して、正式に戯曲に書き込まれたとか。小竹さんの、この舞台にかけた意気込みを象徴するエピソードである。この作品は、初演以来一〇年以上も全国で上演され、現在でも再演を望む声が多く聞くと云う。浅草で生まれた小竹さんは、土地柄から芝居とともに生きてきた。下町の気っ風の良さ、おおらかさ、包容力をたたえた笑顔がいい。反面、不正義や、不実を許さない下町の頑固さもしたたかだ。これが舞台の小竹さんの存在感の源泉かと思える。小竹さんは「楽天家ですか？」と問うと「悲観論者」という。が、「空裏があつて逃げられないとわかつたら、その場に胡座をかいて歌をうたつちゃう。聞き直つちゃうの」ともいう。これが、またいい。

デスコサウンドの強烈な生演奏をバックに、カラフルな衣装で茶髪のカツラをつけた小竹さんが、舞台狭しと踊り出した。この年代のこの手の踊りは、相当のプロを除いて見ていられる方が気取ずかしくなるものだ。が、これが実に楽しい。「愛が聞こえます」の舞台は、高橋正岡の堅実な本に相まって、アンソナルのとれた青年劇場ならではの舞台に仕上がっていた。後日、小竹さんに聞くと「楽しんでやった。ちよっとソンドかつたけど」と屈託がない。小竹さんが土くれの稽古場を訪れたのは一九七二年、実に二年前。以来、小竹さんの舞台の九〇パーセント以上を見せていただいた。なかでも、一連の飯沢巨作品では欠かせない存在としての位置を占めた。七七年の『多すぎた札束』では、主人公棚岡格兵衛の金庫番・牧村みどり。七八年『夜の笑い(接触)』での、副校長・兵藤武子。七九年『クイヌ婆さんの敵』の痛快なお婆さん・中村たけ、と次つぎとヒットを飛ばした。とりわけ、その風刺といひ切れ味といひ『夜の笑い(接触)』は特筆すべきものだ。



# 顔

いわい さと  
岩井里子

演出家・俳優  
劇団月曜会



三十七年前、今は亡き土屋清氏と共に劇団月曜会の結成に参加し、劇団運営と舞台創造の大きな柱の一人としてその役割を担ってきた人である。

そんな彼女との出会いからほぼ三十年になる。女性でい何とも頼もしい人の一言につきる。多忙を喜びもしたから走り回る姿を見るにつけ、いつも思うことは、笑顔を絶やさないあの明るさとバイタリティー、あの生き生きとした彼女の輝きの源泉は一体なんだろうかということである。いわすもかなである。演劇人として永い文化活動の中から育み養ってきた人間らしさと心の豊かさに違いない。

広島における文団連運動の面においても、彼女は若い私たちの良き先輩でありお姉様である。彼女の地元での活躍は、八月の原水禁大会をはじめ、広島で行なわれる平和文化集会、年間を通じて計画される民主勢力の各種集会等、舞台の裏方としてなくてはならない人である。

私の知るかぎり、戦後広島のアマチュア劇団で現在もな

# 女性でいて何とも頼もしい人

広島市民劇場事務局長 亀岡恭二

お現役として劇団運営に関わり、役者として舞台に今も立っている人は数少ない。また、彼女がこれまで手掛けてきた演出作品は十本を優に越えているという。劇団を維持運営し演劇文化を広島の地に根づかせている貢献は多大である。

正に今彼女は、土屋清氏にきあとの劇団月曜会の顔であるととも、広島を代表する演劇人の一人であり、人間的にも誇れる役者といえよう。彼女の主演で今も記憶に新しく、すばらしかった舞台に『セツアンの善人』のシェンテとシエタの二役の演技がある。いつか早い時期に是非実現してほしい舞台である。

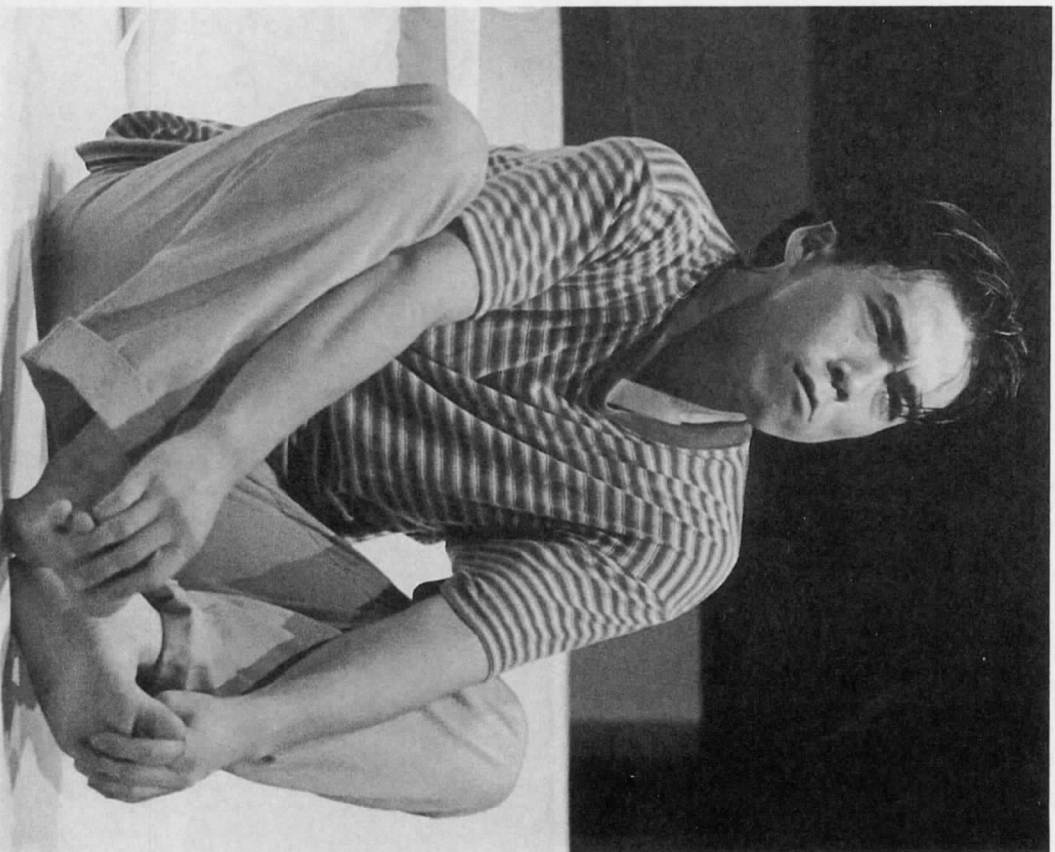


# 顔

み た なお と  
三田直門

俳優  
劇団銅鑼

「俺たちの甲子園」でのゲン役



# 挑んで挑んで—地下水脈づくり

劇団銅鑼 菊地佐玖子

銅鑼公演「センボ・スギハラ」の幕開きはユダヤ人を摘  
挙するナチス将校の第一声が始まる。「ハルトッ(止まれ)」、  
この一言に将校を演ずる三田はこたわっている。柔かく  
鼻に抜ける頭声をものにしたいのだ。が思うは易く、現実  
は……。本番前の声出しでしこく試みるが擱めない。思  
い切つて先輩に相談し聞いて貰った。何日か経った頃やっ  
と、サンそれだな、と云つてくれた。やっただけ、鬼の首一  
つ獲つた思いで本番に臨む。「……やっぱり駄目なんだな  
ア、扮装して明りの中に立つとヘンな緊張が走つて……」  
結局いつも通り怒鳴りつけて元のモクアミ。がっくりして  
いると件の先輩は、焦るな、という。目指す声が一度は確  
かに出たんだから、気永く自信を持って、いつか案に出るよ  
うになる、という。「何年か先のことかも判らんよ」と。  
何年か先？ うーん。挑んで挑んでホンの少し得たものを  
懐ろに取り込んで行く、ラジウムの発見みたいだ。僕が今  
やるのはそれなんだなあ。彼は今俳優として地下水脈づく  
りの最中なのである。一滴づつ貯えた水源が噴水となつて

ステージに舞い昇るのは——二十世紀の何時だろうか。  
「自分のことを人に聞くのは結構勇気が要るんだけど、  
聞かざるは一生の損だ、と近頃思ふんですよ」

この秋から銅鑼が学校巡演する『俺たちの甲子園』は劇  
団の若者達が活躍する作品である。力量不足を知つて野球  
を諦めたゲン少年が三田の役。諦めない女ゲン、その限  
界が判るだけにゲンは友人の努力がせつなく辛い。遂にシ  
ゲルの胸倉掴んで辛さをぶつつける。「あの格闘以来一人  
は本当のチクベの友となったんだろなア、僕ならあく出  
来ただらうか？」と思うと「ゲン君、良い体験したじやな  
いか」と肩を叩いてやりたくなる。さて高校生諸君はどう  
感じてくれるだろうか。三田の目はすでにこれから出逢う  
若い観客に向けて燃えている。

彼と話しながら筆者は心中想う。遠いつの日か、オ  
ノン・ウエルズに似た風格をもつ中年俳優三田の舞台姿を。  
これは不肖先輩がひそかにおくるラジウムボールであります。

萩坂桃彦さんを偲ぶ会  
 萩さんが逝ってもう……  
 栗会議議長  
 「ばやしひろし」



あいさつをするにばやしひろしさん

萩さんが逝ってもう一年がとくに過ぎた。

この四月二十一日に「萩さんを偲ぶ会」を京浜協同劇団のお世話で開かれた。その日ちょうど私は六十九才になっ

と相変わらず毒舌をいっているのにみんな幸せそうに語り、飲み、食い、となり、笑い、そして萩さんを語った。毒舌を吐いて慰まれるような人はあまりないと思う。それが萩さんの徳である。

多くの人がその毒舌に当てられた幸せを語った。

演劇人はもちろんであるが、萩さんの批評によって育てられた小説家も出てきた。なにして萩さんは読書家である。私は大学を出ているが、出ていない萩さんの方がはるかに博学である。私たちの知らない明治の小説家の名や作品名が次々と出てくるのである。このような博学はこれからの全リ演では残念ながら出てこないと思う。

そしてもう一つ素晴らしいのは記憶力がいいことである。

小説の自身を引用し説明されるのである。これはなかなかできないことではない。私なんか誰んだとして申し訳ないが、観た仲間の芝居すら、いやいや、自分の書いた芝居すら忘れることがある始末なので

ありし日の萩坂桃彦氏（九四年八月関東プロクゼミでの講演）



た。考えてみれば黒さんがなくなったのは六十五才で萩さんがそのとき六十八才だった。私はまだ五十を過ぎたばかりだったと思う。いつもお二人についていた私は何か大先輩という気持ちからはなれなかったが、私はもうその年を越えてしまったのである。

いや、改めて年とともに時の流れの早いのに驚かざるをえない。

「萩さんを偲ぶ会」を京浜協同劇団のお世話で新装なった京浜協同劇団の稽古場で、いつものように劇団員の気の利いた手料理で盛大に行われた。考えてみれば二年前の一月十五日、この稽古場建設を支援する「一〇〇委員会」の新年の会が熱っぽく行われ、いつものようにお酒を楽しんで頂いた萩さんが、その帰りに交通事故にあつたのです。その後一年後になくなり、その後一年後にみなさんの努力で新装なった、この京浜の稽古場で偲ぶ会が行われたのである。正面に飾られた写真の萩さんも、いっぱい集まった萩さんの仲間も感無量だつたと思つた。しかし、一つの温つばさもなくつたのは萩さんの徳なのだろうか。

「俺をだして今日は飲みやがる。思いきり飲んでくれ、いいことをいって俺に傷ついたら奴も、ほめられたと思つて喜んでる奴も」

ある。

こうして

私も作品を

送るごとに

具体的にて

いねいに批

評を頂いた

作者にとっ

てけなされ

ようが、誉

められよう

が、納得で

きる批評は

どうれしい

ものはない。

小説家であ

らうと創造

者は同じで

ある。



「会」に集う全リ演の面々

その喜びを披露されたのは藤井素介氏と小林勇氏である。藤井さんは時代小説を教冊すでに講談社から出しておられるいっばし小説家である。小林さんは敗戦の詔勅の玉音録音機を奪うために決起した最後の反乱将校たちの生々し



い体験を小説「向日葵が咲いていた」にして出版されると

いう。お一人ともかけ出しの頃、萩さんからはるくそにいわれ、

そして上げられ、褒められたことを懐かしそらに話された。



萩登氏 夫人、長男（心一）夫妻、弟・登氏 萩坂登久子夫人、

それが批評  
のである。  
触れている  
陥の真実に  
はない。欠  
ほろくそで  
だ単に言う  
である。た  
偉いところ  
が萩さんの  
というので  
ある。それ  
力が蓄積さ  
れていった  
というので  
ろくそによ  
って叩かれ  
萩さんのほ  
内容が突い  
ているから

家はいうものである。

死はみんな覚悟する。いつかは来ると納得させるために

何度か何度も自分に関かせる。ここに私のところなき

た萩さんの手紙の一部を紹介する。

「若尾さんの逝去を知った。私と同令命です。同じ年と  
いえば、数年前に亡くなった横浜演劇研究所の加藤翁がお  
り、同じ横浜育ちで神谷重平氏がいます。一ツ年下で梨地  
四郎。黒沢参吉が死に、加藤翁が死に、若い嫁さんをもら  
ってホクホクの一年目で宇都宮襄治が死に、次は萩坂か神  
谷かと噂は専らだったので、あらぬところで若尾さん  
が代わられました。『演劇会議』の編集長に早川昭二さん  
が内諾されたようです。実務めいたことをどの程度早川さ  
んがなさるか知りませんが、編集長としての采配は十分発  
揮されるでしょう。むしろ早川さんの人間関係で新しい執  
筆協力者のあらわれることも期待されます。」

いつか来る死を指折り数えていたのである。そして寂し  
かったかもしれないが、演劇会議の編集長も決まってほ  
として萩さんが浮ぶ。あの世で喜んでいるにちがいな  
いと思う。



【地域の動き】

桑名市文化スポーツ振興公社  
『歌行灯』の上演について  
共同企画  
劇団すかお 加藤武夫

今年二月、劇団すかおの創立三十五周年記念で、「桑  
名市文化スポーツ振興公社」と劇団すかおの共同企画とし  
て泉鏡花／原作、久保田万太郎／脚色『歌行灯』を上演し  
大きな成果を上げました。その経過について簡単に報告し  
ます。

明治時代の作家、泉鏡花が桑名に投宿した時の様子を背  
景に、『歌行灯』を小説として発表。その後、新派のレベ  
ィトリーとして映画に舞台にと一世を風靡した作品です。

上演話の発端は、この作品を市民の手で、この桑名で上  
演しようとして私が個人的に市民会館に持ちかけておりました。

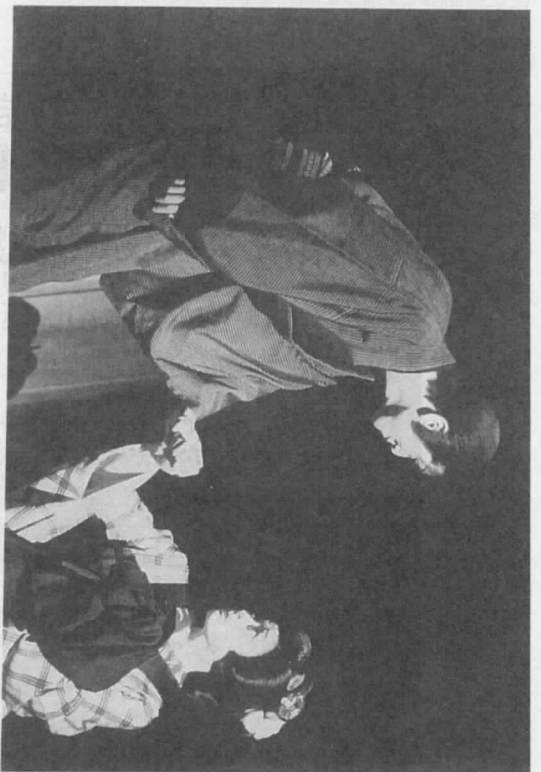
時あたかも文化振興基金の公募の時期であり、会館の申し  
出で劇団が振興基金に応募して、交付が決定したら市民会  
館が二百万円補助すると言ふことで応募した所、幸いにし  
て五十万円（少ないのですが）が承認されました。もう一

つ幸いなことに国の補助額を上限として三重県の文化  
振興基金活性化事業という名目で五十万円の補助金が認め  
られました。しかしながら、劇団で十分な論議を得ない企  
画だったために、後日公演日程や稽古のやり繰りで劇団に  
大変な迷惑を掛けてしまいました。

演出は、桑名在住の元歌舞伎俳優（市川猿之助一門の市  
川松尾氏）をお願いして、スタートが遅れましたが、十月  
の桑名市広報と商業新聞で出演者を公募しました。勿論、  
劇団員の何人かが応募しました。男子三名、女子十名の  
計十三名の応募で十一月二十三日にオーディションを行い  
ました。男優不足は劇団から二名、花街商店街から三名の  
派遣で配役を決定。このグループを「桑名演劇塾」と名付  
けました。塾生は劇団のOB、高校演劇のOG、まったくく  
の素人があつたり様々で、高校生から還暦が済んだ人まで  
多彩でした。

初稽古は十一月十六日で、一月十七日の本番まで延べ十  
八回。週二回の稽古一演出は歌舞伎俳優ですから「セリフ  
さえ入れれば十回も稽古をすれば大丈夫とのことでしたが、  
「素人相手ではたっぷり時間を取って欲しい」とお願いを  
して本番まで、かろうじて十八回の稽古を確保。衣裳は、  
松竹衣裳俵の協力を得て借用、大道具は名古屋演集の舞台  
工房来社、小道具は塾生が担当（学生時代京都の南座で

サイトの経験があり、藤浪小道具や松竹衣裳のスタッフとは顔馴染みで、京都公演中の新派の舞台裏からいろいろと小道具を借用してくれました）、照明と効果は会館の管理を請け負っている業者、下座音楽は桑名芸妓組合の芸者さん。この芸妓組合については、下座音楽の吹込みの協力依頼の際に出演を掛けたいかと相談



できないかと相談を掛けたいところ、二つ返事で引き受けられて、チケットまで助けてくれるという話。プログラマは「初子成、一部を「初子舞」として芸者さんの踊り、一部に「歌行灯」。道具は三杯飾りで廻り舞台を使用した豪華なもの。予算の総額は約七百万円。

制作は市民会館が一手に引き受けくれたのですが、何しろ始めての仕事、宣材の印刷の完成が一ヶ月前。公演は夜の一ステージ限り。是非とも昼間の舞台稽古は公開して、より多くの人に見てもらいたかったのですが、準備不足でこれも適わず。しかし、会館の職員はこの演劇懇の準備に当たり、大変な協力をしてくれました。広告取りからチケット売りまで職員は頑張ってくれました。稽古は、若い塾生が明治時代をまったく知らないのは当たり前として、茶のお手前も知らなければ、「門付け」の意味も知らない、「仕舞い」や「謡曲」も勉強しなければならぬ、大変な芝居だけに演出も汗だく。主演クラス月公演『アロソ・アグイン』の稽古も平行しているためになかなか暇はないのですが……演出の先生の自宅に呼ばれての涙の特訓を受けます。稽古場は、市民会館の会議室。寒い冬もへいちゃらで汗が出るほどでした。稽古の間はきつちりと七時から始めて十時まで一後半は三十分程度の延長は当たり前になりましたが。手取り足取りの稽古です。演出家の奥さんが踊りの師匠ということもあって、この奥さんからも「仕舞い」の指導から行儀作法までいろいろと面倒を見ていただきました。そして当日。昼のリハーサルで初めてかつら、衣裳をつ

け、顔師によるメイク、舞台も廻り、下座音楽も入っの稽古。初めての通し稽古でした。何とかにわか俳優は板に乗りました。お天気は生憎とみぞれまじり。客足を心配したのですが、開場の一時間前から列をつくり、開場時は押すな押すな状況。観客千三百名を越えました。

第一部、芸者さんの踊りで幕が開き、続いて第一部「歌行灯」も所要所で拍手が沸き、掛け声も入り満席の観客は熱心に観劇してくれました。市民会館の廻り舞台が見れるのは開館以来本当に救える程ですから、感激もひとしおの雰囲気。

終演後のカーネーションでは、塾生の目に涙で、演出ももらい泣き。満席の拍手で幕が下りました。十時からの会館での打上げは、零時まで感動のうちに続けられました。

市民観客からの反応は「すばらしい」のオンパレード。勿論、創造上の問題はいろいろとありましたが、短い稽古時間や作品のむづかしさ等を差し引いても十分に評価できる仕上がりだったと思います。地元桑名が舞台の芝居だけに多くの観客の注目を浴び、これまで作品の名前は知っていたか……という人達にとってはよい機会であつたでしょう。桑名市当局も大歓迎でした。桑名市民会館の初めての自主企画（買い興業でない）でもありましたから、今後とも桑名の文化振興という立場での企画の継続

な公演でしたが、折角の機会を、今後にもまた生かせればと考えております。



の要望が多く寄せられました。桑名の演劇懇の第二回目に何を企画するかを問われることと、思います。出演した劇団員も、大きな勉強ができましたし、今までの劇団の観客とはまったく異なる観客に芝居を見てもらえたいし、劇団員以外の塾生との交流も生まれました。「瓢箪から駒」の様

# 名古屋における 沖繩裁判市民劇レポート

## 背景と経過

はじめに――

去る五月十日、現実の「沖繩状

況」の厳しきと、一方ではねばり

強い運動による前進がみられる中、

名古屋市民の公募有志と、地元演

劇人の手により「沖繩裁判市民劇」

『彌勤世や やがて平和の島、

沖繩よ』が上演された。本来、こ

の舞台評を本誌に寄せてもらいた

かったが、時間的制約もあり、関

係した者の実践レポートという形

で報告させていただく。(付記す

れば、「演劇会議」に中部の情報

なり劇評がないという編集部指摘

にも、これをきつかけとして順次

応えていきたいと思ふ)

### ●それは一月末の

申入れから始まった。

多くの県市で、その劇団なり

文化団体なりが集って連合体が構成されているが、名古屋

にも、全リ演中部プロクスの「演集」「名古屋」「名芸」

を含む八劇団で名古屋劇団協議会(以下名劇協と称す)を

つくっており、三十年の歴史を持つ。そこ一月末に市民

団体から「沖繩」の劇化が持ちかけられた。期間がないこ

とから三十分位の構成詩劇で無難にこたえることもできた

が、議長で今回の演出も担当した木崎氏より「やるなら沖

繩県民の斗いに呼応する本格的な舞台を」という決意に

うながされる如く、一月中旬ごろから本格的準備が開始さ

れた。

### ●呼びかけ人結成から作品づくりへ

直ちに、憲法学者、弁護士、沖繩出身の活動家、地元演

劇人らによる呼びかけ人が組織され、同時に作品づくりが

始まった。早書き(のみ)で定評の栗木が担当し、呼びか

け人らの意見も聞きつつ三月中旬になんとか脱稿。

市民参加を想定して百人以上の出演者が必要となつたが、

各々スコミも積極的に取りあげてくれ、四月初のケイコ開

始には五十人を超える人たちが加わってきてくれた。もち

ろん名劇協を中心とした地元演劇人も二十人以上を参加し、

当日の合唱隊(新婦人あいち・コーラス小組合同)も含め

ると百五十八人近い出演者に達し、当日は立見もふくめて身

動きでできない満席の中での幕開きとなった。

●公演後の新聞評は次のように記している。

八……舞台は、琉球王朝、沖繩戦、戦後処理、本土復帰

そしてアメリカ兵による少女「暴行」事件と展開。そして

客席の市民もふくめて「日本国政府ならびに内閣総理大臣

にたいし、二十一世紀までに沖繩からすべての軍事基地を

撤去することを命じる」との判決を下し、超満席の会場は

大きな拍手でつづまれた。

また、大田沖繩県知事からの裁判の意義を訴えるとも

に、支援に感謝するメッセージも紹介された。参加者は、

「見ているうちにだんだん沖繩の人の気持がわかった。こ

の劇のことだけは忘れないと思ふ」(十代男性)、「『沖

繩問題』でなく日本の問題ですね」(三十代女性)などと

感想を語っていた……

### ●公演を終えて――

当日会場だけで台本(一冊千円)は二百冊以上売られ、

ビデオ(一本三千円)も注文が予想を上回り、百本を越え

たと聞く。出演者の打上げも(チケット精算を兼ねて)三

回は行ったが、参加者はふえるばかりでいつも果てがない

程盛りあがった。それらの思いは一過性でなく、ある人は

地元集団に加わり、ある人は平和行進に参加し、ある若者

は来春青年劇場入団を目指す。名古屋には、「核兵器廃絶

・平和を守る名古屋舞台人の集い」(略称反核舞台人の集

い)や、「愛知・県民の手による平和を願う演劇の会」

(略称平演会)などの活動が各々十年以上継続されている

が、これらの地道な積み重ねが、さらに幅広い市民と結び

ついて増々活発になってきていると言える。これらの活動

についてでもいつか触れたいが、本稿の前段(栗木担当)は

これで一区切りして、あとは実際に演出助手として参加し

た地元演劇人の一人、前川達次郎氏の報告を受ける。

## 稽古場からの報告

前川達次郎

五月十日、愛知県勤労会館大ホールで上演された「みる

く世や、やがて……平和の島、沖繩よ」は、一七八〇人の

うねるような大拍手に包まれて幕が下りた。その幕の内側

ではほんの六週間前までは見ず知らずの他人だった者たち

が、唯彼となく互に見つめ合い、手を取り合い、抱き合

い、熱い涙をきらきらさせて、言い知れぬ感慨に浸ってい

た。百名を越す出演者たちの誰もが、何かで心を洗われた

ようないい表情をしていた。市民参加による舞台ならでは

の新鮮な感動が、幕を隔てた双方に生まれましたことは確かだ。

それにしても、全く見知らぬ者同志が何もないところから

ひとつの舞台を創り出し、終わってみれば互いにはや離

れ難いような気持ちになつているというのはどういうこと

なのだろう。このかけがえのない体験、まるで魔法にかけ



られたようなこの六週間の動きを、今、振り返ってみよう。四月初め、新聞記事などの呼びかけに応じた参加者が、初めて一堂に会した。その中学生から六十歳代にわたる参加者の動機は主に三つに分けられる。①平和問題に関心の強い人②沖縄フアン、あるいは沖縄に関わりのある人③芝居をすること自体が目的の人、である。こういった市民参加の人達に名劇協の劇団員が加わって、たった一回の公演のための稽古が始まった。栗木英章氏による台本は、数回に及ぶ推敲を重ねて、既に完成されていた。

稽古は、名古屋市演劇練習館クランを借りて、夕方六時半から十時まで週三日のペースで、まずは基本レッスンから始まった。また、それと並行して、マイムのレッスンも行われ、基本となるスローモーションの足捌きは各自自宅で毎日五十回練習することを課せられた。集団自決や食行進の場面では、紗幕越しの群衆シルエットとして生かされる予定であったが、きれいに整いつづけていたというところで、結局は使われずじまいに終わった。

こうした稽古が進むうちに、大学生を中心とした若者による学習班が結成された。彼らは、台本で取り上げられていた事柄を中心に沖縄問題の補足となる資料を集め、学習し、それをまとめて参考資料として、皆に配布した。それによって、殊に沖縄問題にあまり関心のなかつた高校生たちは随分思考を深め、役に取り組み気持ちに次第に変化が

その取り組み方を考えていた。

こうして、無事本番の日を迎えたわけであるが、考えてみると、この市民劇を創る過程で、高校生のみならず、すべての参加者が現在の管理的な学校教育では欠落している本質的な人間教育を受けたのではないかと思う。そのことが、参加者にとって何よりの収穫であったはずである。公演が終わり、その日の打ち上げの席で、先の沖縄出身の女性や、集団就職で名古屋に来て以来、沖縄出身というだけで差別を受け続けてきたという辛い体験を話された。彼女の中で何が吹っ切れたのかもしれない。また、母親が沖縄出身で沖縄にこだわり続けてきたという高校生は、沖縄は自分たちには分からないものという狭い意識でいたのを改めることにしたと宣言した。各人の参加の動機は違っても、それぞれに、ひとつの自己確立を成し遂げたのかもしれない。それが、あの心を洗われたようないい表情を作り出したに違いない。

## まとめとして

栗木英章

振りかえって、あたりまえとも言えるが大切だと思えることを列記すると……

(一) 創造の母体(今回は名劇協)があること。

(二) 創造団体と運動団体が出発から共通のテーマで話し

現れ始めた。また、学習班は「さとうきび」と名づけたミニ紙も発行し、その時々の稽古場の話題や各個人の紹介を連載し、互いに未知であった参加者の気持ちを一所にまとめる求心力となつたように思う。四月の顔合せ当日、それぞれが「どういふ仲間がいるのか。いったいどういふ芝居がで上がるのか。果たして自分でできるのだからか。」という不安を抱いていたはずだ。だが、その不安と緊張はこうした劇制作の枠を越えた幅広い自発的な活動によって、時を縫うように雲散霧消したようである。稽古場には、沖縄出身の参加者の手作りの沖縄料理やお菓子かしばしばふるまわれ、美味なる味覚を通して沖縄の気持ちに触れることもでき、心がなごんだ。約二十名の高校生たちも、輪切り指導されて入学した高校の学校間格差という大人に よって作られた見えない壁を越えて、旧来の友人のように 急激に親しくなつた。さらに、学者を招いたシンポジウム も開かれ、そこでは三人の高校生が参加の弁を果敢に発言 して、会場で清々しい空気が流れた。同時に行われた公開 稽古では、観客の感想が直接伝わり、それによって少ない 稽古日数ながら、次第に皆の気持ちは深まり、集中してき たようである。そして、現在進行形の沖縄裁判を、真正面 から体当たりで演じる稽古が続けられた。少女暴行事件の 少女をダンスで象徴的に演じることにした十五才の高校 生は、稽古の合間、寸暇を惜しんで沖縄関係の本を読み、

合い、普及についての責任分担を明確にすること。

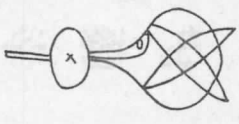
(三) さらに沖縄出身者もふくめ、幅広い呼びかけ人に賛同 参加してもらって、各々の専門を生かしたシンポジウム 等開催して、中味の意志統一と運動の高揚をはかったこ と。

(四) 全出席者が日々のクイコや学習などを通じて気持を一 つにし、楽しいチャートクをつくりだしたこと。

(五) ここでの話し合い等を生かして、作品も刻々と改稿し、 臨場感をもつてのぞんだこと……

公演前後を通じて、他県市より移動公演の希望も寄せら れたが、この大部隊の移動は難しく、何よりこの種の公演 は地元の人たちの熱意が実を結んでこそ意味があると思ふ。 名古屋でもその熱意と、前述した「反核舞台人の集い」や 「平演会」の実績、そして時代の風が相互に作用して成果 を生んだと言える。

各地での兄弟劇団の公演と、時にはそれらの枠をこえ、 一般参加者も巻き込んでの貴重な経験交流が本誌上でもで きることを期待しつつ、あわただしきとめとさせていた だきます。



# 地方文化行政の動向

## 静岡レポート

劇団静芸

伊藤 幸夫

### 電車に水 シアター・オリンピッククス静岡開催

第二回「舞台芸術オリンピック」が、静岡県に誘致される見込みという報道がされたのは一九九三年二月であった。「東京幻想捨て地方が文化創出」というタイトルで鈴木忠志、磯崎新、大石益光の各氏による座談会「地球時代・静岡からの発信」（静岡新聞）である。これによると、前年一九九二年（平成四年）頃には県行政トップなどの同意ができていたと思われる（当時は斉藤貞政）。この記事から注目すべき点をいくつかあげてみよう。特に鈴木忠志氏の発言は、「舞台芸術オリンピック」を静岡県に誘致する理由と意図がはっきりと読みとれると思う。

「冷戦が終わって、ヨーロッパは大変な混乱になってしまいました。ヨーロッパの演出家たちは、これは大変だと危機感を持ちました。ギリシア以来、演劇や建築はもとも古い文化で、中心を占めていました。そこで演劇活動がどういう形で世界あるいは社会に貢献できるのか、もう一度見直そうという動きが出てきました。そのため現在、世

それは逆に伝統がしっかりしているからなんです。伝統と対比でしっかり位置付けている。「舞台芸術オリンピック」でやろうとしている前衛の人たちは、未来はこうならなければいけないとか、現状をこう変えていかなければいけないとかいつも考えています」

なかなか引用したが、鈴木忠志氏の考え方は「新しきもの」を出しているし、これは一九九三年四月発足した「新しい静岡の舞台芸術に関する研究委員会」に引き継がれ、一九九四年四月の「静岡県舞台芸術振興構想」へとつながっていく。

「舞台芸術オリンピック」の静岡県誘致に決まった背景には次のようなことが考えられる。まず「地方の時代」「文化の時代」「国際化」という潮流に、何をやってたらいかがに困惑していた地方自治体に、ダイミツグ良く大型文化イベントがプロモートされたこと。鈴木氏側から言えば、市町村の段階から県の段階に予算規模が拡大できること。（鈴木氏は利賀村、水戸市を拠点としてきた。静岡県清水市の出身）側とすれば「舞台芸術オリンピック」を一過性のイベントではなく「振興構想」の一環と位置付けることによる。文化行政の起爆剤とすることができる、また、巨費を投資することになるが、観光面、経済面への波及効果も期待できるなどを見越したのではなからうか。また県は浜松を中心とした音楽振興の一つとして国際オペラコンクールの、国際ピアノコンクール、また日本文学の外国語翻訳

界のリーダーであるような演出家たちが集まって、研究成果を見せ合おうということになりました。デルフアイのアホソンの神殿に野外劇場を造って演じていきます。「ギリシアは財政的には規模の小さい国家ですから、そんなに大きい規模ではやれない。日本はどうだ、金があるだろうという話が出てきたものですから、私はいいでしょ、ただし金があるから寄付するというのは嫌なんだ、やるなら主催でなければという話はしていただきます。」

「ただイベントをやるだけとか、施設ができるだけとかでは意味がありません。大きな文化行政、教育事業などのひとつであるとして位置付けなければなりません。静岡の地に世界的な劇団があり、世界的な視野で舞台芸術の活動をしている拠点があって組織がある。その組織が、文化事業の目玉として舞台芸術オリンピックを主催しているという点とならば、私としてもやりやすいし磯崎さんの力も借りて何かできるかもしれない。」

「日本では前衛というとき非常に少数のような感じがしますが、ヨーロッパの場合は中心になって活動しています。

国際コンクールなど次々と大型プロジェクトを発足させ、他ジャンルとのバランスをとろうとしている。「国際化」の世界にむかって文化を発信する」というキャッチフレーズや「オリンピック」という名称にすっかり幻惑されてしまった地方自治体の文化行政といえよう。だが「舞台芸術オリンピック」の実態が明らかになるにつれて、「奮ふけど離らず」の状況が生まれてきていることも事実だ。結論を急がず、「舞台芸術オリンピック」なるものが、どのようなものか見てみよう。

「シアター・オリンピック」は芸術家が主催者（委員）となり、その明確なポリシーの下で芸術上の統一を図って行う「舞台芸術の創造と再生」を目的とする新しい国際的な祭典として提唱された。提唱者は世界的に著名なギリシアの演出家オドロス・テルプロスであり、世界八ヶ国の著名な演出家とその呼びかけに応え、シアターオリンピッククス国際委員会を組織した。日本からは鈴木忠志が委員となっており、ここでは新作の舞台作品の上演の他に「ミニグ・メンツ」の公開、シンポジウムなどが企画される。

第一回シアター・オリンピッククス  
一九九五年八月一九日〜二七日  
開催地 ギリシア  
鈴木忠志演出 「ディアオニッス」  
オドロス・テルプロス演出 「アソテイゴネ」  
ハイナリー・ザッペルス演出 「プロメテウス」

「県の文化、舞台芸術の拠点となる『県民国際ラザ』と『野外劇場』は平成八年一月着工した。約五百億円を投じる県民国際ラザは県内では例を見ない巨大な施設。大ホール四千席、中ホール千二百席、小ホール(演劇専用ホール)四百席の三つのホールをもつ。この他、六カ国の同時通訳可能な国際会議場や十七カ所の会議室、展示ギャラリー、練習室、リハーサル室などを設ける。」「県民ラザの年間維持管理費は人件費を含まず約十三億円に上ると県議会に説明された。」「舞台芸術振興の推進組織である財団法人県舞台芸術センターが設立される。財団の運営資金となる基本財産は県、市町村から出えん金、民間企業からの寄付などで当面三〇億円程度を集め、その利子を県実として事業を行う。基本財産は将来的には百億円を目標にしている。県は平成七年度当初予算に基本財産の県出資金として五億円、事業実施のための貸付金十五億円、財団に対する助成金四千万円を計上した。」「県は県民ラザの基本設計を磯崎新氏と随意契約した。契約額は二億九千万円余りで、基本設計が完了次第、引き続き実施設計も依頼する。建設費は六百億円以上が見込まれている。」「舞台芸術の活動拠点として、日本平の有度山山ろくに座席数約千席の野外劇場、稽古場などを四〇億から五〇億円程度をかけて整備する。用地費は別。」「以上はハードの部分のみでソフトの部分を入れると、どのくらいになるか見当がつかない。すでにこれまでに、第

一回のギリシアへの劇団スコット派遣、県職員の見察、年一回の「シアター・オリンピックス」国際委員会の静岡開催もつても数十億円はかかるだろう。これまで雀の涙ほどしかなかった県の文化予算が、「シアター・オリンピックス」のために一挙にふくれ上がったのである。野外劇場には反対の声があつたが、走り出した車は止めようがない。年数回の使用にとどまることは明らかなのに、である。静岡市内からの交通アクセスも不便で、地元劇団の殆どは使用しないと思われる。一方、待望久しい演劇専用的小ホールは、一般貸し出しはせず、専属劇団の管理に任せられる模様で、地元劇団がどの程度使用できるか不明である。後ほど触れることになるが、財団法人県舞台芸術センター設立報道の中に「第二回シアター・オリンピックスの舞台となる野外劇場や県民国際ラザの小ホールについては、以前から一部文化関係者などの間で、『鈴木氏の演劇の発表の場として独占的に使われるのではないか』と指摘がされていた。それに対して理事長に専任された石川知事は『県の舞台芸術がSCOT(鈴木氏主宰の劇団)一色になるわけではない。鈴木氏が芸術監督に専任任せられたからといって、組織や施設が鈴木氏専用とはならない』ことを明言した。」「芸術総監督の業務の遂行が、この法人の目的に合致しないとき、またはこの法人の運営に支障を来すと認められるときには、議決に従い解任する

「シアター・オリンピックス」には十条からなる憲章があり、目的や国際委員会のメンバー、アジア事務局を静岡に置くこと、開催国の委員はシアター・オリンピックスのテーマ及びプログラマを立案し、委員会に計画書を提出し、同意を得るものとする。事業内容としては、優れた作品の上演、シンポジウム、ワークショップの実施、歴史的な舞台芸術作品の保存、記録、国際的なネットワークの形成、若い芸術家への訓練、支援などがあげられている。(詳細は「劇場文化」を参照されたい)一九八八年静岡で開催されるシアター・オリンピックスのプログラマは未だ発表されていない。しかしこれまでにきたように、開催国の委員である鈴木忠志氏がテーマ及びプログラマを提出する訳だから、鈴木氏の芸術観が色濃

く反映されてくるにちがいない。「オリンピックス」の名称から、誰でも参加できるだろうと期待に胸をどろしたグルーブもあつたが、実際は鈴木システムによる前衛劇の壮麗な舞台がくりひろげられるに終わるだろう。世界的に著名な演出家による舞台が静岡で観られるとは言つても、多分地元の見客はそっぽを向いているに違いない。これまでに数回鈴木忠志氏演出による芝居が静岡でもやられたが、「難解である」「退屈した」など余り評判はよくない。「シアター・オリンピックス」にケチをつけるつもりはないが、一流派の芝居に莫大な県民の税金を使うのはいかなものか。後で触れることになるが、「シアター・オリンピックス」誘致のために、野外劇場、演劇専用劇場、付属の研修宿泊施設が建設されることになっているのである。しかも、行政当局は「シアター・オリンピックス」に対する批判や抗議に「誘致は議会の承認を得たものであり、内容は国際委員会が決めるもので、行政は関知するものではない」の一点ばかりである。こうした行政の姿勢は「舞台芸術振興構想」についても同様で、県民不在、行政主導の指針、計画となっている。地域劇団への諮問や討議は一切なく、或る日突然「公布」されたのである。ところで、「シアター・オリンピックス」のためにどのくらいの予算規模を想定しているのであらうか。よくわからない。新聞報道などから推定するしかない。

パシオリス・パバシイリヨ演出「アゴン」  
トニー・ハリソン演出「ヘラクレス」  
テオドロス・テルゾプロス演出  
「縛られたフロメテウス」  
エリー・リエビエーモン演出「パイズ」  
鈴木忠志演出「エレクトラ」  
ロバート・ウアルソン演出「ペルセポネ」  
第二回シアター・オリンピックス

開催地 静岡県  
一九八八年(平成十年)



ことができる、との項目を加え、批判にこたえた。」とある。

まさに語るに落ちるとはこういうことを言うのであろう。予算の問題から横道にそれたようである。

「シアター・オリゾンピックス」について問題点を整理してみよう。

- ① 日本国内からの参加は、地元劇団の参加はのぞめない。専門劇団の選定も鈴木氏個人の判断にまかされる。
- ② 県から巨額の資金が投じられるが、内容については県は口出しできない。
- ③ 入場料金がどのくらいに設定されるか不明だが、地元観客の動員はきわめて困難。市民劇場は全国的にも上位のレベルにあるが、演劇から観客を遠ざけるのではないかと「難解な前衛劇」にはむしろ批判的。
- ④ 鈴木氏への反発もあって、「われわれとは関係ない」とする地元演劇関係者も多い。一方、熱烈な信奉者がいることも事実だが、地域舞台芸術振興の起爆剤になるとは考えられない。
- ⑤ 万国博やテーマパークと違って、大衆的な魅力にとほしいが、大型文化イベントの地方開催は、これまで東京中心の文化のあり方を打破する意味では評価できるのではないかと、きわめて政治的にとらえる見方もある。施設に巨費を投じて結局はゼネコンを儲けさせる。

「振興構想」を発表した。まことにあわただしい策定ぶりであるが、「オリゾンピックス」受け入れの作業が急ピッチですすめられていたからであらう。九三年には、オリゾンピックス静岡開催の決定、県民テラザ（ホール）の建設決定などか同時平行的に進行していたからである。県民の合意を形成してから「振興構想」を策定するなどのんびりしたことは言っていない。かくして強引に「舞台芸術振興構想」は県民に押し付けられたものとなった。その性格は「振興構想」を特徴付けていると思われる。「初めにオリゾンピックスありき」は批判であると同時に事実なのだ。

さて、『静岡舞台芸術振興構想』の内容であるが、これも報道記事を引用させてもらおう。

「世界に向けて情報発信できる新しい静岡文化の創造をめざし、『舞台芸術』の振興策を検討している県の『舞台芸術振興構想』がまとまった。構想では、世界の舞台芸術の拠点となるような劇場の整備、舞台芸術の担い手や観客育成のための教育研究機関設置、優れた舞台芸術鑑賞機会の提供の三点を基本方針として、芸術文化を県民生活により身近なものにしようとしている」

「具体的には、県、市町村、民間の出資により財団法人『県国際舞台芸術センター』をつくり、三〇億円規模を目標に基金を設ける。国際レベルの舞台芸術家やアマチュア技術者などを育成するスクール運営、作品の制作公演、地域に根差した舞台芸術活動の支援や県内外の文化施設に對

せるだけでないか。不祥事が生じなければよいが、という皮肉な見方もある。

「振興構想」とはなにか、その狙いは？

「初めにオリゾンピックスありき」と言われているが、「シアター・オリゾンピックス」誘致を合理化するために、また

は正当化するために、県は一九九三年四月に「新しい静岡の舞台芸術に関する研究委員会」を発足させた。「副知事が「静岡から世界に向けて国際文化の情報発信ができるような新しい舞台芸術に取り組みでいきたい」などと挨拶した後に、委員長に大石益光県文化財団理事長（静岡新聞社社長・SBS静岡放送会長）を選んだ。「委員には建築家の磯崎新さん、演出家に鈴木忠志さん、電通総研の伊藤松夫さん、川井祐一県商工会議所連合会会長、村越一哲県演劇協会会長ら十七人」。

演劇関係者は鈴木氏と村越氏だけで、数回の会合がもたれたと聞く。ここでも国際的な舞台芸術イベント（芸術オリゾンピックス）の開催を目指していくことが強調された。鈴木氏の発言「世界に役立つ文化的な貢献として、日本の中に国際化した場所、環境をつくることが重要であり、これまでの東京を中心とした文化行政の流れを変えるべきだ」と主張した、と報道されている。『研究委員会』は一九九四年（平成六年）知事に対して『静岡県の舞台芸術振興方策について』（提言）を提出、一ヶ月後には『静岡県舞台

設置する。」

この報道を目にした地元の演劇関係者の中には、待望久しい演劇専用の小劇場が建設されるとあって朗報と受け止めるむきもあったが、詳細を知るに及んで愕然としたのである。市民劇場や地域劇団、合唱団の関係者が集まり、『静岡県舞台芸術振興構想』を考える文化懇談会（山崎欣太座長）を組織し、県知事宛の教回にわたる「いわゆる舞台芸術オリゾンピックス」および『静岡県舞台芸術振興構想』と『国際県民テラザゾーン』の施設建設等についての質問と意見・要望」が文書で提出されたにもかかわらず県は弁明に終始し、「検討中」とか「詳細未定」をくり返すのみで、今のところ修正の姿勢はみせていない。

『静岡県舞台芸術振興構想』の概要を次に紹介しよう。

#### 序章 『静岡県舞台芸術振興の意義』

- ・多様な価値観の共存する多文化主義
- ・人間精神に深く関わる独自の芸術文化の創造
- ・舞台芸術は、人間の生身のからだを用いるという直接的な普遍性と、文芸や音楽、美術等もその中に要素として含む総合性という点で新しい地球時代の芸術
- ・静岡県における芸術文化の総合的な振興の推進のため

#### 第1章 『静岡県の舞台芸術振興の背景』

- ・文化振興の体系と基本的視点
- ・地域に創造的で固有性のある芸術文化を育成し、世界に通用する優れた芸術文化を創造するために、総合芸術である舞台芸術をこれからの新しい文化創造の中心として位置付け、今後具体的な取り組みを展開する

感じがするのである。しかも鈴木忠志氏の芸術観、理論が濃厚に反映していると思われる。「世界に通用する新しい舞台芸術」とは何かという疑問に県は明確な答えを持っていない。それは鈴木氏のイメージの中にしかないのだから。「地域に根差した演劇活動の支援」もお座なりのとってつけたような項目にすぎない。木に竹をつなぐような「舞台芸術振興」策、上意下達の「振興」策、県民不在の「振興」策、税金無駄遣いの「振興」策の批判の声があったのも当然であろう。

しかし、「構想」発表以降現在まで、事態はスケジュール通り着々と進んでいる。平成六年六月には「舞台芸術振興会議」を發足させ、平成七年六月には「財団法人県舞台芸術センター」が設立された。理事長には石川知事、芸術監督には鈴木忠志氏が予想通り就任した。八月には第一回シニア・オリンピックがキリッパで開催され鈴木忠志氏率いる劇団SCOTが参加、県は知事を中心とする視察団を派遣した。

「県舞台芸術センター」は、設立後東京で記者発表を行った。「この中で鈴木氏は財団の芸術スタッフは契約制で公募し、自ら総プロデュサー的な『フランス式芸術總監』を自指すことを明らかにした。またスタッフは約五〇人で、専属劇団的な組織にする意向も示した。「スタッフの内訳は俳優約二十五人演出家四人」「芸術スタッフは一

年から数年の契約制をとるフランスなど欧米型劇団のスタイルにしていく、県内のアマチュア劇団員を含めて広く公募する意向を示した」「また活動内容については、ダンスでもオペラでもミュージカルでも、良いものなら何でもやっていきたい」と幅広く対象にしていく考えを述べた。

芸術センターは県内数ヶ所での「舞台芸術教室」を開催したり、機関誌「劇場文化」を創刊するなど活動を開始している。

県行政の動きとしては、昨年度から「構想」の地域舞台芸術活動の支援を具体化する「ふじのくに舞台芸術フォーラム」を始めた。「優れた現代演劇の上演（加藤健一事務所の「セムタイム・ネクストイヤー」、寺山修司原作・嶋川幸雄演出「身毒丸」）及び「トークセッション」「演劇セミナー」。第二のイベントは静岡アイソシアター九五と称する地域劇団の演劇祭とシンポジウム。第三のイベントは「全国舞台芸術振興推進ネットワーク会議」を開催した。総予算は二千万円であった。（アイソシアター予算は僅か三百万円）また、静岡県舞台芸術情報マガジンとして「Buletai」を創刊した。以上のように、「シニア・オリンピック」を核とした「静岡県舞台芸術振興構想」は破綻なく着々と進行しているように見えるが、果たしてどうか。

の文化活動家から様々な批判、要望がだされていることは

- 舞台芸術振興の基盤 演劇などへの関心の高まりが顕著 地域での舞台芸術活動の活性化 国際文化交流の活性化 舞台芸術の原理である優れた伝統文化の伝承
- 第2章 『静岡県舞台芸術振興の基本的な考え方』 舞台芸術振興の基本理念 ● 静岡県の特性を生かした、世界に通用する新しい舞台芸術を創造する ● 舞台芸術を世界に向けて発信するとともに、世界のさまざまな文化と交流する ● 優れた舞台芸術を通して、感性豊かな心を育む ● 舞台芸術を通して、地域の生活文化をさらに高め、芸術文化の活力を育む
- 舞台芸術振興基本方針 ● 舞台芸術の「施設」「人材」「活動」が三位一体として機能し、舞台芸術の「創造・制作」「交流、発信」「公演・鑑賞」を一貫して行う、本県の独自性を備えた舞台芸術振興の方策を推進する
- 第3章 『舞台芸術振興のための条件整備』 ● 組織として財団法人「県舞台芸術センター」設立、基 本財産三〇億 ● 事務局と芸術局を設置し、芸術総監督が運営業務を統括する
- 「舞台芸術センター」の業務は次の通りである ● 舞台芸術に関する人材育成 ● 舞台芸術作品の制作と公演 ● 優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供 ● 国際的な舞台芸術イベントの定期的開催 ● 舞台芸術オリンピック静岡開催の事務 ● 世界の舞台芸術センターとしての国際的活動 ● 舞台芸術拠点施設の整備 ● 地域に根差した舞台芸術活動の支援 ● 舞台芸術活動を一貫して展開するとともに、国際的にも地域的にも文化交流のシンボルとなる場として 屋内劇場や野外劇場、その他舞台芸術関連施設を整備する
- 第4章 『舞台芸術振興のための諸事業の推進』 ● 舞台芸術に関する人材育成（国際レベルの舞台芸術家

- 平成一〇年度 舞台芸術センターの開設
- 平成九年度 アレオリアンビッツの開設、屋内劇場及び付帯施設完成
- 平成八年度 野外劇場及び付帯施設完成
- 平成七年度 「財団法人・静岡県国際舞台芸術センター」設立、施設施工
- 平成六年度 「静岡県舞台芸術振興会議」の設置、施設計画の策定
- 平成五年度 「静岡県舞台芸術振興構想」の策定、施設計画の策定
- 推進スケジュール ● 財政基盤の整備 ● 財政基盤の整備 ● 静岡県舞台芸術振興のためのネットワークの形成
- 第5章 『静岡県舞台芸術振興推進体制』 ● 地域に根差した舞台芸術活動の支援 ● 国際的な舞台芸術に関する活動 ● 優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供 ● 舞台芸術の制作と公演（静岡県舞台芸術団を創設、県内外のアマチュア舞台芸術家の訓練研修、舞台芸術鑑賞の育成、再教育、プロデュサーや技術者の育成、県内外のアマチュア舞台芸術家の訓練研修、舞台芸術鑑賞のための一般教育） ● 舞台芸術の制作と公演（静岡県舞台芸術団を創設、県内外をはじめ全国、さらには海外での公演を目標

男B いったい、おれたちは？…  
女C 不思議な感じだわ。  
女D みんな、知らないみたい…  
女E あたしたち、ことによると、異次元の世界にいるんじゃない。

男A (頭をかえ)記憶がまるで…いつ、どこで、どうなったのか？

女C (一同に)みなさん、あなたのこと、知ってますか？  
女D (首をふり)それじゃ、わたしのことは？  
女C (首をふり)だあれも、知らないんじゃない？  
男B (前に出て、自分の顔をさし)ほくの顔は？  
男A ……記憶がすすんじまって…みなさん、どうしたんですか？  
女E 異次元だわ。異次元の世界ノキットそうよ。

突然、兵隊服で白髪の老人あらわる。  
人々、おどろいて見つめる。

老人 もうすぐわかる、みなさん。  
女E おじいさん、だれなの？  
女C それ、昔の服？ たしか兵隊さんのみたい。  
老人 少し前まで、おじや兵隊じゃった。いまは復員軍人じゃ。  
女E フクイン？ なんのことですか？  
老人 兵隊の、召集を解除されたことをいうんじゃない。  
女E それなら、なぜ着てるの、兵隊の服なんかい？  
老人 ほかに着るものがない。戦争に取って帰ってきて、身よりは

女C 夢のなかにいるのよ、ありえないことだもの。  
女E わたし、生まれていないもの、何十年も昔。  
男A 一九四五年には、だれも生まれてはいないんだ、ぼくたちは  
老人 わしは二八才じゃった。生まれてきた。(髪をなげ)時相に  
よって五〇年を加算されておる。わかりんさるか？ みなさん。  
男B タイムトンネル？ そうしおしお思えないぜ。  
女C SFのなか？ それともフクイン？  
老人 真実は、フクインによってこそ表現できる。  
女E おじいさん、哲学者かな？ 詩人かな？  
男A ……一九四五年、戦争に関係ある？  
老人 おおいにあるのう。  
男A 一月七日、その日、歴史的になにかあった？  
老人 そんな、大袈裟なものじゃない。  
女D いったい、どこなの、わたしたちのいる所？  
老人 ま、有名どころじゃ、もう少し、明るくなければ、だれでもすぐわかるはずじゃ。

老人 もうすぐじゃ、カマラズえくればええ。  
人々、ロケに「カマラ」  
老人 ある一点にて、風景を逐次三六〇度撮ってゆく、わかりんさるな？  
男B パノラマ写真？  
老人 パノラマ写真のう、撮ることになつておる。

男B (ズルリと廻る)対象はどこだ？  
女E 三六〇度、なに撮るのかしら？  
老人 都市…いや、かつては都市があったところ、じゃけん、無

男A ことほどなんなんだ？ 今はいつたい…

老人 待ちんさい、すぐわかるけん。  
男A ご老人が、どうして、復員兵の服を着てるんです？  
老人 ま、時相のちがいか…

男B シンク？ なに。  
老人 時間のシ、人相のソウ。時相とは時間系列のちがいでしやろ。

男B おじいさん、インテリかい。  
女E おじいさんは、異次元からきた人、そうでしょ。  
老人 わしは一九一七年、大正六年生まれ、じゃけん当年七八才。  
男A (Aに)あなたの生まれ年は？  
男A 一九五三年、四十三才です。  
男B (以下老人に指さされ)おれは昭和四〇年、三十一才。  
女C わたし、一九六三年、だから三十三才。女の四年ね。  
女D わたしは二〇才。(はたわ)、もう大人です。  
男A ご老人、女性にまで年齢、なんでそんなこと訊くんです？

老人 (威儀を正し)みなさんに、現在—いまの時間を宣言します。一九四五年です。一月七日。

人々、それぞれに声を発し繰り返す。間。  
女D ……頭がへんになったみたい。  
男B 要するに、戦前というわけか？  
男A いや、戦後だ、一九四五年は、八月一日を境に戦後だ。

士というか魔壇じゃな、目下のところ。  
女D 魔壇…：モヘンジョ・タロとか、ホムエイみたいなところ？  
老人 古代遺跡とはまるでもちがう、二〇世紀の魔壇なんじゃ。  
男A 二〇世紀の魔壇？ そんな、どこなんだ？  
老人 あんだ、歴史の時間においてものを考えてみんさい。いま現在、魔壇じゃとして、日本の社会か生きておるなら、またたく間に変わってしまう。すべては瞬間的な現象にすぎん魔壇に、そのつかの間のイメージを固定しておこうと、われわれパノラマ写真をとる。みなさんはその証人になっていただく。わかりんさるか。

男A 魔壇の証人…  
女D 二〇世紀の魔壇？ わかんない。  
女E そんなどころ、あるのかしら？  
突然、カマラと三脚をもった、カマラマンとその助手があらわれる。  
カマラマン おくれてすまん。妙なニュースを聞いたんじゃ。  
老人 なんじゃ？ ニュースいんは。  
カマラマン オフ・リミッツ。立入禁止地域になつてらんじや、それのは、ええか、すべての国の外国人報道員、特派員に對してじゃ。

老人 外国人特派員？ アメリカ人もか？  
カマラマン じゃろうね、マツカサリ命令じゃけん。  
人々 マツカサリ命令！…  
老人 日本人は？ 日本人の報道人は？  
カマラマン 日本人はどうかでもでけん、みな被害者じゃ、魔壇じゃゆうても、周辺にやいっばい住みついでとるけん、七五年間は草も



生えんうら、デマじやった。日本人は排除でけん、かわりに

女D なんですか？ プレス・コイトって。

老人 進駐軍命令じや、つい二週間ほど前に出しおった、報道規制

のうのかのう。

カメラマン 先月、九月の一九日じや。

老人 みなさん、わかりんさるかの。マッカーサー命令。日本人に

とって、それまでの天皇陛下の命令以上に強力なんじやいこう

とノ、わかりんさるか？

間。

女C そうすると、それは、あの、原爆のこと、報道してはいけな

い。そういうことなんですか？

老人 その通り。みなさんは戦後の生まれじやけん、当然のように

「原爆」といなるが、今、この時の日本人は、まだ「原子爆

弾」いう言葉すら、大声じや言えんかった。一九四五年の一月

には「原爆」いう言葉はタテないんじや。

女E それなら、なんと言ったんです？

老人 「ビカ」あるいは「ビカボン」

人々 「ビカ」

老人 原子爆弾で生命をうばわれた人々は、原爆なる言葉も知らず、

ただ、ビカ、ビカにやられたノ、そう言うて死んだんです。

間。人々無言。

カメラマン もっと、な、おどろきのニュースがある。

男A え？ もっとおどろき？

間。

女D なんですか？ プレス・コイトって。

老人 進駐軍命令じや、つい二週間ほど前に出しおった、報道規制

のうのかのう。

カメラマン 先月、九月の一九日じや。

老人 みなさん、わかりんさるかの。マッカーサー命令。日本人に

とって、それまでの天皇陛下の命令以上に強力なんじやいこう

とノ、わかりんさるか？

間。

女C (空をみていて)青空ノ、澄んだ青空ノ、ああ、空気が(胸

いっばい吸うー周囲を見廻し)……どういこと？ 遠くに

山の陰は見えるけれど、(ぐるりと廻る)なあんにもないー川

が、川があるけれど、あとはなんにもない、なあんにもないノ

女D 震災？……ちがう……もっとと大ききな……こだけ、こ

だけビカが残っていて、あたしたちは、どうも、その屋上に

女E どこかしらノ、こは。

女D 屋上らしいわ。

女A ビルの屋上だ。(床面を見ながら)床面のコンクリートには、

奇妙な亀裂が走っている。……全体として傾斜して……どう

いうことだ、これは？

女C (空をみていて)青空ノ、澄んだ青空ノ、ああ、空気が(胸

いっばい吸うー周囲を見廻し)……どういこと？ 遠くに

山の陰は見えるけれど、(ぐるりと廻る)なあんにもないー川

が、川があるけれど、あとはなんにもない、なあんにもないノ

女D 震災？……ちがう……もっとと大ききな……こだけ、こ

だけビカが残っていて、あたしたちは、どうも、その屋上に

女E どこかしらノ、こは。

女D 屋上らしいわ。

女A ビルの屋上だ。(床面を見ながら)床面のコンクリートには、

奇妙な亀裂が走っている。……全体として傾斜して……どう

いうことだ、これは？

女C (空をみていて)青空ノ、澄んだ青空ノ、ああ、空気が(胸

いっばい吸うー周囲を見廻し)……どういこと？ 遠くに

山の陰は見えるけれど、(ぐるりと廻る)なあんにもないー川

が、川があるけれど、あとはなんにもない、なあんにもないノ

女D 震災？……ちがう……もっとと大ききな……こだけ、こ

だけビカが残っていて、あたしたちは、どうも、その屋上に

女E どこかしらノ、こは。

女D 屋上らしいわ。

女A ビルの屋上だ。(床面を見ながら)床面のコンクリートには、

カメラマン この街に、また放射能のたまたまいおるかも知れんこの

街に、ただ一人、まっ先にのり込んできた外国人がおる。アメリカ

カメラマン わしは信じられんかった。マッカーサーが厚木に下り

たんが八月三日。ミズーリ艦上での日本の降服調印が九月二日。

ひと月ちよつと前じや。その翌日、九月三日に、ええか、進駐軍

より一足早く、日赤病院にじや、ただ一人、通訳連れたただけであ

らわれた外人がおった。アメリカ人じやない、オーストラリア人

の新聞記者じやと。そうよ、宇宙人のような感じじやったと、み

な言いおった。

老人 軍より早く、ただ一人、オーストラリア人ノ……ジャーナリ

ストとはノ

カメラマン この街の惨状をみて、屍臭ただよふ日赤病院の患者た

ちに囲まれ、話をきいて、すぐ打電したそうよな。ロンドンのデ

ジャー・エクスプレス社にの。そのレポートのな、結びのことは

じや、なんとそれが……

男A なんです？

カメラマン 「ノー・モフ・ヒロシマ」

人々 (それぞれの声で)「ノー・モフ・ヒロシマ」

間。かすかに音楽。

照明、少しづつ明るさを加え、屋光に変わってゆく。人々はお

どろきの変化。

カメラマン みなさん、この言葉は、冬分、全世界にひろが

りおるじや。そこで、G田Qのアメリカ軍人たちは、あわてい

ら立って、報道人の一切閉め出しを、この広島へはシャット・フ

いんだわノ

女E (遠くを見て)……なんて、なんて言ったらいいのかしら？

……見わたすかきり、……なにかの痕、なにかがあった痕……

穴ほこが……道路の跡かあって、瓦礫と土台とかあちこちに

とどころ折れた枯木が、見わたす限り……あら、あんなどこ

るに鳥居が立っている、鳥居だけ、立っているノ

カメラマン みなさん、こは屋上じや、広島商工会議所のな。ホ

い、すぐ下に、見んさい、相生橋がある。木田川がある。なせか

のう、奇蹟的に崩れ落ちたビルの屋上にわしらはおる。わ

しら、ここを、パノラマ写真の撮影点にきめたんじや。

五人 (合唱して)ぼく(わたし)たちがいるところは、ヒロシマ。

……時は、一九四五年、

老人 (後をうけ)一〇月七日。それは、あの日からちよつと二カ

月目。晴れた秋の日。

間。以下の人々のせりふは朗誦的に。

男B 川に水が流れて、水は流れていて、なんにもなかつたみた

いに流れていて、川が街を……かつて街があつた平たいところを、

流れてる。

男A 目の下には橋。もう、有名になつた橋。だから、目標にされ

たという橋。だが、いま、上から見ても奇妙な橋だ。……不思議

な現象だ、橋が二つに裂けている。物理的に、工学的に、不思議

な裂け方をしている。橋の歩道と、車道との間が、二つに裂けて

橋桁からずれている。なんで、こんな裂け方をしているのか？

女C ああ、この眺め、ことではあらわせないわ。むこうの、彼

方には、山が、この街を……かつて街があつた土地をぐるりと囲

み

み

み

み

み

み

み

み

み

み

み

み

み

み

んで見えます。でも、そこに至るまでの空間、何キロもの空間にはなんにもない。いえ、あるものはあります、瓦礫、瓦礫、瓦礫、凸凹だったり、ごちゃごちゃだったり、一面に平たくつぶされて、瓦礫とコンクリートのべしんこなかさぶたみたいな、メチャメチャな空間、それだけがありません。

女D それは、地面ともいえない、蛇跡だけでもない、もっとひどくて、徹底的で、いつか遠い日々、人がたくさん生活していたらしい跡が、そうした跡が感じられる……とても無残に、残虐なことに……

女E ロリータでぶして、まっ平なだけけれど、草一本生えてない瓦礫の原っぱでも、ところどころ、玩具の函みたいに、コンクリートの建物か、ポツリポツリと残っている……わたし、見ていると、目まいがしてきそう……

老人 (おごそかに) あなた方、おねがいじや、目を肩開らいて、網膜に焼きつけておいて下さい。みなさんが、いま、目の前にしている風景をじや。この荒涼とした空間は、歴史的にはわずかな瞬間にし過ぎんじや。かつてここが、中国地方第一の都市の中心地じやった、日本国のヒロツマの、秋の陽の下にあるこの静けさを、よう覚えておいて下さい!

撮影準備のために動きまわるカメラマンと助手を除いた他の人々は、それぞれにある一点の空間に視線を集めて、合唱隊となつて唱える。

合唱

わたしたちはだれもがそれを見ていた  
崩れおちなんとする瞬間をふみとどまり  
かろうじて構造を形にとめて立てる  
ペンに丸く痛ましくもトゲのある鉄骨を

間。一同は視線を移してゆく。

老人

……無土から、なにか聞こえるじやるか?

男A

……なにも聞こえません。

女C

……ひっそり、ほんとに、ひっそり、

女D

……とても静かで、

老人

動いているものは? なにか、動いているものは?

女C

ひっそりと、みんな止まっているみたい――

男B

いや、ところどころに、人が歩いている……

女D

あら、クルマが、

男B

四輪駆動ノ……あれ、ジーンだ、ジーンノ

女E

トラクノ……あれ、軍用トラクノみたい。

男A

乗っているのは、アメリカの兵士だノ

老人

……時おり、下を通る車は、すべて進駐軍の軍用車輛、トラクだけじや。

女D

……あ、電車、古電よ、路面電車、ゆっくり、のろのろ……市電はのろ、二週間ほど前より、ようやく走りはじめました。

女C

(目をこらし)……よくみれば、ところどころ、人が見えま

す。……動いています。

女D ……歩いてる、小さな蟻みたいだ。

老人 街はいま、廃墟のようにみえておつても、街の生命は絶えておらん。秘かに、秘かにの、息づいておるんじや。

女D でも、ここでは静かだわ、信じられないくらい。

老人 とくに、この辺、爆心地じやけん。

女C まアノ、爆心地ノ、ここが?

老人 このあたり一帯、正確にお教えしときましよう。(指さし)えですか、目の前、原爆ドームのすぐ向こうに橋の見えますの

茨の冠のごとくむき出しにのせてたすむ  
怪奇にして悲惨な建造物の  
崩れんとする力に耐えて

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

老人 (やが間があつて) そのよび名は、この時はまだ生まれておらんじやろ。

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

老人 産業奨励館。崩れかけて残つたそれは、何度、取りこわしの論議のされたことよ。かろうじて、生きながらえて、やがてはヒロツマのシンボルとなつていくじやろうけれど……

女E 火の球って、大きい、どのくらい？

老人 (冷静に) 少しむずかしい問題じゃ。火球の大きさは、爆発の威力で異なるけん……わしの聞いたるデータでは、一キロトンの原爆で直径約一〇メートルとじゃ。広島は二〇キロトンの威力といわれとるで、約二〇倍。火球の大きさはその立方根に比例すると考えりゃ、約二五〇メートルから三〇〇。この真上までおっつたもんと推定される。……仮に、ここで見た人がおっつたとしても……瞬間的に即死じゃ。

問。人々無言。

老人 ビカ瞬間、その真下での感覚、人間の想像力を超えるで……一秒の何十分の一で、熱線と強大な衝撃波は、人の意識・神経組織を瞬時に消失させるじやろ。市民は言うとります。爆発で戸外に居った者は、みな蒸発してしもうたとな。

男A ご老人、なぜ、そんなに、原爆の爆発データに、くわいんてすか？……あなたは、誰ですか？

老人 ああ、わしは……この時生まれとっただけ、この先の、未来の記憶をもつておる、それだけ……

男B 未来の記憶？

女D あるの？ そういふもの。

男A 記憶……未来……

女C (老人に) あの、説明して下さい。パナマの老人 そう、わしは説明をせにや。まあ、みなさん(ある方向を指さし)この川の、太田川の上流方向が真北になる。川の右

男A さあ、現実を、目前の現実を説明して下さい。(深呼吸、指をさし)右手をみなさん。水面の見える、堀じや。

女C あら、水の向こうに石垣みたい、石垣の跡……

老人 わかりんさるか、あそこは何があつたか？

女D お城、広島城の跡でしょう。

老人 そうじゃ、木造建築の広島城は瞬時に木葉散塵、ときに、広島城のいわば中枢に、なにがあつたと思ひんさるか？

人々 (顔見合せて)「なにかしら？」

老人 陸軍第五師司令部。えですな、全国の主要なお城にや、天皇陛下の軍隊の師司令部がおかれてあつた。広島城には、第一総司令部、中国軍管区司令部もあつた。また明治の代、日露戦争に際し、明治天皇が戦争指導なされた第二天宮趾もあつたが、なにかも、一発の原爆で壊滅しよつた。……広島はの、東京に次ぐ、西日本第一の軍都市じゃつた。

女D それじゃ、原爆落とされても仕方なかつたわけ？

老人 いや、たとえ軍都市じゃとて、都市にやたくさんの非戦闘員が生活しとる。無差別殺人の核兵器攻撃は絶対に許せん。広島市民三四方、大部分は非戦闘員じゃ。

女E おじさん、広島市民でしたの？

老人 む……でも、広島にや深い思い出があつたの。わしや戦争に二回も行つた。陸軍が大陸に出兵する場合はのう、この広島の子品港から乗船するのが定まりじゃ。日本の見おさめ、最後の夜を、戦争にゆく兵隊たちは広島で過すんじや。

女D 戦争になんか、どうして行つたんですか？

老人 そりゃ……むずかしい……ま、召集令がきたけん……

女E 戦争になんか、いやだ！ 言えはいいでしよ。

老人 それは言えん。ま、絶対に……：……：……：……

側一帯、何もないうまっ平なところ、爆風で折れた樹木がしよはし

じやつた。爆心からは四五百、午前八時一五分じや、菅原に整列しよつた兵隊は、立ったまま黒くげで死んでおつたとか。

女E あ、おじさんはその時は？

老人 わしや、広島におらんかつた、じゃけえ、今こうして説明しよるで、みなさいよ、太田川の川ぶち。今、パナマが一、二軒建ちよる、これがな、三軒、四軒とふえての、将来、川ぶち帯に原爆スラムいり、スラム街になつての、負しい被爆者の吹きだまりになるんじや。

男B スラム街？ いまはパナマが一軒あるだけ？

女D なんにもないのに、予言できるんですか？

老人 あ、そうよな。わしや未来の記憶を喋りおつたか！……(嘆息)一九四五年、一〇月じや。(目をあける)原爆スラムは幻じや。

男A 原爆スラムって、被爆し生き残つた市民は、将来はそのような運命、惨めな差別的な生活を……

老人 わしは未来の記憶は語らんようにする。ええか、米軍は発表しとる。原子爆弾で死ぬ者は死に尽した。原爆症なんて個々の病氣はない。そして、原爆に関する報道は、プレスコードで検閲する。……目もふさがれ、耳もふさがれ、口もおぎえられた。原爆症――核爆発の放射能後遺症もなくなつた。それらは広島市民・長崎市民の身体の細胞のなかだけに、ひっそりと潜んでる。一九五一年講和発行の日まで、日本人は自らが負わされた障害に目をつぶられてしもうた。

女C 原爆病、みんな苦しむ、原爆スラムいっばい！ でも、見ざる、聞かざる、言わざる、六年間も！

老人 (頭をかかえる)未来の記憶が、わしの心を乱す！

女E どうして？ 言えなかつたの？

老人 大日本帝国憲法には、兵役の義務いうもんがあつて、召集令は、天皇陛下の命令、そんな建前じゃ。

女D 天皇の命令なら、ことわれないわけ？

老人 あんた方、天皇制絶対下の国民生活いうもんを知らんけん……

女E わたしならことわる。戦争いやなもの。

老人 女には召集令は来ない、男子だけじゃ……従軍看護婦は来たかの？ たしか……

女D 従軍慰安婦って、あれも召集令ですか？

老人 (あわてて)慰安婦？ そりゃ、召集令じゃと……：……：……：……

あんだ、天皇の召集令が従軍慰安婦に、そんな発想、おかしい、飛躍しよる、娘さん。

女D でも、軍隊の性的ドレイとして、強制的に戦地へ送られたんじやろ？

老人 待ちんさい！ 慰安婦問題はアメリカトじゃ。たしかに軍の機関として、表にや出んが慰安所係の将校もおつたが、召集令状と慰安婦問題と結びつけるのは、ちと乱暴じゃ。いや、時相がちがう！

女C たしかに乱暴だわ。でも、乱暴のものは軍にあつたんです。女性にとっては重大な問題だわ。

男A 君、その話、少しばかりテーマがちがうんじや……

女D でも、戦争という現実のもとでは――

男B 原子爆弾と慰安婦問題、おれの頭じゃつたからない。

女D どちらも戦争に関係あるわよ。

女C たしかにそうだが、慰安婦問題、原子爆弾、天皇陛下、みんな関係あるわ。でも、いまの話題は焦土ヒロシマの爆心地から、北の方を見ての話じゃない。おじさん、そうでしょ。



老人 きよう、わしは原爆の破壊作用の物理的側面を、それを、従

軍慰安婦、つまり戦争における倫理の問題に、つながらんのじや、

かんべんしてつかあざい。

男A 軍司令部があれば、当然部隊がある、話をせむらに進めまし

よ。

老人 (ぼつとして) そり、そう、広島城司令部の左側にや、

(女たちに) 女性向きの話題がでけんですまんの。(おじぎする)

川原近くには輜重兵第五大隊があつての、輜重兵いふのは軍の輸

送部隊じや。日本軍は歩兵が威張りおつての、輜重兵いふと馬鹿

にしておつてな一階級しちやいかんの。輜重部隊の右には野砲兵

第五連隊、砲兵じや、砲兵も威張りおつたが。司令部の右側は

歩兵第十九連隊がおつた。歩兵は陸軍の主兵じや。その他、兵器

庫、軍の病院なにもかも、原爆の一発で全滅じや。

女D 軍隊の話になると、おしさんとでも元氣。

老人 ほう、じゃらうか、申しわけない。(おじぎ)

女C いいんです、あやまんなくて。

老人 掛けきらんのです、意識から戦争の痕跡が。ろ。

女C 北の方は全部軍事施設ですか？

老人 いや、向こう側は町です。民家がぎつしり、白島地区、ごら

んの通り一面の野原。向こうに白く光ってみえるが京橋川、川

向こうは二葉の里。あすこまでやられます。

女E あ、汽車が鉄橋をノ

男B 山陽本線だノ

男A 原爆で鉄道は？

老人 もちろん不通じや、広島駅、横川駅も被爆、二つの鉄橋も破

壊して、当分は徒歩連絡じや。あ、そうじやノ……鉄橋の左手前

焼けた街中、あすこに通信病院がある。現に被爆者がいっぱい収

容されておる。

老人 あれか、福屋デパート、市内最大の百貨店の、爆心から約

七〇〇メートル、かろうじて崩壊をまぬかれたか、あの中に救護

所かできた。たしか、市内でもっとも爆心に近い救護所じや。

男A どうして、そんなに近いところに？

女C 七〇〇メートル、放射能もひどいんじゃないの？

老人 みなさんは後世に生まれたけん、原子爆弾は常識で知つとつ

て、現実には知らんのじや。世界ではじめての原爆投下、原爆の

知識をだれか知つたか？……それを開発し、投下を決定した

軍人と科学者のほかに、原爆は人類未経験の大殺戮じや。……ヒ

ルガヨルニナツツチ……」

男B ヒルガヨルニ……」

老人 「ヒトガオバケニナル。」

女E ヒトガオバケニ……」

男B ヒルガヨルニ……」

老人 「ヒトガオバケニナル。」

女E ヒトガオバケニ……」

男B ヒルガヨルニ……」

老人 「ヒトガオバケニナル。」

女E ヒトガオバケニ……」

男B ヒルガヨルニ……」

老人 ヒルガヨルニ……」

女E ヒトガオバケニ……」

男B ヒルガヨルニ……」

老人 ヒルガヨルニ……」

老人 塵埃がうすじき、視界がおぼろにあかるんだとき、人間は？

裸じや、衣服はぎとられ、髪サシバラ、皮膚は焼けただれ、ポー

コドモはそれ卒直に言うたんじや。

女C ヒトガオバケニナル……」

老人

(氣をとり直し、遠くを指さし) 町の話をしましょう。福屋

女C まア、あすこに病院？

老人 北に通信病院、南に千田の日赤病院、この二つの病院が、

破壊されたからも、被爆地の医療拠点じやった。

女D あの、有名な原爆病院は、どこですか？

老人 原爆病院？ そんなもん……あ、ありや日赤病院じや、そ

の未来名称よな。

男B あの、新幹線は？ 新幹線の被害は？

老人 新幹線？……影も形もにやア、

男B 被害甚大ノ

老人 新幹線なんて、そもそも存在しとらん。ええか、時相を間違

えんこと。(視線を右手方向に移す) こんどは東から南へかけて、

爆心地方向みんさい。

一同、向きを右手方向にかえる。

老人 市電が走りおろこの道路、メインストリートの紙屋町通りじ

や。市内の目貫きの繁華街か、かくの通り荒涼として……爆心地

区じやけん、この辺生存者ゼロ。……すぐ目の下、みんさい。コ

ソクリートの鳥居が立つとる、護国神社の鳥居じや。こだけけ

鳥居も石灯篭も飛ばざれんで立つとる。奇っ怪な現象と、思いな

さらんか？

老人 爆心地じやけん。衝激波、爆風のな、真上から来たからじや

らう。ボウ音が崩れおちんかつたのも、真上からの爆風、そのせ

いじや。

女D (遠くを指さし) あに向こうに建っているビルは？

老人 わたし、なんだか読んだ気がします、救護所のなか、次々に

人の息の絶えてゆくな、産気づいた人がいて、これも被爆して

きたお産婆さんかいて……「わたしは産婆です、赤ちゃんで、とり

あげましよう……」そらいつた手記。

男B ほくも読んでる……「水をください、水をください……」

いや、あれは読んだんじやない……歌だ、合唱曲だ、作曲者だ

れだつたか、思い出せない……でも、記憶はありありとある。

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ、水をノ

男A どうかしましたか？

老人 いや、失礼しました、わしは平田屋町に、縁故の者がおりましてな、どうも……で、その、爆心といわれるあたり……コンクリートのビル、残骸の並んだ……左から、蒸備銀行、住友銀行、その前が千代田生命、安田生命、第一銀行、三和銀行、行じやった。うしろの高いのが富国生命で、その右が日本銀行。……あの辺、大手町一帯、爆心より一〜三百メートル、ビルの形は残っていても、ほとんど階層同然じゃ。でも、若干の生存者はおった。

女E どうして？ 生きていられたの？

老人 ビルの屋内、地下室など、熱線や爆風に直撃されておらん者、見かけ上は無傷の者。しかし、大量の放射能のある地上に出てきて被爆を受ける、が、それは本人も周囲もわからん。が、徐々に放射能障害があらわれてくる。が、ともかく生存はしておる。

女D その人たち、やがては死んでしまうの？

老人 三日後に死ぬるか、半月後にか、あるいは生存しつづけるか、いろいろじゃ。おそろしく統計もとれやせんじやろ。

男A (指さし) あれらの、コンクリート建造物内部には、熱線も爆風も受けないうで、つまり放射能障害だけで、生存しつづける人びとがいた――

老人 そじや、コンクリート建造物の原爆に対する破壊への抵抗力、それと放射能に対する遮蔽効果、これらはビル内部におつた生存者の健康調査が、貴重なデータをもっていることになる。

女C あの、貴重なんですか？ その、生存者のデータ。

老人 貴重はずじゃ。

女C つまり、それ、ホルモットの貴重さじゃないかしら？

老人 ……まさに、さよう、ホルモットの意味でな……

女C すると、広島市民はホルモットだったわけ、そう考えていい

女E ……これは、見解が分かれる……イデオロギイ……いや、この、原子爆弾の、都市への投下、無警告投下という戦略を、どう考えるか……

女C あ、あなたのお考え、うかがっていますか？

老人 わしの考え、広島市民はホルモットじゃ、残念ながら。

女D いやだわ、そんな惨酷な。

老人 わしはそう思うとよ。数十万の被爆した広島市民、同様にあの長崎市民も、すべて、みんな、将来の原爆戦争のデータを……

……どれだけ死んで、どれだけが生存できる、そんな不気味なデータを身体のかなかに秘めておる。……これは、だれが何と言おうとも、まきれもない事実じゃ。(女Cに)市民はホルモットじゃった。わしの考えです。

女E そんな残酷な人たち、アメリカで。

老人 いや、わしは言うのは、原爆投下を決定した人たちでな、アメリカ人一般じゃない。

女E じゃ、アメリカの大統領。

老人、大統領、その他、戦争指導者じゃ。

男A (女Eに) 君、それを論じたらキリがないよ。市民はホルモットだったか、あるいは人類全体が負うべき歴史的な犠牲者だったか、決定は未来にかかろ。

老人 わしやホルモットと答えたが、口惜しうてはらわたの煮えかえるとしや。わしがそう思うとるのは、つい先ごろ、アメリカ軍の軍医たちが十何人と来おつた、この広島に。その軍医たちのほとんどが病理学者じゃったけん。

女D でも、医者なんでしょう？

女C 病理学者だから、なんですか？

老人 治療はせん。死体解剖、組織をとって標本こきえて、放射線

の作用を調べるんじや、

女D ま、非人道よ、

老人 しかし、病理学者を責めてもしょうがない。

男A 科学者には、人道も非人道もないんだよ。

女E (Aに) そうなの？ 科学者って。

男A 科学は、通常世間のモラルで論じたりして仕方ない、そういうものだ。

老人 君、そんな考えは古いんじやないか。少なくとも、原子爆弾以後、こんな兵器の開発以後の科学者は、研究のモラル言うもんを考えんと、いまままで通り考えていると、やがて、人類は亡びる……わしやそう思う。

男B 話、むずかしいよ。人類の未来も大事だけど、いまは一九四五年だ、そしてわれわれは、物凄い状況のなかにいるんだ……

老人 さよう、みなさん、今、まだ、ピカのあつてから、六〇日あまり、広島は一面の焦土にして、隣壇の如しじゃ。だが、この焦土、隣壇にみゆる街の周辺には、原爆の放射線を浴びた人いっぱいなんじや。アメリカは医者を派遣してくれな、しかし、ほとんどが病理学者しや。それがわしにや、屍体を啄む羨鷹のように感じられてならんじや。

女C あ、どうか、日本のお医者さんの話を。

老人 広島じゃ、医者もたくさん死んだ。自らが被爆しておつて被爆者の救護しながら、次々と死んでいく。近在の医師はじめ、陸軍軍医学校、岡山医大、京都、東京はじめ、全国の大学から医者が集つてきておる。まず、患者の救護しや。しかし、みなさん、放射能症なる病気の、いまだ未知の病気なんじや。原子爆弾ができるまでは、ごく一部の病気がしやった。症例を集め、研究をせなや、治療法がでけん。しかし、占領軍はプレスコトをした。

原爆症について、医者は大声で語ることを、書くこともできん。

女E ……これは、見解が分かれる……イデオロギイ……いや、この、原子爆弾の、都市への投下、無警告投下という戦略を、どう考えるか……

女C あ、あなたのお考え、うかがっていますか？

老人 わしの考え、広島市民はホルモットじゃ、残念ながら。

女D いやだわ、そんな惨酷な。

老人 わしはそう思うとよ。数十万の被爆した広島市民、同様にあの長崎市民も、すべて、みんな、将来の原爆戦争のデータを……

……どれだけ死んで、どれだけが生存できる、そんな不気味なデータを身体のかなかに秘めておる。……これは、だれが何と言おうとも、まきれもない事実じゃ。(女Cに)市民はホルモットじゃった。わしの考えです。

女E そんな残酷な人たち、アメリカで。

老人 いや、わしは言うのは、原爆投下を決定した人たちでな、アメリカ人一般じゃない。

女E じゃ、アメリカの大統領。

老人、大統領、その他、戦争指導者じゃ。

男A (女Eに) 君、それを論じたらキリがないよ。市民はホルモットだったか、あるいは人類全体が負うべき歴史的な犠牲者だったか、決定は未来にかかろ。

老人 わしやホルモットと答えたが、口惜しうてはらわたの煮えかえるとしや。わしがそう思うとるのは、つい先ごろ、アメリカ軍の軍医たちが十何人と来おつた、この広島に。その軍医たちのほとんどが病理学者じゃったけん。

女D でも、医者なんでしょう？

女C 病理学者だから、なんですか？

老人 治療はせん。死体解剖、組織をとって標本こきえて、放射線

の作用を調べるんじや、

女D ま、非人道よ、

老人 しかし、病理学者を責めてもしょうがない。

男A 科学者には、人道も非人道もないんだよ。

女E (Aに) そうなの？ 科学者って。

老人 君、そんな考えは古いんじやないか。少なくとも、原子爆弾以後、こんな兵器の開発以後の科学者は、研究のモラル言うもんを考えんと、いまままで通り考えていると、やがて、人類は亡びる……わしやそう思う。

男B 話、むずかしいよ。人類の未来も大事だけど、いまは一九四五年だ、そしてわれわれは、物凄い状況のなかにいるんだ……

老人 さよう、みなさん、今、まだ、ピカのあつてから、六〇日あまり、広島は一面の焦土にして、隣壇の如しじゃ。だが、この焦土、隣壇にみゆる街の周辺には、原爆の放射線を浴びた人いっぱいなんじや。アメリカは医者を派遣してくれな、しかし、ほとんどが病理学者しや。それがわしにや、屍体を啄む羨鷹のように感じられてならんじや。

女C あ、どうか、日本のお医者さんの話を。

老人 広島じゃ、医者もたくさん死んだ。自らが被爆しておつて被爆者の救護しながら、次々と死んでいく。近在の医師はじめ、陸軍軍医学校、岡山医大、京都、東京はじめ、全国の大学から医者が集つてきておる。まず、患者の救護しや。しかし、みなさん、放射能症なる病気の、いまだ未知の病気なんじや。原子爆弾ができるまでは、ごく一部の病気がしやった。症例を集め、研究をせなや、治療法がでけん。しかし、占領軍はプレスコトをした。

原爆症について、医者は大声で語ることを、書くこともできん。

女C あ、どうか、日本のお医者さんの話を。

老人 広島じゃ、医者もたくさん死んだ。自らが被爆しておつて被爆者の救護しながら、次々と死んでいく。近在の医師はじめ、陸軍軍医学校、岡山医大、京都、東京はじめ、全国の大学から医者が集つてきておる。まず、患者の救護しや。しかし、みなさん、放射能症なる病気の、いまだ未知の病気なんじや。原子爆弾ができるまでは、ごく一部の病気がしやった。症例を集め、研究をせなや、治療法がでけん。しかし、占領軍はプレスコトをした。

原爆症について、医者は大声で語ることを、書くこともできん。

女C あ、どうか、日本のお医者さんの話を。

老人 広島じゃ、医者もたくさん死んだ。自らが被爆しておつて被爆者の救護しながら、次々と死んでいく。近在の医師はじめ、陸軍軍医学校、岡山医大、京都、東京はじめ、全国の大学から医者が集つてきておる。まず、患者の救護しや。しかし、みなさん、放射能症なる病気の、いまだ未知の病気なんじや。原子爆弾ができるまでは、ごく一部の病気がしやった。症例を集め、研究をせなや、治療法がでけん。しかし、占領軍はプレスコトをした。

衝撃波はそのまま反射波になる、その反発力で橋が浮いたノ橋

脚から浮いて、裂けた、……これが通説じゃ。

男A 水面からの反射波ノ

女E あ、その時、橋の上には人は？……

老人 ……天気のええ朝、……警報は出ておつても、八〇〇

メートルの高空じゃ、B29も豆粒ぐらいのもの、人々は案外気

づかんのよ。投下された原爆「リトル・ボーイ」いっあれ

は白い落下傘つきで、サッと落ちてきたら。爆弾は通常

は落下傘はついでとらん、じゃけえ、橋の上の人は「ありや、なん

じゃろう？」と見とつたじゃろう……

間。人々は空を見上げる姿勢

悲鳴——女Eが失神状態になる。

人々、女Eを介抱の形。

女C (だきかえ) 気室失っているノ

老人 幻想が強すぎたかノ

男B 君、おい、しっかりしろ。

男A 介抱する？ される？ あの時は一

女D だれもいやしないノ

老人 その瞬間は、想像を絶する……

女E (気づいて) わたし、どうしたの？

老人 F11Aはあとして立っている。気をとり直んさい、もう、

六〇日あまり過ぎ去つておる。

女E ……ごめんさい……目の前が白くなつて……

老人 もう大丈夫。(指さし) さあ、橋の向こうを……

(ものにつかれたように唱える)

いまはアランにもない 中島本町よ

老人 ……まほろしの、見えてきやせんかのう、この、川と川には  
さまれた焼野が原、穴だらけの荒地の中島島が、どんな生まれ  
かわりをするのか、記憶を、未来の記憶をよびおこしてくれんか  
のう。

女C ああ……公園よ、公園だわ。

女E 緑の公園……あれは、平和、平和公園。

女D 折つる、原爆の子のメモリアル、平和の灯、それから、資料館

だわノ

女E あたし、怖かったノ、資料館入ったとき、焼けただれ、半身

焼けただれた女の人……ああノ

男A (間) ……緑の幻想……それは未来の時相……(老人に)で

すよね、おじさん。現実は無残な焦土、原子爆弾の無残な痕跡、

ただそれだけ——

男B おれは早く脱け出してえ、一九四五年一月——

老人 聞きんさいや。昔ここに、浅野氏四二万六千石の封建的城

下町の長い平和な暮らしかあつて、それがの、明治・大正・昭和

……軍国主義の歴史とかわり、なんと、西の方、大陸へ向けての

川と川にはさまれた町並の島よ

細い小路のあつて、露地のおくから

軒から軒を川風が流れ過ぎて

ささやかな笑い声の、赤ちゃんの泣声の

小さな暮らした中島の町々よ

いまはなんにもない、アランにもない

あるものは、ただ、あるものは

砕けた瓦、石、土くれ、過ぎにし生活のあと——

間。老人は人々に向き直り、

老人 いや、ぶさけるもんかノ、ヒロシマじゃピカから二五日、

八月三日に新聞が発行されとるノ

女E ヒロシマの新聞で？

老人 中国新聞第一号じゃ。平和のシンボルたらしめるヒロシマの

声が産声をあげておるノ

男B わかつた、おじさんの正体、新聞記者だノ

女D ジャーナリスト、こんな自髪の？

老人 年寄りの冷水よ。ええか、ヒロシマは生きはじめ、よ上よ

たど、しかし生きはじめ……それが、のう、屈辱の、屈辱の歩

み出しじゃ。

男A 屈辱の、再出発？

老人 来年じゃ、一九四六年の八月六日、

女C 一周年？ 原爆の。

老人 街中が踊り狂うノ、バラツクの街なかで。

女E 踊つたの、うそやノ

老人 芸妓の手踊りまであつての、平和音頭、いまだ、あの歌詞は

忘れん。

女D どんな歌詞？

老人 (ゆづくり)

ピカと光つた原子のタマに、ヨイヤサ。

とんであがつた平和の鳩よ……(突然鳴喚)

間。

女C ……信じられない、広島市民が……

老人 踊つたは他所者じゃノ、死に絶えた街に入りこんだ他所者、

男B おじさん、すごい、反米思想だノ

女C でも、日本人は口をふさぎがれ、ものも書けず……

ただかいたんじやノ

カノ軍医書と、日本の治療医学とのたたい、協力じゃのうて

……ピカが人体の細胞に傷つけた謎への、探求がはじまる。アメリカ

老人 電気、水道、ガス、エネルギーは一切止まつて三週間。まず、

女C ……あたらしいヒロシマのはじまり……

らしき時のはじまり、そのひとときよのう。

洗い浄められた焦土ヒロシマの、——惨じきものをおわり、あた

すべての哀れなるもの、惨じきものを、海に流し去つた。いまは

のようけ、降りついで、はてには河川の氾濫、大洪水のな、——

老人 ……静めがあつた、としか思えんのう。九月なかばより、雨

師か、悪夢のような記憶を、まざまざとよびおこす。

男A ご老人ノ、あなたは魔法使いか？ それとも、なにかの呪術

間。

消えてしまったの？……みんな、消えてしまった……

女E でも、もう、いまは、なんの臭いもないわ……なにかも、

女D 広島は屍の街……

ゆく。この地獄のさまはのう、言葉では言いあらわせんよのう。

蠅にかわる。広島は蠅の群れの雲が、なぐれ漂い

も、腐りゆく屍の多くて、全市は屍臭のみなぎり、おびただし

たが、わしやそれをよう語れんじや。……広島は屍の街、崩

れた壁、焼け跡、七つの川どのこの水面にも、……焼けただれ

腐れ、蛆のわき、水ぶくれ、屍、屍……片づける人手より

日本陸軍のな、軍隊発進の集結地となつた。その果てじゃノ、あ

日の原爆投下。……六〇日は地獄よ、阿鼻叫喚の時じゃつ

たが、わしやそれをよう語れんじや。……広島は屍の街、崩

れた壁、焼け跡、七つの川どのこの水面にも、……焼けただれ

腐れ、蛆のわき、水ぶくれ、屍、屍……片づける人手より

たが、わしやそれをよう語れんじや。……広島は屍の街、崩

れた壁、焼け跡、七つの川どのこの水面にも、……焼けただれ

腐れ、蛆のわき、水ぶくれ、屍、屍……片づける人手より

たが、わしやそれをよう語れんじや。……広島は屍の街、崩

れた壁、焼け跡、七つの川どのこの水面にも、……焼けただれ

腐れ、蛆のわき、水ぶくれ、屍、屍……片づける人手より

たが、わしやそれをよう語れんじや。……広島は屍の街、崩

れた壁、焼け跡、七つの川どのこの水面にも、……焼けただれ

腐れ、蛆のわき、水ぶくれ、屍、屍……片づける人手より

たが、わしやそれをよう語れんじや。……広島は屍の街、崩

れた壁、焼け跡、七つの川どのこの水面にも、……焼けただれ

腐れ、蛆のわき、水ぶくれ、屍、屍……片づける人手より



老人 反米？ ちがう、反核じゃ。

問。老人はさらに右方向を指さす。

老人 (時計をみる) 時間を少しなつた、急にさのろ。――川

向こうの町じゃ、左官町の、鷹匠町の、小網町の、舟入などな

どる天満の、観音の町並、さきやかた人のよこらび、小さな悲し

みの、ぎつしりつまつた家並みの跡、なんにもにやあ、みんなみ

とらんじゃろ。この風景みとると凶々しい想いで心が滅入るが

のろ。おすかにコンクリート建ての本川国民学校、西電話局の形

骸がボツボツ残されとる。――この屋上から眺める集士の風

景は言語に絶するわい。

女E おじさんは詩人だわノ

男A いや、予言者に見える。

老人 なんの、ハン、未来の記憶を喋つとるだけじゃ。

女D たにかしら、未来の記憶って？

老人 今、一九四五年、あんたの方、生まれちゃおらん。そんな時

相のなかにおる。そろそろ、このパノラマ写真の撮影も終わるこ

ろ。

問。老人はさらに右方向を指さす。

老人 (時計をみる) 時間を少しなつた、急にさのろ。――川

向こうの町じゃ、左官町の、鷹匠町の、小網町の、舟入などな

どる天満の、観音の町並、さきやかた人のよこらび、小さな悲し

みの、ぎつしりつまつた家並みの跡、なんにもにやあ、みんなみ

とらんじゃろ。この風景みとると凶々しい想いで心が滅入るが

のろ。おすかにコンクリート建ての本川国民学校、西電話局の形

骸がボツボツ残されとる。――この屋上から眺める集士の風

景は言語に絶するわい。

女E おじさんは詩人だわノ

男A いや、予言者に見える。

老人 なんの、ハン、未来の記憶を喋つとるだけじゃ。

女D たにかしら、未来の記憶って？

老人 今、一九四五年、あんたの方、生まれちゃおらん。そんな時

相のなかにおる。そろそろ、このパノラマ写真の撮影も終わるこ

ろ。

問。老人はさらに右方向を指さす。

老人 (時計をみる) 時間を少しなつた、急にさのろ。――川

向こうの町じゃ、左官町の、鷹匠町の、小網町の、舟入などな

人指しゆび(警察はのろ、アメ公の命令に忠実かも知れんどのろ。

女E アメ公？ だれのこと？

女E 日本の警察なのに？

カメラマン 八月五日までは、天皇陛下の警察、天皇が神通力が

のうなつたら、マッカーサーの警察、お怒りなつてそんなもん

じゃ。

女D カメラさんも相当過激なんだ。

カメラマン 過激でうて、ほんとに真似するもんか。

女C じゃ、このパノラマ写真、公開されないの？

カメラマン 当然はな、先のこととはわからん。ネガを没収でもされ

よつたら、みんなバツじゃ。

老人 (あらたまつて) さて、時間にもやあ。みなさん、も一度よ

く見んさい。この痛々しいドクムを。原爆の破壊力を真上から受

けても、崩れなんだドクム。こりや、ギリシャにも、エジプトに

も、ローマにもない、ただ、ヒロソにだけあるドクムじゃ。石

と煉瓦と、鉄骨とコンクリートの、瓦礫のなかにひとり立ちのこ

る……このドクムは、わしにやなんと、十字架のキリストを感じ

るんじや。……多分、この二十世紀の、最大の悲劇のソムホルに

映るんじやろ。

問。

カメラマン 大将、先に帰るけん。(一同に) みなさん、パノラ

マ写真、忘れんといて。……八月中の広島はの、何万、何十万の屍

体のにおい、汚物の山じやつた。救護隊のたくさんの手で、それ

が片づけられ、焼かれ、遺路もなにかきれいになつた。そこへ

大暴風雨のきて、集士は大洪水じゃ。自然がな、集士のゴミ芥を

老人 次は、この方向じゃ、(ほは一八〇度、方向をかえる。人々

その方向にむく) 東、広島駅の方向。そのおすか右よりが真東じ

や。

女C 東京ですか？

老人 東京は大空襲を何度も受け、ここに匹敵、いや、それ以上の

被害も出しとるが、原子爆弾じゃ、にやあ。この場合は対象外と

しときます。

女E 東京でない……それで原子爆弾？ そんなところ……

老人 距離がな、もの遠く遠いんじや。約一万料以上。

男B じゃ、太平洋こえて、

女D アメリカよね。

老人 じゃよう、ええかな、アラモホルドの実験場は、ヒロソのお

男A アメリカの、原爆の常設実験場、そういう意味？

老人 じゃよう、ええかな、アラモホルドの実験場は、ヒロソのお

ずか三週間前、七月一日未明、夜あけの閃光ノ、語ではの、爆

発三〇分後、たくさんの方、アメリカ軍兵士が爆心に突入したそよ、

簡単な防護服でな。

女E ほんとおノ

女C そんな、ひどいノ、アメリカ兵までか……

老人 待ちんさい、初めての核実験で、人類はじめての。だれが放

老人の指示で、人々、その方向に短い黒袴。

ようぞ。

はれれたそよじゃ。で、みなさん、長崎の被爆市民にな、黙祷し

ようぞ。

老人 じゃよう、この三日後、八月九日に落とされとる。被害状況

はよう似ておるが、ただ市街地に山があつてな、山陰の街は被害

はれれたそよじゃ。で、みなさん、長崎の被爆市民にな、黙祷し

ようぞ。

男A わかつたノ、長崎だ。

男B 三〇〇料、先？……

老人 見えやせん。距離はおよそ三〇〇料彼方じゃ。

女D たにあるんですか？

老人 その方向、はるかにじゃ、方位は南西、やや西、

人々 見えやせん、橋脚だけが二つ……

橋脚だけが見えるじゃろ、本川橋のな。

二つに川が分かれて、中島の向こう側の本川にの、橋がこわれて

老人 (南西と思われる方向を指さし) この方向、みんなさい。その、

女C どういうことかしら？

人々 (不審気に) 未来の記憶――パノラマ写真……

老人 みな、の乗、ええか、わしや、いまのパノラマ写真におなで、

未来のパノラマ写真をの、言葉で述べよう思ふ。みなさ

んは未来の記憶をもつとるけん、それをほつきりと理解するどじ

やろ。

射能障害の実態を知るか？

女D 科学者がいたんでしよう？

老人 科学者は理論だけ、それに実験の指揮者は軍人じゃ。兵士

を爆心に突進させるくらい、屁の河童じゃ。

女E アメリカの兵隊たちも、モルモットだったの？

老人 さよう、結果としてモルモット。本人は知らんが。

女D 頭がおかしくなりそう、わたし。

老人 放射能障害の威力は、科学者・軍人の予想をはるかに超えて

って、白人兵士、原住民族、科学者はじめ被害者はどれほどお

るか、政府は公認せん。

女C なぜ？ 自国民が被爆しているのに…

老人 国家、指導者の責任になるけん！

人々 ……（すべて無言）

老人 アメリカ核実験の潜在的被爆者のため、みなさん、どうぞ黙

袴を。

人々、東方を向き黙袴。その時、遠くで微かに轟々と爆発音

のひびく。

女E あれ、なんの音？

女D まさか、核実験の音が…

老人 あれか、超自然的な音のイメージじゃ。

人々 え？（老人の顔を見る）

老人 （平然と身体の向きを変え、軍隊的口調になる）次、方向を

約四〇度右へ、方位は東南、前方、住友銀行の建物方向、背後

に比治山のある方向線、その彼方、距離はおおよそ四千料ノわか

るかのう？

男A ー南、太平洋…四千料ービキニか？

女E ? ビキニ―ビキニスタイルのビキニ？

男A ことは同じ、でも、ビキニは島の名。

女C 水爆だわ、第五福竜丸、死の灰、そうよ！

老人 ビキニ環礁、マーシャル群島の中の一つの島。アメリカはこ

こで、一九四六年より五八年まで、二三四回の核実験、内三回は水

爆実験じゃ。水爆？ わかるかのう？ 未来記憶は―（女Eを

指さし）娘さん、わかりんさるか？ 水爆を？

女E 水素爆弾。原爆よりもっともつと強烈な爆弾でしょ。

老人 そうじゃ、（一同に）みなさんの意識は、すでに未来記憶

のなかにある。一九五四年三月一日、水爆実験、アラホー爆弾は

一五メガトン。この、ヒロシマ原爆の千倍じゃ。

女C 知ってます、第五福竜丸が死の灰を浴びたこと。マクロが食

べられなくなったこと、わたし、その話母から聞きました。

男A それによって、原水爆禁止運動が家庭の主婦たちからおこっ

たこと、ほくは小学校で先生から聞いた。

女E あたし知らないわ。

女D ゲンスタイン運動？ 聞いたみたい…

老人 太平洋の南の島、ミクロネシアで放射能汚染で苦しんだる原

住民の人々、実験で無駄に死んだ数億の生物たちのため、よろし

いな、黙袴！

人々 黙袴。その時、前回よりやや大きく轟々と爆発音。

人々 ーあ、あの音、ーなに？ あれ、ー水爆実験？（など

など）

老人 （平然と）しずかに、超自然的未来イメージじゃ。南太平

洋ではその後、英国・フランスなども核実験を行う。列強と、言

語道断じゃ、わたし怒つとる。ゴマメの極きしりよ、のう…

わしや過激じゃのう。

女D あ、それでチェルノブイリの事故になったの？

老人 チェルノブイリは原発の事故、質がちがう。問題は核兵器じ

や、戦争の手段としての核実験じゃ。

男B 要するにロシアだ。ロシアの何処なの？ 実験場。

老人 カザフ共和国、実験場はホリゴンとよばれ、セミパラチェン

スクの近くじゃそうじゃ。

男A セミパラチェン、ああ…

老人 どうかしたかの？

男A ぼくの父が抑留されていた、収容所に。

老人 ……ホリゴンはアメリカのネバタどこじゃにあそうじゃ、

空中爆発、地上爆発、原子の湖。

女C 原子の湖？

老人 ホリゴンは謎に包まれ、住民は核の汚染の真相を知らず、半

減期の長い放射能汚染の中で、生存しつつ死につつあるそうじゃ。

女E アメリカ嫌い、ソ連も嫌い！

女D 人類って惨酷だわ！

老人 わがヒロシマの周囲は、核実験場だらけじゃ。さ、最後の黙

袴を、カザフスタン、セミパラチェンスクにて苦しめる人々に…

…黙袴。

人々 黙袴。またも轟々と爆発音。

女D ああ、わたし、もういや！

男B （皮肉に）黙袴の連続、うんざりだら！

女D 人類て、バカじゃないの、核実験はかりつけて！

老人 これは、五〇年間に圧縮して感じられとるけん。でも、これ

は歴然たる事実なんじゃ。

女D おじさんの独断でしょ、アメリカがそんな…

老人 いや、わしの信念じゃ。わしや過激な人間で。ええか、

ヒロシマへの原爆投下、それを知りたことも頭にきた人間、日

本の天皇陛下のうてスターリンじゃと思つとる。そこでシヤ

カ力になって、国力すべてをかけて原水爆の開発、クルチャトフ

いう科学者の尻を叩き、アメリカに追いつき、追いつせ。世界最

大の水爆実験も行ろ。その挙げ句じや、ソビエトは連邦解体じゃ。

女D おじさんの威嚇じゃ！

市民の頭上。なぜ、なぜ？―威嚇じや、ソビエトへの、スタ

カは、なぜ、大急ぎでヒロシマに原爆を落としか？ 四〇万の

老人 あの時、日本は戦艦直前じゃった。それを知りながらアメリ

男A エッ、なぜ？ どうして。

もにやあ。

老人 ソビエトは、アメリカに劣らず核兵器を開発した。ま、無理

男B ソビエト。

四五〇〇斤の彼方。

山の彼方空高く―さいわい住まん、災いが住んどる、距離は約

北西へ約三〇度。ここからは相生橋の延線方向、巴里町の山の、

老人 多分、ロシア語か。（腕を上げ方位を示し）方位は真西より

い（ごわめき）

人々 （異口同音に）ホリゴン？ なに？ それ？ 聞いたことな

ホリゴン！

ロシア・ナガサキを越すやも―真相はまだ聞じゃ。―通称、

ぬ巨大な核実験地ノ…放射能障害に限れば、あるいは、わかじ

る）アメリカのネバタ、南太平洋のビキニ、それに勝るとも劣ら

（大きく息を吸い）最後は、この方向ぞ、（さらに方向を右にふ

念寺極。でも、それらの核実験まで方向判定、黙袴しちやおれん。

わがアジアでは、お隣の中国まで核武装に踏み切る。わしや、残

老人 おじさん、教えて、いつまで続くんですか？ 核実験は、  
 老人 わからんじや、国際情勢はの。  
 女E こんなことどうして？ バカよ、人類はバカよ！  
 老人 ええか、ききんさい。核武装するのが、核攻撃から国を守る  
 最良の手段じゃと、大國の指導者たちは考えつづけてるけん、こ  
 りや当分はつづけてやる。  
 女C 詭弁です、政治家たちの見せういた。  
 老人 さよう、だが、核抑止論のうちこの詭弁は、かのケネディも、  
 フルシチョフも、サッチャーから、毛沢東まで、國家指導者にな  
 るとみなとりつかれるものらしい。  
 男B (感情的にわめく)核武装は金もうけになるんだ！ 政治家  
 ・財界・軍需工業・大もうけ、大バクチなんだア！  
 男A (反論)地球が滅しても金もうけ？ 君はそこまで人類は  
 落してる、救いがたいのかい？  
 男B これはみんなユダヤの陰謀だ！  
 男A 君、正気か？ ヒトラーまがいのこと言うな！  
 老人 (中に入る)まて、静まりなされ。核実験は止んだとしても、  
 窮極の核廃絶に至らん限り、人類は危い橋をわたりつづける。か  
 のキューベ危機のごとき、危機一髪のなきにも非ずじや、先は  
 長い。  
 老人B ぢいさん、あんな何者だ？  
 老人 わしや、ま、時の魔術師うか。もはや役もおわった、間も  
 なく消えるかの。その前にひとこと、聞きんさい。(態度をあら  
 ためる)

「あの瞬間」「なんだか忘れられない」  
 「ああ、忘れられない」「川」「町」「チーム」  
 焦土ヒロシマ、焦土ニッポン  
 焼け野原一面のニッポン  
 思い出いつまでも、いつまでも心に  
 考えましょ、わたしたち  
 明日からを、明日からを！

※作中に次の諸氏の作品の部分引用をさせていただきます。

原民喜「歌碑」  
 栗原貞子「文集」より  
 林光「原爆小景」より

この作品の幻想・想像された屋上・舞台上では、演技の方向性が表現のり  
 アリアに必要である。半円形の張出し舞台が理想的だが、プロセ  
 ニウム舞台でも基本的には同じである。  
 舞台は客席方向を南とし、舞台おくを北とする。上手よりは東、  
 下手よりは西である。だから客席は原爆チームの方向になる。また、  
 パノラマ撮影も、それに準じる老人の説明も、舞台おくに向かつて  
 (北)はじまり、上手(東)に回り、正面(南)から下手(西)の  
 順に、時計廻りに進む。  
 せりふにある対象方向は老人の指と視線で示され、他の五人はそ  
 れに導かれる。北方の風景(広島城址や部隊)の説明は、演技上の  
 工夫がほしい。

附記

幕一

老人 わしは消ゆる、その前にひとこと――  
 (やや祝詞じみた重々しい語調にて)  
 このヒロシマに、してオガサキに、  
 原子爆弾なる新兵器の落とされ  
 この世ならぬ――原爆地獄のあらわれ  
 熱、衝撃、放射線の阿鼻叫喚に同胞悶ゆ  
 これ、伝え聞ききたる、大陸の中国の  
 タイ・ベトナム・ラオス・インドネシア  
 シンガポールなどの、もろ人街角に声をあげ  
 喜びたり祝いたりのこと、何ゆえぞ  
 われらが阿鼻叫喚の悶え死をよろこぶや  
 恨みなり、こらえ耐えたる恨みなり  
 日本帝國軍隊の國土を侵し街を焼き  
 物を奪い人を犯し、殺したる業の数々  
 原子爆弾を落とされたるはその報いなりと  
 日本帝國の民は報いを受けたり、と  
 アジアの人々の喜びたるを心に刻み  
 焦土ヒロシマよりわれら新しく生まれかわり  
 原子爆弾の災いなき世を創りだすべく  
 悶え死せる同胞にかけて誓うべきと――  
 さらば……  
 みなさん、さらば(消えるように去る)

五人は互に顔を見合わず  
 (それぞれ、自由交互に)  
 ああヒロシマ、一九四五年、一〇月、秋の日。  
 あのパノラマ写真の瞬間

五人

地名(せりふ)	方位	舞台からの線
山影ある方向	南以外すべて	前方以外すべて
川	南と西	前方と下手
神社の鳥居	東(近)	上手目の下
相生橋	西	下手目の下
原爆チーム	南(近)	正面 同平面
走る市電	東→西	上手→下手目の下 通過
元安橋	南	前方
爆心地	南や東	前方 やや上手より
大田川上流方向	北	舞台おく
軍用地(部隊)	北	舞台おく、上手おく
広島城址	北東	おく、上手より
白鳥地区	北東	おく上手より
通信病院	北東	おく上手より
広島駅	東	上手
横川駅	北や西より	舞台おく、やや下手より
メイストリート	東南	上手目の下→下手
福屋	東南	上手や前より
八丁堀一草屋町	東南(近)	上手ななめ前
銀行街	東南	上手ななめ前
日赤・原爆病院	南	前方
中島地区	南西	前方 やや下手
左宮町、舟入地区	西	下手
長崎	南西	前方 やや下手より
アメリカ・ネバタ州	東	上手
ピキニ島	東南	上手前方より
セミパラチエンスク	西や北西	下手のややおく

主な地物の舞台からの方向線



秋田 雨雀・土井 卓志 記念「青年劇場」

### 『青春の砦』『鮮かな朝』

劇団 埼玉 由布木 一平

昨年九月、『青春の砦』大谷直人原作・瓜生正美脚本を観た。戦後五〇年記念公演とされたこの作品は十五年目の再演でありながら、その歳月を超えて、深い感動を与えてくれた舞台となった。

ほぼ軍隊化された商船学校教育のなかで、「生き抜け」「真実を見誤るな」と説いた教官のそれは、国家体制への批判ともいうべきものであり……戸惑いながらも人間の尊厳を失うまいと抵抗した生徒達の在りようは、俄に信じがたいものであったが……しかしそれが事実であったことにいようなない感動を受ける。

宮岸泰治は本ソフの一節で「略一当時そんな青少年がどれだけいたか知らないか、そうすることによって背後にひそむ悪の根源に気付き、かつ明らかにしていくことが必要だったのだと舞台は指摘する」略一と書いてはいるが、同感であ

る、が稀有な事実でもあらう。

舞台の主役は、商船学校の生徒達であるが、演ずる俳優

達は拳手の礼さえまよならなかつたであらう戦争を知らな

い世代の若者達である。私の息子はどの俳優達がイガ栗頭

にされ、朝倉喜久雄や後藤陽吉にどのようにしてごかれたの

か、一結果は見事だったが「あざだらけになつて稽古に励

んだであらう、その光景を想像すると複雑な微笑となる

一劇中の年代一当時、なんの疑念も持たず、裏つとに刺突

の訓練をさせられていた自身の経験を苦く思い起こすから

である……

演出は瓜生正美から次代の中野千春へ引き継がれ演技者

も同様に生徒役から教官役へと……青年劇場の歴史でもある

……多場面の構成を間断なく運んだ演出、躍動感溢れた演技

陣、そして視覚的にも秀れ、効果的に舞台を支えた美術／

内山勉、照明／横田元一郎、の仕事も青年劇場ならではの

ものであり、戦後五〇周年記念と銘打った多くの劇団公演

の中でも際立った舞台成果であったように思える。

時機を失した一文であることは判っていることだが、演

劇会議誌上に触れられておらず、その感動の一端でも記し、

伝えたかった。

そして、九六年三月シアタースクエアに於ける一森脇

京子作、中野千春演出『鮮かな朝』の上演である。作品

は平成五年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞作である。

前述の『青春の砦』は男優二〇数名、女優はただ一人の

舞台だったが、この作品は女優八名のみ出演であり、前

者を「動」とするならば、対極の「静」の舞台となつた。

場面は終始、公園の隅に在る「砂場」である。(美術

／内山勉、照明／横田元一郎)

プロローグ、一春明のうち一人の老婆「ソフコ(井上

昭子)が佇立する、ついぞ子供を産むことが無かつた、い

や、産めない身体にされてしまった老婆の穏やかな哀しみ

……少女期……既に、生きることから切り離されてしまつた、

い……砂のようにさらさらと……静かな導入部である。

「一景」ソフコとソフコ(重野恵)との対話、一見少女

の可愛げな会話に映る、故郷の地で憧れた少年への想い……

望郷……一人の故郷がどこであるかは判らない、が十三才の

ソフコ(十六才というところにさせられている)と十六才の

ソフコの対話のうちに尋常ではない内容がある、断片はこ

うである。

ソフコ 兵隊さんね、今日、行くんだって……言つた……も

帰つてこない……

ソフコ 話しながらソフコさん……

ソフコ うん二十三番目で最後……

ソフコ 教えているソフコさん、

ソフコ うん二十人過ぎたらもうすぐ終り……(……)

ソフコ 私、私、あの時に何度首を絞めて殺してやらうか

(……) “生きて帰らうね” “帰りたいけど”……

“きつと帰らうね” “帰りたいね” “絶対帰るんだから

!”。

「二景」は十五年という歳月を跳ぶ、同じ「砂場」三人

の少女の登場、孝子(崎山直子) 里子(朝いなかえで) 弘

美(滝沢純子) である……性にまつわる他愛ない話題……そし

てソフコとソフコとの対話、既にソフコは故郷に向かつた

船と共に沈み、死者である、したがつてソフコは一景のま

まの姿で登場する、ソフコは三十一才水戸荒風の女。科白

はソフコの独白でもあり、死者との対話ともなる……

一景でもそうであったがソフコやソフコの故郷がどこで、

今どこにいて、何を……して……等説明する科白はない……二

景の登場人物中の里子は実はソフコ、ソフコと同じところ

にいた仲間のソフコの子であることが明らかにされる……ヨ

シコはその場所から子を産むために逃げ、産んだ後行方が

わからず……里子は他人に引き取られ育てられ……しかし里子

はそれを知らない……

そして「三景」はさらに八年後……成長した里子(名川伸

子)の登場である。

誰とも判らぬ男に犯された里子……“忘れる”と諭すソフ

ニコ：「アイコ」の登場一場の終りの科白をそのまま引こう。  
アイコ 朝が来るよ、ノアちゃん、晴れ渡った鮮やかな朝が  
：私たちが故郷の朝の光は、鮮かだったよ。ノアちゃん  
思い出してよ。私たちは日本人じゃない……！。~~~~  
そして「四景」三景から十二年後、弘美（佐藤美奈江）  
孝子（清水ひろみ）里子の登場：里子はノアコから「あなた  
は、あなたの体の中には、私たちと同じ血が流れている  
のよ里子ちゃん」。……と、告げられるのである~~~~  
そして終景へと。：なんと木器用にはしょって景を追  
って書き綴ったが、観客は科白の言外の意味を聴き取らね  
ば：物語そのものさへ判断とはしないだろう。：「砂場」は  
生活の場ではない、何かの出来事がある場であることは  
無いのだ。……劇作品としては当然のことだが、説明する  
科白は一切拒否されている、が、登場人物それぞれ生き  
ざまを伝えるに不足はない。五景までの間、四十八年、作  
者は女性故に加えられた被害を、主題の従軍慰安婦問題の  
ほかに、強姦、産婦人科乱診医癩、をも加えて描くが、文  
体は簡潔、独特で美しい。  
終景、モノログではない、ノアコとアイコの生者と死  
者との対話がある、アイコがノアコに告げる、ノアコが想  
いを寄せていた少年もまた強制連行され、この砂場につな  
がる同じ日本の地で殺され、五十年余の歳月を眠っていた  
ことを。

あたちで構成する核家族、それは愛情という結びつきから  
なる理想的な家族のあり方だと考えられたが、同時にもろ  
さも内包していた。文字通りの崩壊、あるいは家庭内離婚  
と呼ばれるような美質的な破綻、今や珍しくもないそうい  
う状況はなぜ生まれてきたのだろう。今日、家族はお互い  
を見失い、こころの通いあいや結びつきを持たないまま、  
孤立している。しかし、現実がそうであればあるほど、形  
骸化した家庭に心よりどころとあたたかさを求め、幻想  
を見ようとする。家族の構成員はお互いに幸福な家族とし  
ての一員を演じあうのだ。そのことでなんとかつなかりを  
維持し、外観だけは破綻をまぬがれている。そして、他人  
にしあわせ芝居を演じることで自分たちはしあわせなのだ  
と納得する。はたために幸福な家族と見られること、つまり  
他者の評価こそがしあわせの尺度なのである。そういう他  
者の評価で自分の人生を判断し、決定すること、それは熾  
烈な競争社会に勝者として生き残るために受け入れねばな  
らない条件でもあった。  
『家族のへその緒』はそういう「しあわせ幻想」とい  
べき、まさに今、われわれが直面している問題を描いた作  
品である。物語は一年くらい前に島根県で起きた新生児誘  
拐事件がモデルとなっている。ノアヒロとニコ子夫婦には  
どうしても子どもが授からない。孫の誕生を待ち詫びるマ  
サヒロの両親にとっても気が気ではない。ある日、姑が夫

ノアコが少年の名を母国語で呼ぶ「チヨンド」アイコが  
ノアコの名を母国語で呼びかける「ウオルム」そして「チ  
リギダ」……  
「や」と……アイコでなくなるよ……アイコは砂場から忽然  
と消える……祖國の地へ……  
ノアコがすくと立ち、弊衣を脱ぎ捨てると、鮮やかな原  
色のチャマシヨリをまとった「ウオルム」である。美しく  
鮮烈な幕切れであった。  
ノアコ、アイコが実際の好演をみせた舞台でもある。  
大日本帝国の負の遺産である朝鮮人従軍慰安婦の問題は  
いまだに解明も、解決も見えない。拭いようのない屈辱  
の被害と、償い切れぬ加害の歴史をこのドラマは声高かに  
いつのころことなく、鋭く、静かに告発する……。

## 『家族のへその緒』 しあわせ幻想の行方

演劇街 劇団月曜会 武田隆良

家族の姿容、あるいは家族の解体、そういうことがも  
何年も前から言われている。戦後、社会の仕組みが変わり、  
それにつれて家族のあり方も次第に変貌した。夫婦と子と

婦のパートを助れ、「これで、体治して、赤ちゃん産ま  
しょうよ」と嫁のニコ子に二百万円の通帳を手渡す。困惑  
したニコ子は、出産費用に使うと妊娠したかのようなそ  
を言う。喜びも束の間、ノアヒロはすぐに事実を知る。だ  
が、周囲の大きな期待に答えるかのようにふたりは「出産  
へむけて偽りの演技を続ける。ノアヒロがニコ子に対して  
妊娠のまねごとを演じてみせる場面や義妹のニコ子が入っ  
て出産のまねごとを演じる場面は秀逸で、爆笑をさそ。や  
がて月滿ちて、ノアヒロは辻妻合わせを計る。すなわち  
「まぼろし」の赤ちゃんを「産む」ために誘拐を決行する  
のだ。  
作・演出は広島友好さん。広島さんは昨年、松江の演劇  
フェスティバルで役者として実に魅力ある演技を見せてく  
れた人だ。だが、作家としてもみずみずしい豊穣さを持っ  
ている人だと思つた。舞台は熱演だった。わけても母（姑）  
役を演じた河野さんは入団一ヶ月目というから、びくり  
する。ただ、そういう熱演がよかつたかどうかは疑問が残  
る。なにげない日常生活を描く舞台では、何より登場人物  
一人ひとりの心理のノアコがこまやかに浮き彫りにされな  
いと、見る方も面白くない。なかなか味のある、面白い台詞  
が多いだけに、伝わってくるものが今ひとつうすかつた  
という感否めなかつた。また、ストリークの展開もなかな  
かしやれているのだが、ニコ子が突然妊娠を言い出した事

情やら赤ちゃんを誘拐するに至る動機等がちょと説得力がないという印象を抱いた。

だが、とにかく面白かった。「演劇街」の今後の活動に

大きな可能性が開けたことは間違いないと思う。隣の県

劇団だからよけにそんな思い込みをしようのか、と

もあれ今後が楽しみである。最後になるが、広島さんの

『安吾往来』がテアトロ新人戯曲賞を受賞したという由、

拍手喝采を送りたいと思う。

## 劇団四紀会

一九九六年四月二七、二八日  
シカゴホール

## 『ごっこにいます』

### ——一九九五年神戸の街角で——

#### 小松 徹

若い俳優たちの才能とエネルギを前面に押しだし、

テラたちの確かな力量によってそれを支え、見事なソ

サンブルを形成した舞台だった。硬質でありながら柔軟な

舞台がどうして出来たのか、公演パンフ・演出者梶武史君

の言葉の一部を紹介しよう。

「あれから僅か一年余りだというのに、街の姿から震災

の痕跡は消えて風化がはじまっている。物の豊かさの代償

として失ったはずのヒューマンな精神がまた生きていたこ

とへの感動も、行政の弱者いじめの棄民政策によって薄め

られ、風化を加速させている。」

公演の直後に私あてに送られてきた手紙からも、一部転

記させて頂く。

「仲比呂志君が震災前から在日韓国人と日本人との結婚

問題に興味をもって、物語を書いていました。今回

の震災を経て、あらためて自分の住んでいる神戸の街を見

つめ直してみると、八長田Vに問題が凝縮している。どう

しても八長田Vを描きたい思いにかられたのでした。演出

助手として長田・靴、在日韓国人の歴史と暮し、震災の影

響などを調査し多くのエピソードを書いていた桐生彌が補

筆して大部分を書きあげ、さらに私がレジしてやると上演

に漕ぎつけたものでした。」

公演パンフレットや当事者のコメントは立派なのだが、

現実の舞台は？——と思うことはまよもあるが、四紀会の舞

台はそれを裏切らない、ばかりか肩肘張った部分がないだ

け抜きんでているとき々見える。稽古の状況を洩れ聞くと、

台本・演出・演者の幹から枝にわたって全員が発言し、敵

と云う。

卒直に言って震災前の四紀会は、「この指たかれ」式の

レパートリーの権力でアンサンブルに欠け、ガビッツとし

た様子が外目にも明らかで、今後に不安を抱かせていた。

そこへ大震災である。物理的な災害もさることながら、豊

かな日本社会のアイナス・フランスないままでの実態を、否  
も応もなくあぶりだした。数千の人達かその意識もないま  
うに生命を絶たれ、生き残った人達は気がついたら抜きさ  
しならぬ状況の中に居た。

「逃げられるものなら逃げたしたいが、逃げられようにな

い現実。

たしかに人達のもつ醜さもそれは露呈させたが、人間の

尊厳を証明する行為の方がはるかに多岐にわたって発生し、

圧倒した。独りでは生きられない。隣人とそれに連なる多

くの人とつながらなければ、いまを生きられない。その思

い、行為が当事者の枠を越えるのにも、さして時間はかか

らなかった。若い人達を中心にしたボランティア活動に代

表される人間の環の繋り、人間の尊厳を証明する行為の拡

がりは、人間への悲観的な思いをうち砕いて、人達の心を

耕してくれた。

行為が行なを生みだした。

しかし生きた心地が蘇り、暮しに少しばかりの落ちつき

が戻ってくる。格差が生じ、対立が深まっていくことに

も時間はかからなかった。すぐ絶望する人もなくなかなか

だが、人間の尊厳を裏行した人達のかもとったものも、決

してやわではなかった。

風化——それとの斗いは、被災地のあらゆる処で、人間

と人間との新しいつながりを築こうとするさまざまな試み

大勢気になることを最後にひとつ。演出者からの手紙の

しめくりの部分を紹介します。

「人様は、え、加減に震災から解放される。震災以外の

素材の芝居を、と忠告してくれませう。——中略——次は震

災以外の素材で、と考へなくもありません。けれども一人

の演劇人としていかなる仕事を担うにしろ、自分の街と時

代を背負っていききたい思いは痛烈です。才能の乏しい私に

は、これしか生きる証はありません。

気になると言うのはもちろんこの言葉自体のことではな

(39頁へつづく)



# 有智山荘の一日

高田文利

ことしの四月二十一日の午後一時に、福岡在住の友から言われたとおりに西鉄大宰府駅へ行き、彼を待った。やがて電車が静かに着いて、その逢坂取君が降り立った。

今にして思えば、駅頭で、「春の午後を、ゆったりとお芝居と個展で」という見出しの、福岡現代劇場代表者、猿渡公一氏が書いた案内を、逢坂君はちらりと見せたが、深酒の翌朝のことで、こちらの頭は朦朧としていた。

ところが、不思議なことに、逢坂君と一人で乗ったタクシーが山みちを登ってゆくうち、われながら、頭が次第に鮮明になってきた。

タクシーは、宝満山の中腹、中世の少貳氏の本拠、有智山城跡のある内山という地の、狭い親和感を持つ建物、有智山荘に着いた。これは、猿渡氏の説明によれば、福岡の建築家で建設会社社長である高松隆之助氏が、「江戸、明治初期の民家、煙草の馬喰宿と一日市の酒造家の部材を活用して新しく、古い民家空間を創った」ものだそうだ。わたしの朝からの状態が急速に好転したのは、有智山荘が、内山の波瀾万丈の過去の今ただよわせているものを誘い出

し、それと一緒にあって、わたしを目醒めさせてくれたからである。案内には、最後の有智山城主少貳政資の辞世「花ぞ散る思へば風の科ならず時いたりぬる春の夕ぐれ」が引用されている。

猿渡氏と福岡現代劇場の人たちは、最初に山荘を訪れた折り、「この空間を一目見て」「ここで芝居をしたくなつた」という。「そこで、この地の歴史とこの民家空間にびたりした芝居をやってみることにしました」と、氏は、しるしている。

演出、猿渡公一。音響、渡辺延之。第一演目に入る前に、猿渡氏の、軽妙でいて反骨的、しかも飄々としていて精妙な挨拶があった。演目は、三つ。第一は、下川一弘・鈴木新平・室井貴・七瀬佳恵・井上奈保代・小牧祐子による群読「方丈記と平家物語」。第二は、井上奈保代による石牟礼道子氏の語り部として持つ文体が、すぐれて劇的なものであることを、井上さんは、みごとな形で証明した。

わたしは、伊万里市民センターで、佐賀県立伊万里高校出身の岡部耕大氏の、氏自身の演出による「精霊流し」に感動したところがある。出演者は、入江杏子さんと岡部舞さんであった。これと有智山荘での「精霊流し」はいろいろな点で異なるが、山荘における「おぼば」役の前崎さん。「女」役の七瀬さんの解釈、いずれも素晴らしかった。猿渡氏の演出は、この建物における特殊な舞台条件と岡部氏の戯曲に漲る情念との融合に成功している。

案内に、「春の午後をゆったりと」とあったが、わたしは、お蔭さまで、一と日、豊かな中身の寛ぎを体験させて頂いた。建築家・演劇家・美術家・鑑賞者、これら四者が、橋な在りかたで集い語り合うことの魅惑に、わたしは浸ることができた。

わたしは、二十五歳ころ、「いまだだちに消えるべきは、この町から近いあるいは遠い幾多の都会の／＼さかしげな瞳、靴おど、劇。」という語句を書いたが、むろん、福岡現代劇場が「さかしげなもの」を忌む劇団であるのは申し上げるまでもない。得難い機会を与えてくれた畏友・逢坂取よ、有難う。

(伊万里市在住。「白磁」同人)

## 韓国からのレポート

この程、韓国・馬山市の劇団馬山から韓国の演劇事情についてレポートが送られて来ましたので、紹介します。

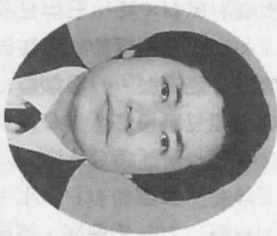
劇団馬山は韓国南部の「慶尚南道/馬山市」に一九八四年に創設。団員は約三十名。これまで約六十回を超え定期公演を実施。年間五作品程度の新作を仕上げ、自主公演を始め児童や青年を対象とした公演を行う。自主公演を始め児童や青年を対象とした公演を行っている。

地方の「プロ劇団」を標榜しているが、実際はアマチュアとプロが混在している。——韓国では芝居だけで食って行ける本当のプロはいないとも聞く——代表の李相龍氏は大学の講師である。

六年前から、演劇の裾野を広げる目的で「韓国小劇場演劇祝祭」を劇団稽古場兼用の小劇場で行い、全国から劇団を招聘して公演している。日本へは三重県地域劇団協議会等の招きで三度来演している。主な上演作品は『アライノド』『神の子』『人間の子』『エクウス』『梅花伝』等々ある。

## 韓国の地方演劇の状況と今後の発展方案

劇団馬山代表・文学博士 李相龍



考え方によっては違いますが、方もあるかもしれないが、韓国現代劇の始まりは一九〇〇年代のはじめ、当時日本で留学していた柳致真をはじめ大学生たちの演劇活動がその始まりである。彼らが日本から帰国して、新劇運動は始めたのが韓国の近代劇の始まりで、それが発展に発展を重ねた結果が今日の韓国の演劇に至ったのである。こうしてみると韓国の新劇史は約八十九十年になるだろう。この間韓国演劇の発展状況を一言でいうことはできない。それは地域によって発展状況がそれぞれ違うからである。日本を含めた外国はどうであるかは知らないが、韓国においては大都會と小都會における差は顕著である。ただ演劇だけでなく、文化的な面の全般にわた

たって大都會と小都會、そして農村地域との格差は顕著にあらわれる。例えば、韓国のソウルと他の地方都市との演劇の格差は甚だしいものがある。それをいくつか挙げると、公演場所の数と施設の差、観客数と意識的な水準の違い、劇団の数と質的な差、そして演劇をする人達の収入の差、などである。韓国でソウルは演劇活動をすすめるには尤もよい環境にある。しかし、ソウルで演劇活動をしている人々はソウルが活動しにくいといっている。本当の韓国地方での演劇活動の状況はいうまでもない。一言でいうならばとても大変なものがある。ある人はジョクで地方で演劇活動することは、昔日帝時代に独立運動をすすめるのと同じくらいだといっているそうである。どの都市でも韓国の地方で演劇活動をするにはとてもきびしいものがある。これらの主たるものは、演劇活動をする人々の決まった収入の問題、つまり生活費の問題、そして演劇活動をする人々の数の問題（収入が足りないので定職としようとする人がいない）、観客層の問題、公演場所の不足、演劇に対する政府または地方自治団体の財政的な支援不足などなどがいえるだろう。

私の住んでいる馬山の場合を例にしてみよう。現在馬山市にはろくな公演場所が一つもない。現在活動している劇団は私が代表をつとめる劇団「馬山」を含めて二つだけで

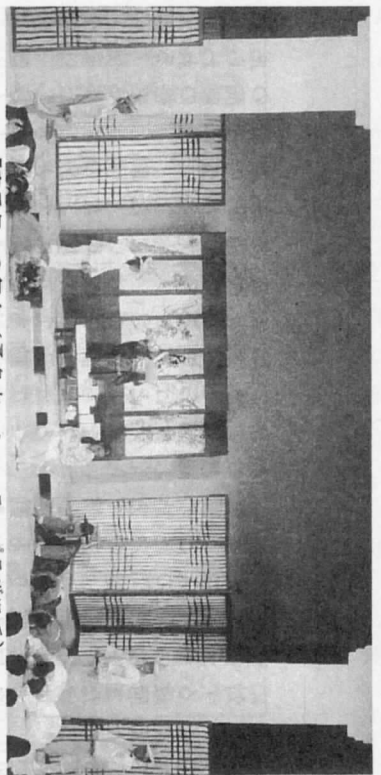
ある。演劇専門の俳優また演劇活動をする人に、政府または地方自治団体から報酬または月給をもらっている人は一人もいないのが現実である。一つの劇団が一年に四回の定期公演をすすると考えるとき、観客数は一回の定期公演あたり七百人にすぎない。こういうことを考えると、各劇団は赤字にあえいでいるのが現実である。劇団馬山は韓国の中ではいい環境にある。我々は専用劇団も持っているし、専属の俳優もいる（もちろん、劇団の収入で費用に当てている）。一年に定期公演を四回以上、青少年のための公演を一回以上、子供のための公演を一回以上公演している。そして全国規模の演劇フェスティバルである「全国小劇場演劇フェスティバル」を毎年開催している。このフェスティバルには韓国の地方劇団は全部参加し、日本の劇団と外国の劇団も参加している。日本の劇団の中には三重県にある劇団「ずがお」は何回か参加していただいたし、特に劇団ずがおの代表である加藤武夫さんは韓国と日本との演劇交流にもとても情熱的である。演劇にたいする彼の情熱はいくら着めても着め足りないのを感じている。日本演劇の活性化には加藤武夫さんのように演劇活動をする人々のうえに立っているからではなからうか。

韓国の演劇条件と日本の演劇条件を比較してもいかにどうかは知らないが、韓国の演劇それも地方演劇が持っている厳しい条件は前触れとおりである。これからはその

厳しい条件を乗り越える方法を幾つか指摘してみよう。

はじめは、演劇に対して経済的な面で大幅な支援が必要

である。政府が企業・団体か  
はざておき演劇発展のために  
は支援金が拡大されなければ  
ならない。一番目は市立劇団  
また官立劇団を作って演劇活  
動をする人々が生活費を気に  
しないで演劇だけに専念でき  
る状況を作らなければならな  
い。三番目は市民の演劇に対  
する認識を新しくし、演劇に  
愛情を持ってみていただいた  
い。四番目は演劇活動をする  
人々が職人精神をもって頑張  
らなければならない。  
こういう問題点または感し  
い状況が解決されれば、演劇  
の発展はそう遠くないと見え  
る。そして韓国の地方演劇の発展  
もそう遠くはないと考えてい  
る。



「香伝」の舞台 (桑名市コミュニティセンターラザにて)

## 「ドラマシアターども」が加盟

北海道江別市の「劇団ドラマシアターども」(安念智康  
代表)から四月二十五日付で全リ演に加盟の申し込みがあ  
りました。中野健義長(劇団支木)、飯田信之氏(劇団さ  
っぽろ)、後藤陽吉議長(青年劇場)らがこれまで働き掛  
けていて加盟となったもので、推薦劇団は劇団さっぽろ、  
青年劇場です。

ドラマシアターどもは、一九八一年に結成、十五年の歴  
史をもった、男八、女十一、合計十九名の集団です。北海  
道演劇集団にも一九九〇年に加盟しています。劇作、演出  
の安念氏を中心に主として創作劇を上演、「トド山三分  
教場」、「鹿屋の四人」、「遠く呼ぶのは誰の声」などが  
あります。

ドラマシアターどもの加盟の正式な承認は夏の総会で  
行うこととなりますが、同集団の加盟によって東会議は三十  
八集団、西会議は三十二集団、計七十集団となります。

## 韓国観劇ツアーのお誘い

ました。

このツアーは、今年秋に韓国の馬山市で行われる「韓国  
小劇場演劇祭」に、主催者である馬山市の劇団馬山と慶尚  
南道演劇協会から日本の劇団の出演と観劇ツアー団を招待  
したいとの呼び掛けがあったのがきっかけだったので、  
全リ演加盟の劇団がおの加藤武夫氏が準備を進めていま  
した。この演劇祭は韓国の劇団はもとより、日本を含む海  
外からの劇団を呼んで行われるもので、期間は今年十月三  
十日から十一月八日までの十日間。ただし、日本からのツ  
アーは、この内十一月一日(金)から五日(火)までの五  
日間にしほります。費用(個人負担)は、往復の航空運賃、  
滞在費合わせて一人約十万円の手定。

この観劇ツアーの参加者を募集します。

この観劇ツアーは、国際交流行事では全リ演として初め  
て企画するものです。中部ブロックを中心に実行委員会を  
組んでこれからの準備をすすめていきたいと考えます。  
なお、日本からの出演団体としては、すでにこれまで韓  
国と交流のあった上野市民劇場(三重県、全リ演加盟)と  
劇団たけぶえ(福井県、日本アマチュア演劇連盟加盟)の  
二集団が参加の意思をもっており、今回募集するのは観劇  
ツアー団員にしばらくです。  
詳しいことは追ってお知らせすることになります。秋  
は観光シーズンでもあり、早めに手を打っておく必要があ

## 全リ演加盟リーフを作成

## 事務局だより

「全リ演加盟のおすすめ」のリーフレットができました。  
これは、全リ演の仲間を増やしたり、「演劇会議」の読者  
を増やしたりするために作ったものです。  
三年前に作ったリーフは東会議として作ったものでした  
が、今回は東西合同で使えるように内容も改定してありま  
す。友好劇団や地域の劇団、個人に渡して、全リ演に加盟  
してくれるように呼び掛けてください。また、「演劇会議」  
誌も購読してくれるよう勧めてください。  
とりあえず各集団に若干部数をお送りしますが、もし必  
要なら追加注文してください。西会議も東会議も総会が夏  
にありますので、ぜひ総会に向けて読者や加盟集団を増や  
したいものです。各集団で積極的に活用してください。ま  
た、各ブロックでもこの活用のしかたについて相談し、担  
当を決めるなどして集団的な取り組みをしてください。申し  
込み用紙も同封しました。



# 全日本リアリズム演劇会議住所録

## 東 会 議

B	劇 団 名	住 所	電 話
北	劇 団 さつばろ	札幌市西区宮の沢3条4丁目14-8	011-663-6251
道	劇 団 新 劇 場	札幌市東区伏古11条2-396-47	011-784-9908
奥	劇 団 弘 支 演	青森県弘前市品川町1 プラザビル内	0172-35-4670
羽	劇 団 支 木	青森市長島町4丁目21-3	0177-77-4677
ア	黒石演劇研究会	036-03 青森県黒石市乙徳兵衛町51 加賀谷方	0172-52-4097
ク	劇 団 東風(やませ)	031 青森県八戸市大字飯町字下松苗場14-183 榎谷方	0178-33-3850
	劇 団 未 来 半 島	035 青森県むつ市緑町26-2 焼丸二物産内 仁木方	0175-24-1189
東	劇 団 山 形	990 山形市東青田町5丁目8-5	0236-32-4105
北	劇 団 だ い こ ん 座 場	997 山形県鶴岡市青柳町42-32 たんぽぽ保育園内	0235-24-1688
	仙 台 小 劇 場	980 仙台市青葉区五橋1丁目5-13 平和友好会館2F	0222-64-2340
関	劇 団 群 馬 中 芸 芸 座	371-01 群馬県勢多郡富士見村大字赤城山大河原626-498 米采スタジア	0272-88-2700
	劇 団 久 喜 座	362 埼玉県上尾市日の出町4-508-1	048-777-4430
	劇 団 アポストロフ	346 埼玉県久喜市中央1-3-13 江原方	0480-21-0664
東	青 年 劇 場	359 埼玉県所沢市山口403-2 平石方	0429-28-5374
	劇 団 年 銅 座	160 東京都新宿区新宿2-9-20 間川ビル6F	03-3352-6922
	東 京 芸 術 座	175 東京都板橋区成増5-1-2 米丸ビル	03-5997-9461
	劇 団 展 望 座	177 東京都練馬区下石神井4-19-11	03-3997-4341
	世 仁 下 乃 一 座	166 東京都杉並区阿佐ヶ谷南3-3-32	03-3393-2739
	演 劇 集 団 石 る つ	168 東京都杉並区方南町2-24-5 第二広栄ビル501	03-3316-9496
	演 劇 集 団 土 ぐ れ	135 東京都江東区森下5-11-8 荒川ビル 吉川複写工業㈱内	03-5600-0270
	劇 団 阿 修 羅	105 東京都港区虎ノ門1-12-1 第一法規ビル 福田事務所内	03-3508-0104
	劇 団 協 同 劇 団	157 東京都世田区南島山2-33-15 川崎方	03-3309-8633
	劇 団 蒼 生 樹	211 神奈川県川崎市幸区古市場2-109	044-511-4951
	三 浦 半 島 劇 団 遊	220 神奈川県横浜西区伊勢町3-133-824 濱田方	045-242-3584
		238-01 神奈川県三浦市南下浦町菊名56	0468-88-3142

りますので参加人数をつかみたいと思います。参加ご希望の方は六月末日までに仮申し込みをお願いします。

(申し込み先)

加藤武夫

〒五二一 三重県桑名市陸美ヶ丘一〇五八

電話 〇五九四一三二一四六二六 (FAXも同じ)

韓国小劇場演劇祝祭観劇ツアー(案) 96・5・31現在

旅行先 韓国/馬山市・馬山小劇場(劇団馬山所有)

主催者 全日本リアリズム演劇会議

日韓演劇交流派遣団

日程 一九九六年十月三十日(水)～十一月八日(金)

の内十一月一日(金)～十一月五日(火)の五日間

スケジュール

十一月一日(金) 訪韓、歓迎会

一日(土) 午前・自由行動

午後・観劇

夜・観劇

三日(日) 午前・自由行動

経 費 約十万円(往復の航空運賃及び滞在費)

▶滞在費、先方が負担してくれるとの手紙です

が、例えば釜山への観光費用、通訳謝礼(参

加者が多いと、コミュニケーションがとりに

くくなるので、場合によってはこちらの経費

で通訳を雇う事になる。日常的な生活に關す

る問題はカタコトの英語と日本語と韓国語で

何とかなるが、こと、演劇に關する交流にな

ると専任の通訳がいなくて困るだらう。公演

団体にも必要だから)、プレゼント、通信費

印刷費(全リ演の紹介パンフ)等の経費とし

て。

招聘団体 劇団馬山(韓国・馬山市)慶高南道演劇協会

午後・観劇

夜・交流

四日(月) 午前・午後

1 観光/釜山市内及び釜山芸術大学

演劇学部見学出来れば、今年四月

開館する釜山芸術大学文化ホール

(五百)による公演

夜・観劇

五日(火) 午前・帰国

劇団名	住	所	電 話
川崎演劇塾	214	川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12号504	044-951-9819
劇団津演	514	三重県津市大門31-28 仏教会館内 岸武雄方	0592-26-1089
演劇研究所	420	静岡市秋山町2-1715	054-271-0177
劇団はにわ	461	名古屋市長区矢田町3-97-3(ボウ-ム矢田町)401 下高原方	
劇団たけぶえ	915	福井県武生市四郎丸町2-2	0778-23-0147

西 会 議

劇 団 名	住	所	電 話
劇 団 京 芸 座	612	京都市伏見区納所北城堀31-18	075-631-2609
人 形 劇 団 京 芸 座	606	京都市左京区下鴨東高木町11	075-721-4763
人 形 劇 団 京 芸 座	611	宇治市白川鍋倉山35-20	0774-21-4080
関 西 芸 術 座 流	557	大阪市西成区岸里東2-10-2	06-661-2112
劇 団 芸 潮	557	大阪市西成区松1丁目6-17 橋モータービル内	06-655-2315
劇 団 未 来	536	大阪市城東区成育1-4-25	06-939-5777
劇 団 き が わ	551	大阪市大正区泉尾4-2-7	06-553-7991
劇 団 コ ー 阪	542	大阪市中央区谷町7-1-39-103	06-768-9957
劇 団 大 阪	546	大阪市東住吉区公園南矢田2-4-7	06-695-6401
人 形 劇 団 ク ラ ル	559	大阪市住之江区南加賀屋町3-1-7	06-685-5601
劇 団 吹 奏	578	東大阪市中野224-14	0729-64-4441
演 劇 集 団 わ だ ち	533	大阪市福島区福島6-12-17 川村ビル4F	06-458-1455
大 阪 府 職 業 研 究 会	540	大阪市東区大手前元町 大阪府職労第2書記局内	06-941-0351
演 劇 集 団 和 歌 山	641	和歌山市和歌浦南1-1-14	0734-45-4537
劇 団 四 紀 会	650	神戸市中央区元町通2丁目9-1-612	078-392-2421
劇 団 紀 和	652	神戸市兵庫区大開通7-4-7 谷垣ビル4F	078-576-6488
神 戸 職 演 連 合	650	神戸市中央区下山手通9-9-7 西藤ビル2F	078-351-6969
劇 団 市 民 劇 場 や ぎ	664	伊丹市大鹿5丁目67 貴名俊行方	0727-82-2573
劇 団 か す が い	660	尼崎市昭和通1-17-1 石和久ビル3F	06-489-8984
劇 団 月 曜 会	730	広島市中区榎町4-27 岩井方	082-234-9656
劇 団 若 者 座	755	宇部市松山町4-10-24 東洋針灸科内(天羽方)	0836-21-7468
演 劇 サ ー ク ル ト ラ ム	753	山口市大字吉敷 2025	0839-20-2835
劇 団 演 劇 街	753	山口市中国街1-3 やの舞台美術内	0839-24-0075
劇 団 あ し ぶ え	690-21	島根県八束郡八雲村平原481-1	0852-54-2400
劇 団 こ じ か 座	790	松山市木屋町4丁目35-1 酒井方	0899-24-3415
福 岡 現 代 劇 場	810	福岡市中央区薬院1-6-5-410	092-751-7982

B	劇 団 名	住	所	電 話
山	劇 団 や ま な み	400	山梨県甲府市青沼1-8-5 梅津方	0552-33-9556
山	劇 団 静 芸	420	静岡市昭府町1丁目10-37	054-273-0604
山	劇 団 から っ か ぜ	431-02	静岡県浜松市篠原町21505	0534-49-0937
静	劇 団 火 の 鳥	421-21	静岡県安部町5-38-308 泉地守方	054-296-1297
中	岡 崎 演 劇 集 団	444	愛知県岡崎市元欠町3-10-3 浅井方	0564-21-2614
中	劇 団 名 古 屋 芸	468	名古屋市中白区平針1丁目1808	052-803-2922
部	劇 団 名 古 屋 集	451	名古屋市中西区庄内通4-16-3	052-524-5975
部	劇 団 名 古 屋 集	456	名古屋中津区新尾頭町2-2-19	052-682-6014
部	劇 団 上 野 市 民 劇 場	518	三重県上野市丸の内 共同ビル3F	0595-23-5252
部	劇 団 さ が お	511	三重県桑名市森忠睦美丘1058	0594-31-4210
部	劇 団 夜 明 け	508	岐阜県中津川市北野丸山	0573-65-4937
部	劇 団 は ぐ る ま	500	岐阜市西野町1丁目11番地	058-265-1852

個 人 加 盟

氏 名	住	所	電 話
井 裕 子	921	石川県金沢市山科3丁目6-10 早川方	0762-44-2802
大 橋 喜 一	210	神奈川県川崎市幸区小向仲野町3-2-406	044-533-3779
岡 田 和 義	176	東京都練馬区羽沢2-12-8	03-3991-1723
こ う じ 谷 一 朗	924	石川県松任市若宮町2-4	0762-75-2755
大 原 穰 子	215	神奈川県川崎市麻生区万福寺2-14-5	044-966-8125
川 島 柳	270	千葉県松戸市金ヶ作57-57	0473-84-6207

友 好 劇 団

劇 団 名	住	所	電 話
フ ー ト ス テ ー ジ く し ろ	085	釧路市貝塚1-6-19 加藤たけはる方	0154-42-8009
劇 団 新 芸	047-02	小樽市銭函町3-23-162 鹿角優一方	0134-62-3254
劇 団 河 童	090	北見市幸町8-3-4 扇谷国男方	0157-24-3357
劇 団 湖 (うみ)	068-21	三笠市本郷町578-9 加藤元方	01267-2-3044
劇 団 路 演 集	085	釧路市寿2-5-1 中山知征方	0154-23-6551
函 館 演 劇 集 団	062	札幌市豊平区平岸4条12-8-4 秋元博行方	011-811-9036
函 館 演 劇 集 団	040	函館市川原町2-5 長谷川潔方	0138-53-7520
演 劇 集 団 未 踏	094	紋別市潮見町2-3-40 我孫子正好方	01582-3-3238
演 劇 集 団 未 踏	121	東京都足立区梅島1-9-1	03-3880-0034
演 劇 サ ー ク ル 麦 の 会	133	東京都江戸川区北小岩7-3-20	03-3659-8704

# 編集後記

●戯曲―久しぶりの大橋作品。作者談「これはジョナヒービルでなく、私の『ゼロの記録』『灰の街のフメリカ紳士』などを踏まえた／＼自己の一連の戯曲作品／＼です。」

●巻頭論文―これまで／＼燃えない稽古場の様な反応の少なさに、新編編集長は途方にくれています。「今日のリアリズムについて、貴方ご自身の御意見・異論・反論を是非とも編集部へ。」

なお、元フクロ編集長の今号著者に関し、より詳しく知りたい向きには、野村香著『集第七「戯曲と舞台」。主な内容は、半世紀の日本演劇、戦後戯曲の視点、戦後戯曲の展開、例えば、久保菜「火山灰地」の謎など。(五一八頁。リポート発行。〇三三九八三六一九一。八、七五五円)があります。

(早川)

●九二号(十一月号)の巻頭論文は宮岸泰治氏にお願いしてあります。ご期待下さい。

●現在、編集部に寄せられている戯曲は、『千年の丘』北野英、『家族のへその緒』広島友好、『新島の飛騨んじい』江島細香と頼山陽「こぼやしひろし、今どき現代史講座」佐藤逸平などがありました。年三回発行なので、次から次へと発表したいのですが、うまっていますません。『演劇会議』別冊(戯曲集)を出して欲しいとの声が数年前からあった様に思います。故教授藤沢氏が

『演劇会議』編集長の座を降り、戯曲集(別冊)を出す  
と元気が噴話してましたが、その点に於いても皆さんが逆つてしまったことは、今なお悔まれます。しかし、いずれは、別冊・戯曲集を出したいものです。

●青年劇場の堀口皆さんに、わかもの事情ということで、青年劇場の活動の中からの報告の形として書いてもらいました。出来ればわかもの意見、考え、意欲なども座談会形式で企画したかったが……。

●地域での行政との関係、演劇状況を、静岡のリポートを伊藤さんに無理にお願いしました。ポリアムのある原稿になり、心から、感謝しております。

●七月号は、いつもながら編集員が劇団での公演等と重なり、私、境野も七月十二、十三日の公演を控え、忙しい、忙しいで悲鳴に近い声をあげながらの編集校正、でした。今号は、境野の都合で集団的に校正日をとれず、個人に片よる仕事となった。今後も、集団体制での『演劇会議』にしていかななくては、反省する次第。

●劇団通信、舞台写真と、再刊『演劇会議』以来の最大景です。今後も、今号のような盛況ぶりを期待したい。

●東西全入り演では総会等の準備が進んでいるとか。七月中に、各劇団に発送したいの思いで九一号をすすめてきました。

●劇団「たけぶえ」に八九号が届いていないとの連絡これは、しまった。どこで、どう手かがい……お詫び申し上げます。

(文責・境野)

演劇会議 第91号 1996年7月21日発行

定価 700円(送料240円)  
編集委員 早川昭二 境野修次  
演劇会議発行所 石垣政裕 栗原省 赤松比洋子 楠本幸男  
〒35 東京都江東区森下5-11-8 荒川ビル 吉川複写工業(内) (境野修次)  
電話 03(5600)0270 FAX 03(5600)0271

劇団名	住所	電話
劇団生活舞台	815 福岡市南区長丘2丁目15-4-401 平原義行方	092-922-9737
劇団道化	818-01 福岡県太宰府市大字太宰府2629-10	092-271-5090
テアトル・ハカタ	812 福岡市博多区上川端10-15-901 ローゼンツヨウF	06-488-9215
劇団螺線館	660 兵庫県尼崎市抗瀬北新町3-47 尾尻コーポ4F	08669-2-4325
岡山職場演劇集団	719-11 岡山県総社市富原480-3 岩城方	0886-23-5670
劇団阿波っ子	771 徳島市佐古三番町8-17 船越智子方	

友好集団		
劇団名	住所	電話
劇団しゅり	560 豊中市蛸池東町1-13-11-302 又川邦義方	092-271-5090
劇団クハル	602 京都市上京区仁和寺街道千本東入西陣文化センター	075-431-3169
演劇集団あかり	683 鳥取県米子市昭和町23-2 宮倉方	0859-33-9302

長団	所属団体	住所	電話
こばやしひろし	劇団はぐるま	501-01 岐阜市寺田852 円成寺	0582-51-0490
後藤陽研	青年劇場	184 小金井市貫井南町5-12-13	0423-81-1590
中野健司	京浜協同劇団	211 川崎市幸区古市場2-109	044-555-4066
中野武	劇団支木	030 青森市長島4-21-3 劇団支木内	0177-77-4677
仲沢	劇団西芸術座	606 京都市左京区上高野上荒時町1-1	075-701-2570
藤沢	劇団東京芸芸	615 京都市西京区櫻原内垣外町25-1 A 403	075-391-5039
梶渡	劇団四紀会	673 兵庫県明石市東野町1-5-1009	078-911-1513
渡	福岡現代劇場	814 福岡市早良区有田2-10-4	092-831-1696
事務局			
谷野納本	京浜協同劇団	211 川崎市幸区東古市場9-21 事務局長	044-544-3737
城浅加能	劇団はぐるま大阪	500 岐阜市西野町1-11 劇団はぐるま内	0582-65-1852
		542 大阪市中央区谷町7-1-39-103 (西会議事務局長)	06-768-9957

編集委員		
氏名	住所	電話
早川昭二	168 杉並区和泉1-9-12-201 編集長	03-3323-8943
境野修次	134 江戸川区西葛西3-15-8-701	03-3804-0507
石垣政裕	983 仙台市太白区西中田5-23-1	022-264-2340
栗原省	643 和歌山県有田郡吉備町庄684-32	0737-52-5963
赤松比洋子	585 吹田市竹谷町36-2 古川方	06-388-7513
楠本幸男	640 和歌山市加納271-14	0734-73-7589